

「北茨城市子ども・子育て支援事業計画」
策定のためのアンケート調査結果
報告書

平成 26 年 3 月

北茨城市

目次

I	「子ども・子育て支援事業計画」策定のアンケート調査結果	2
I-1	調査の目的	2
I-2	調査の概要	2
I-3	留意事項	2
II	「就学前児童の保護者用」調査結果	3
II-1	お子さんご家族の状況	3
II-2	子どもの育ちをめぐる環境	6
II-3	保護者の就労状況	16
II-4	平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	26
II-5	地域の子育て支援事業の利用状況	32
II-6	土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望	39
II-7	病気の際の対応について	43
II-8	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について	50
II-9	小学校就学後の放課後の過ごし方について	60
II-10	育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	71
II-11	子育てに関する悩みや不安感などについて	84
II-12	子育ての楽しさなどについて	85
II-13	あなたの時間の優先度	86
II-14	子どもに関する施策について	87
III	「小学生の保護者」調査結果	89
III-1	お子さんご家族の状況について	89
III-2	保護者の就労状況について	93
III-3	放課後児童クラブの利用について	99
III-4	病児・病後児の対応について	103
III-5	一時預かりについて	107
III-6	宿泊を伴う一時預かりについて	110
III-7	ベビーシッターの利用について	112
III-8	ファミリーサポートセンターの利用について	113
III-9	子育てに関する悩みや不安感などについて	116
III-10	子育ての楽しさなどについて	118
III-11	あなたの時間の優先度について	118
III-12	子どもに関する施策について	119

I 「子ども・子育て支援事業計画」策定のアンケート調査結果

I-1 調査の目的

平成 27 年 4 月より、「子ども・子育て支援法」に基づく新たな子ども・子育て支援制度がスタートする予定です。

この新しい制度では、幼児期の学校教育や保育をはじめとするさまざまな子ども・子育て支援施策を、いつまでに、どのように、どのくらい提供していくかなどを各市町村が 5 カ年の事業計画として策定するよう定めています。

この事業計画策定にあたり、北茨城市の実情やニーズに合うものとするため、子育てをされているご家庭の現状や子ども・子育て支援サービスの利用希望を把握するためにアンケート調査を実施しました。

I-2 調査の概要

○調査期間 : 平成 25 年 9 月～10 月

○調査対象及び票数 : ①就学前児童の保護者 1,898 票
②小学生の保護者 2,256 票

○調査方法 : ①就学前児童の保護者 郵送による配布、回収。(ただし、回収は一部幼稚園及び保育園を通じて回収)(無記名回答)
②小学生の保護者 郵送による配布、回収。(ただし、回収は一部小学校を通じて回収)(無記名回答)

○回収結果

調査の種類	発送数	回収数	回収率
①就学前児童の保護者	1,898 票	918 票	48.4%
②小学生の保護者	2,256 票	1,283 票	56.9%

I-3 留意事項

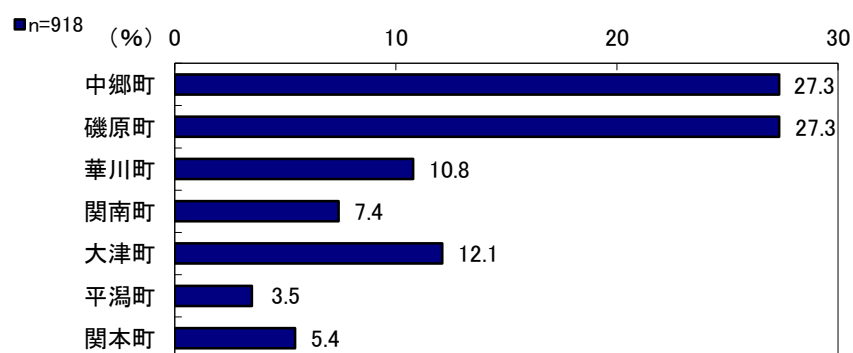
- ①比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出しています。従って、合計が100%を上下する場合があります。
- ②基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある間は、1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい問であり、従って各回答の合計比率が100%を超える場合があります。

Ⅱ 「就学前児童の保護者用」 調査結果

居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの()内地区1つに○をつけてください。

「中郷町」、「磯原町」が27.3%、「華川町」が10.8%、「関南町」が7.4%、「大津町」が12.1%、「平潟町」が3.5%、「関本町」が5.4%となっています。

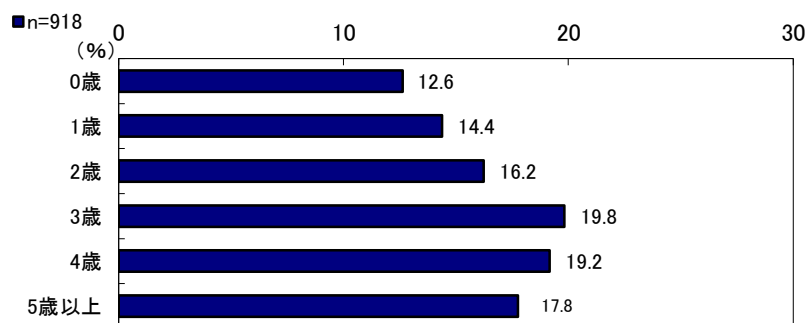


Ⅱ-1 お子さんご家族の状況

1 子どもの生年月

問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

「0歳」が12.6%、「1歳」が14.4%、「2歳」が16.2%、「3歳」が19.8%、「4歳」が19.2%、「5歳以上」が17.8%となっています。

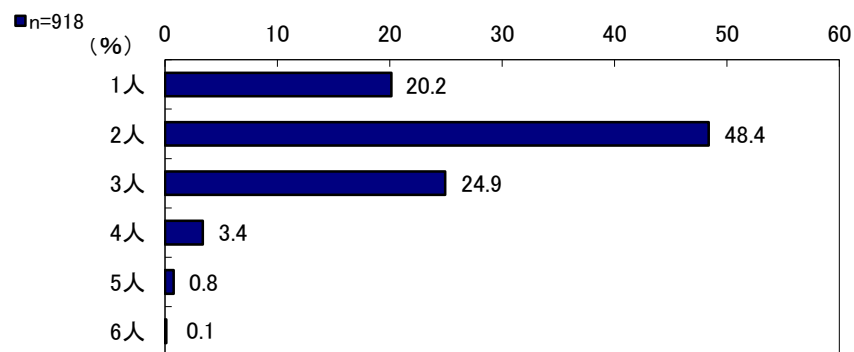


2 きょうだいの数と末子の生年月

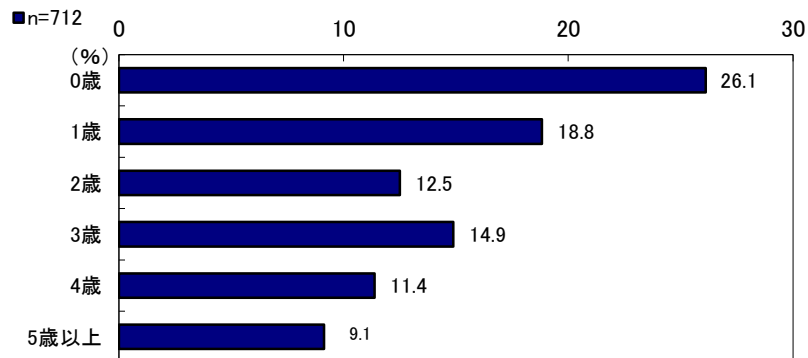
問3 宛名のお子さんの兄弟は何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字出ご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の年齢をご記入ください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

「2人」が48.4%で最も多く、次いで「3人」が24.9%、「1人」が20.2%となっています。

末子の年齢は「0歳」が26.1%、「1歳」が18.8%、「3歳」が14.9%となっています。



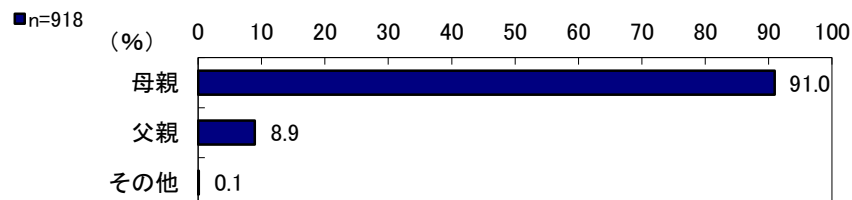
末子の年齢



3 回答者と子どもの関係

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

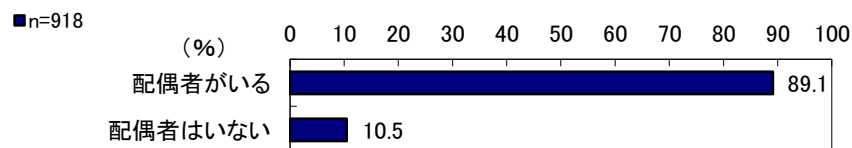
「母親」が91.0%、「父親」が8.9%、「その他」が0.1%となっています。



4 回答者の配偶者

問5 この調査票に回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

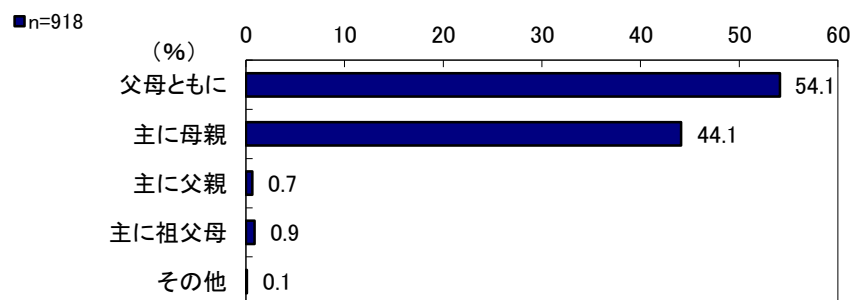
「配偶者がいる」が89.1%、「配偶者はいない」が10.5%となっています。



5 主に子育てをしている方

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

「父母ともに」が54.1%、「主に母親」が44.1%、「主に祖父母」が0.9%となっています。

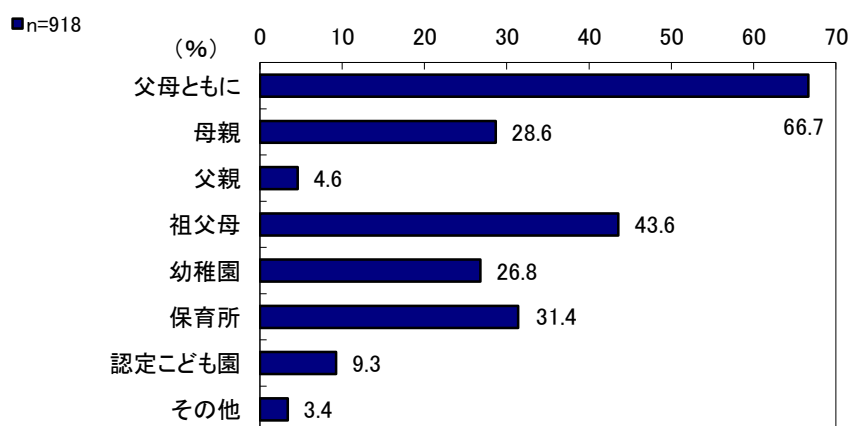


Ⅱ－２ 子どもの育ちをめぐる環境

１ 子育てに関わっている方

問７ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

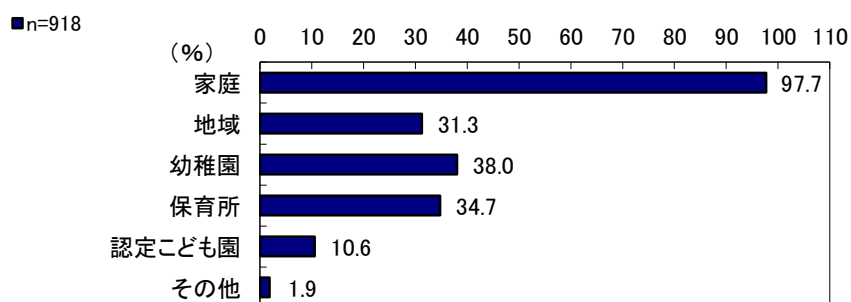
「父母ともに」が66.7%、「祖父母」が43.6%、「保育所」が31.4%となっています。



２ 子育てにもっとも影響する環境

問８ 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

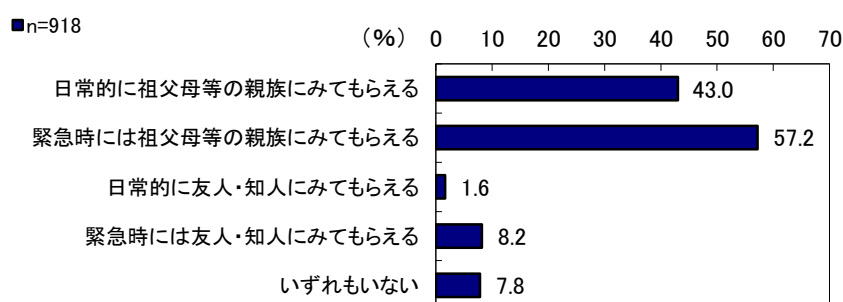
「家庭」が97.7%、「幼稚園」が38.0%、「保育所」が34.7%となっています。



3 日頃子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問9 保育所等施設の通所の有無に関わらず、日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

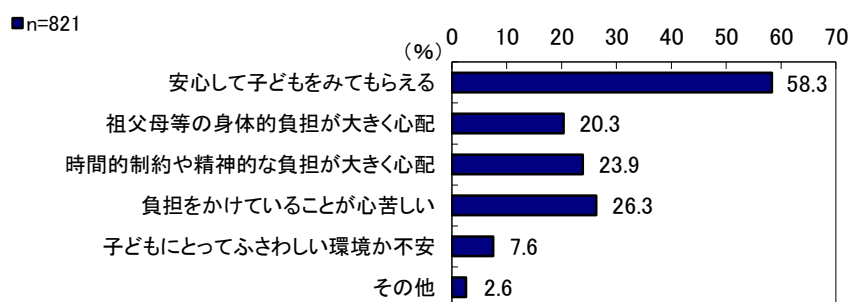
「緊急時には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.2%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が43.0%、「緊急時には友人・知人にみてもらえる」が8.2%となっています。



4 祖父母等の親族にみてもらっている状況

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

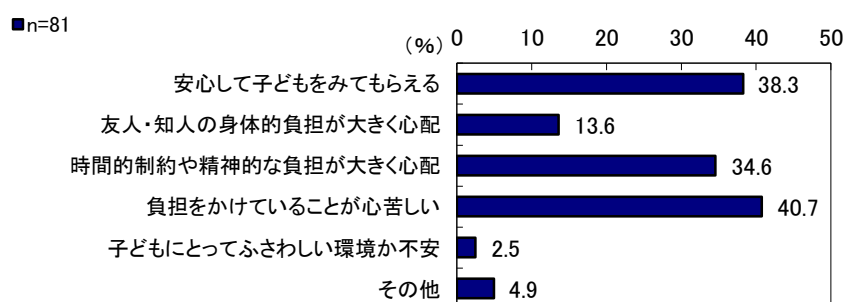
「安心して子どもをみてもらえる」が58.3%で最も多く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が26.3%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配」が23.9%となっています。



5 友人・知人にみてもらっている状況

問 9-2 問 9 で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

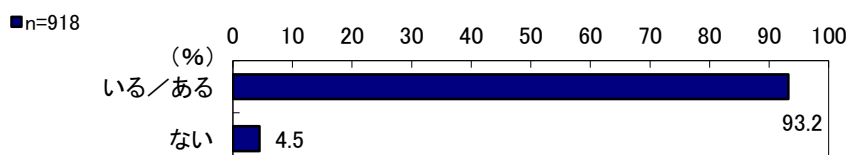
「負担をかけていることが心苦しい」が 40.7%で最も多く、次いで「安心して子どもをみてもらえる」が 38.3%、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配」が 34.6%となっています。



6 気軽に相談できる人や場所

問 10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

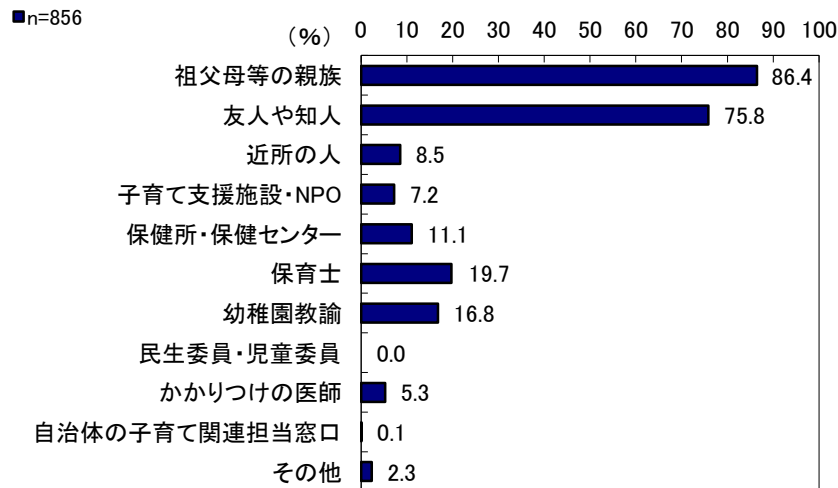
「いる／ある」が 93.2%、「ない」が 4.5%となっています。



7 子育てについて気軽に相談できる相手先

問 10-1 問 10 で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「祖父母等の親族」が 86.4% で最も多く、次いで「友人や知人」が 75.8%、「保育士」が 19.7% となっています。



8 あれば良いと思うサポート

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

- ・新生児など以外でも、自宅訪問で相談できると尚よいです。
- ・笑顔で挨拶してもらえるだけでもよい。
- ・子育て広場などの情報をゆき渡らせてほしい。他の土地から嫁いだ方や、転勤等で転入された方は、情報が届きづらい気がする。
- ・国だけではなく、市の方からも支援をしてほしい。
- ・保育園内や、学童で、塾のような教育をしてほしい。
- ・学童でも、塾のような勉強をして頂ければ、送り迎えの負担が軽減されると思う。
また、小学校から学童まで歩ける距離であれば、行政等（民政民）で一緒に通えるようになれば体力も付くと思う。
- ・病児保育。
- ・子育てをしていて、つくづく思うことは、母親 1 人で、子育てをすることは、無理があるということです。それで、施設の子育て相談窓口は母親から行くのではなく、特に母親が単独で子育てしている家庭に、訪問をしてくれるといいなと思います。
訪問が大変なら、電話 1 本でもあると、心強いと思います。
- ・情報の周知、誰にでもわかりやすくしてほしい。

学童保育の充実、一部の地域に限られている格差なくしてほしい。

- ・預かって頂く時間がもっと遅くまでを望んでいます。
田舎だからなのか、19時まででは正直困ります。
- ・学童をつくってほしい。
- ・自由に子どもを預かってもらえるような所がほしい。夜などの預かりもあると助かる。
- ・子育てに息づまりを感じた時に話を聞いてもらえたり、解決方法などのアドバイスが聞ける。
- ・保育園に行っていないと、一時保育もなかなか日にちがあわないと預けられない。
自分の父母義父母にも1人預ける事ができないので(預けるとしてもすごく気を使う)、
数時間でも気軽に預けられる所があれば助かります。
- ・たくさんの子供達が参加できる行事、イベントがあればうれしい。
- ・子供が遊べる環境(公園など)を増やしてほしい。また、公園はあるが、
草がはえすぎているなどが最近多いので、清潔で安全な環境にしていきたい。
- ・子供が遊べる環境(公園など)を増やしてほしい。また、公園はあるが、
草がはえすぎているなどが最近多いので、清潔で安全な環境にしていきたい。
- ・病児保育が充実していると助かる。
保育園の常勤看護師の役割がもう少し活用できるといい。
- ・3人欲しくても産めない環境。3人目は保育料をただにするとか、お祝い金を作るとか。
教育(習い事)をただにするとか。働きながら子育てできる環境を。
- ・病児の一時預かりや夜間・休日等の救急医療の充実。マル福の延長。
- ・仕事を持っているので、病気の時など親族等が都合がつかず面倒を見る人がいない時、
サポートしてもらえる施設があると安心です。
- ・もっと子供を安心して遊ばせられる環境。北茨城市は海や山など自然が豊かでよいこと
だと思うので、それを生かした何か子供にプラスになるようなことがあれば、よいなと
思います。あと、もっと相談を気軽にできるところをつくってほしいです。
- ・病気の時など仕事が休めない時に預かってくれる所があると助かります。
- ・もう少し母親が働きやすいようにしてほしいです。
例：土曜日でも預かり保育があればうれしいです。幼稚園で。
- ・何かあったら少しの時間でも身近な人や身内に見てもらえる環境。
- ・子育てに関すること、すべて詳しく説明やアドバイスなど教えてほしい。
- ・親も学ぶ機会があればいいと思う。祖父母なども一緒に参加できるような。
子育てについての話ができるような場所がもっと身近にあればいいと思う。
- ・働いている母親が多いのは事実。預けられるところがあればうれしいが、それだけでは
母親の意識が……と思う。母親に対して講演や勉強会など開いてほしい。
- ・親も勉強する機会をつくってほしい(親学)。
- ・未就学時(幼稚園前)には色々健診が無料で受けられたが今は園で身長、体重を
はかる事しかない。保健センターに行く機会も減り相談もしづらい。
- ・預かって頂く時間がもっと遅くまでを望んでいます。
田舎だからなのか19時ぐらいでは正直困っています。
- ・もうひとり子供がほしいと考えた時、金銭的に育てる自信がない。

経済的支援があったらと思う。

- ・現在の育児、教育等々を祖父母が理解しない、できない。
- ・家の近く、職場の近くに無料化安く一時的に気軽に預けられる場所があればいい。
小さい場所でもいい。
- ・気軽に相談できる環境とその一歩への道筋。
- ・緊急時は夜遅くまで預かってくれる。祝日に預かってくれる（仕事がある為）。
- ・子供が体調悪いとき、仕事が終わらない時の保育園での対応。具合が悪いときは心細いと思うので、そんなときこそいつも通っている園での対応ができるとありがたい。
知らない園より通い慣れた人達がいるところが安心。
- ・自分が親とうまくできないので自分が頑張って変わらなければいけないと思っている。
- ・子供の遊び場がほしい。関本下に。
- ・病気、ケガ等をした時に自宅で診られない場合の預けられる所。
- ・子供と遊ぶ室内の施設や子供連れでもゆっくり食事ができる所など、
子供と一緒に過ごす所があるといいです。
- ・急な用事でも1～2時間程度から子供もみてもらえるようなサポートがあればよい。
- ・身近な人には子育ての相談。一緒に見守ってほしい。
行政に対しては、金銭的な手当てをもっとお願いしたい。
- ・仕事がサービス業なので、特に休日・祝日の出勤が多いのですが、そんな時に預かってくれる場所があると助かると思っているのですが、今もすでに有るのは知っていますが、子供2人を1日預けると、とても多額になってしまいます。
どうにかその辺りを助けてもらえないでしょうか。
- ・磯原地区の保育所などで預かりサービスをしてほしい。
- ・病気の時（風邪程度）にサポートしてもらいたいです。
そうすれば皆安心して働きに行ける。
- ・市などで子供向けの行事を増やしてほしい。
- ・小さな子も、お姉ちゃんたちの通っている幼稚園で遊ぶ体験などもしてみたいです。
- ・気軽に子供をあずけられる施設がほしい。
- ・お金のかからない習い事。
- ・病気の時預かってくれる場所など。
- ・小さい子どもでも安心して遊べる場所がたくさんあればいいと思う。医療費も小学校低学年までではなく、もっと広げてほしい。
保育料も高すぎて入れられないのももう少し安くしてほしい。
- ・介護みたいに月に何回か話をしに来たりしてくれるとうれしい。
- ・近くに祖父母等の親族も無く、子と母で日中過ごしている家庭がたくさんあると思う。
そういう家庭は病気をした時などとても困っていると思うので、そういう時気軽に頼れる場所、人がいるといいと思う。赤ちゃんを連れて病院に行くのはとても大変です。
- ・いつでもだれでも一時的に子供を預けられる所がほしい。
- ・本当に気軽に相談できる。
- ・身近な人は子供に優しく接してくれると、何かあった時に頼りになっていいと思います。
- ・近所に室内広場（年齢関係なく遊べる）があって遊具があったら。

- ・郵送やチラシ等でサークルや悩みの相談を聞かれることがあるが、直接出向いてもらえると相談しやすいのではないかなと思う。本当に悩んでいる人は、サークルや人に会うのが嫌なんじゃないかなと思います。
- ・短時間から預かってもらえる一時的な保育園みたいなのがあると助かる。
- ・教育にかかるお金をあまりかからなくしてほしい。
- ・保育園など昼間だけでなく夜や休日などもやってほしい。
1日だけや半日だけの保育があったら助かる。
- ・悩みや子育てで息づまる時に、気軽に相談、話を聞いてもらえる場所があるといい。
- ・電話など、メールや手紙でも相談できたり。
- ・保育園などの料金がもっと安ければ預けやすくなり、自分も働くことができると思う。
予防接種の負担がもっと減れば助かります。
- ・雨の日に室内で遊べるスペース、お金がかからないよう、
又は少ない金額で遊べるスペース。
- ・雨の日に室内であそべるスペース、少ない金額で遊べるスペース。
- ・保育園ではなく幼稚園でも土曜日の預かり保育があれば、土曜日仕事の人達は
もっと助かる。
- ・自分（母親）が体調不良時など気軽に子供を預けられるよう、
近くの保育園なり託児施設など登録しておくシステムがあればいい。
- ・体操教室など子供が気軽に入れるような所を作してほしい（低料金で）。
- ・病気時にも保育等をお願いできる場所（子どもが）自分が病気の時にも同様。
- ・質問が大ざっぱで答えをしぼるのが難しいです。
- ・以前日立市に住んでいたのですが、日立市ではお盆も保育園がやっていたのですが、
北茨城に来て、お盆のような長期休日がとても大変です。子供もあっちこっちと預けられて、初めは楽しんでいるようですが、だんだん疲れて不安になるようです。できれば、
長期休みを減らして下さい。
- ・病児保育の充実。
- ・土曜日の夕方（18:00）まで学童さんがあるとうれしいです。
- ・気軽に電話相談を受けてくれる窓口があれば便利。
- ・今現在親族や近所の方たちに色々サポートしてもらっているため、思いつきませんが、
ママサークルなどは少し行きづらく思っているため、健康診断の時に色々遊びや勉強を
一緒にやってくれるとありがたいです。
- ・転勤や引っ越した後など、町内会のことなど全くわからない。
回覧板や市報などが周ってこないで情報が入らない。夫の育休利用。
- ・無料で子供をあずけて、子供の事などママ・パパたちで話をできる時間があるといいと
思う。
- ・教育においていちばん不安なのは金銭面です。
- ・子育てにおいて悩みが生じた時に、相談やアドバイスを受けられるようなサポートが
あると、とても助かると思う。
- ・用事がある時一時的に預かってもらったり。

- ・気軽に悩みが話せる環境。同じ気持ちで同じ環境に近い人との話ができる所がほしい。
福島県の幼稚園に通っているが私立幼稚園幼児教育振興補助がないのが不満です。
- ・祖父母に預ける事が困難なので、短時間の預かり保育のサービス等を充実させてほしい。
もしくはそのような案内などを公共機関の目の届く場所に置いてほしい。
- ・日曜祝日など保育をお願いできる所。
- ・周りに同じくらいの子供がいないため、気軽に遊ぶ場所があるとよい。
同年代と遊ぶ機会があるとよい。
- ・保育園に通っているが、感染症時等長期の休みの際仕事に支障が出てしまう。
- ・一時的でいいので子供を預かってくれる。
- ・一時的に子供を預かってくれる。
- ・子供が1人でも安心して遊べるよう見守る環境（サポート）は日常的にあるといい。
- ・休日でも保育をしてくれる場所があればよいと思います。
- ・母親が病気になった時に家事・育児をしてくれるサポート。
- ・中郷には公園がない、磯原ばかり公園があり、車で行くのが大変。
- ・悩みや困っていることを聞いてくれたり、アドバイスをくれる。
気軽に相談できるような環境づくり。
- ・現実問題、お盆や年末は仕事が休みではないので、保育園で休園されるととても困ります。
- ・父母、共に働いている為、行政機関、病院など平日しか行われていない事が多く、
土日なども行って頂ける機関があると助かります。
- ・金銭面。
- ・土日でも保育園を開けてほしい。平日と同じ位預けられる時間帯で。
- ・現実問題、お盆や年末は仕事が休みではないので、保育園で休園されるととても困ります。
- ・現実問題、お盆や年末は仕事が休みではないので、保育園で休園されるととても困ります。
- ・緊急時に預けるサービスは、他人に預ける場合有資格者であってほしい。
- ・病休（保育園を）するときに、世話をしてくれる人がいればありがたい。
- ・今入っているサークルが9ヶ月で終了で、慣れてきた頃に終りなのは悲しい。
他のサークルへ行くにも勇気がいり、行きにくい。
- ・児童手当が頂けることがとても助かっています。
- ・子育て相談窓口。
- ・今は1才になり、だいたい育児のストレスは以前よりは減ってきたが、離乳食が始まって、
2、3ヶ月ぐらいの時に、何を作ったら良いか、食べてくれないなどで、ストレスがたまってしまった。近くに相談できる人がいなかったら、もっと大変だった。
- ・金銭面。
- ・ひとり親家庭での育児で一番の問題は、子どもの病中・病後に仕事をセーブしなければならないので、そういうサポートがほしい。
- ・どういう手段があるかの紹介。

- ・仕事の時間が一定ではないので、子供の習い事をさせたいが、進まない状況。
子供の送り迎えが一番大変なので、そういう所をサポートしてもらえると助かります。
- ・病気の時に急でもみてくれるところ。仕事を続ける上でとても両立は難しい。
- ・予防接種についての情報が少なく感じるので、わかりやすい本などがあると便利だと思います。
- ・医療を中学校まで無料にする。
- ・時間外勤務の時に安心して子供をみてもらえる環境。
- ・公園などいつ遊んでもキレイであってほしい。子供たちが集まって楽しく遊べるはず。
- ・中学生までの医療費無料化。
- ・習い事の施設の増加、送迎などのサービスなど。学童の高学年の利用可。
- ・母子家庭なので子育てと就労の両立は大変です。もっと身近に利用できる支援施設が増え、気軽に活用したい。多様なニーズに応えられるサービス。
- ・行政から保育園に対して補助金等を増やして、保育料を値下げしてもらいたい。
- ・子育てサロンの開催（土日）。
- ・習い事についての相談や体験。
- ・身近な人からは子供と一緒に見てもらったり遊んだり息抜きできる時間。
行政からは情報提供。
- ・子育てについてなんでも相談できる場所。子供を生んでもその後働いて行ける理解してくれる場所を増やしてほしい。子育て&仕事しやすい町づくり。
- ・福島といくらも離れていないのだから、もっと力を入れて子供たちのケアをしてほしいと思います。
- ・急用などの時に気軽に預けられる。同じ年代の子と遊べる環境がある。
- ・気軽に遊べる雰囲気があるとよい。
- ・緊急時に安心して預ける事ができるサービス。
他人に預ける場合は有資格者であってほしい。
- ・定期的に訪問していただけるとありがたい。
- ・定期的な情報の提供。
- ・子供が保育園を休まなければならない時、父母祖母の都合が悪く仕事が休めない時に、1日とか2日とか子供を安心して預けられる個人の方がいないかがしています。
- ・子供が保育園を休まなければならない時、父母祖母の都合が悪く仕事が休めない時に、1日とか2日とか子供を安心して預けられる個人の方がいないかがしています。
- ・話を聞いてもらえる人・機関や、短時間子供を見てもらえる制度があれば子育てしやすい。
- ・話を聞いてもらえる人・機関や、短時間子供を見てもらえる制度があれば子育てしやすい。
- ・病気の時も預かってくれる病児保育を充実させてほしい。小児科を充実させてほしい。
市立病院が午前中だけでは役に立たない。
- ・もっと保育園に病後看護できる園を増やしてほしい。
保育園でもお昼の薬を飲ませてほしい。
- ・体を使ったサークル等の紹介。地元との関わり等のお知らせ。

- ・経済的支援。
- ・小児科専門の医師がいる病院が身近にあってほしい。
夕方までやっていたり、土日もやっている病院があればとても助かる。
- ・小児科専門の医師がいる病院が身近にあってほしい。
病気がある場合に預けられる施設が近くにあるとうれしい。
- ・急な預けに対応して頂ける場所がほしいです。また休日などに室内で遊ばせる事ができる場所があれば安心ですが。
- ・昼間だけでなく夜預かってくれる場所がほしい。
- ・障害があるのでとりあえず何でも情報がほしい。
こちらから聞いても知らないことが多い。
- ・自分から相談するとぐちゃ文句と思われそうなので、自分からは相談できない。
サポートというよりも大丈夫？心配事ない？等言ってほしいと思う時がある。
- ・経済的に楽になるように、キッズクラブカードの特典を増やすなどしてほしいです。
- ・休日祝日の仕事の時、休日保育のサポート、年末年始もできればお願いしたい。
- ・幼児～小学生ぐらいまでの市民講座があるといろいろな体験もでき、新たな友人もできる。英語、リトミック、習字があると、何が自分の子供に合っているかを考えられるので、ぜひほしい。
- ・子供達が楽しめる場所を増やしてほしい。
- ・たまに半日位子供を預かってほしいなと思うことがある。
- ・困っている時にすぐ気付いてくれるようなサポートがあるとうれしい。
- ・昔はこうだったから、ということが多いので、今現在にふさわしいアドバイス、サポートがほしい。
- ・実家が県外とかの人は大変そうなので、近くに友人もいない人とか気軽に相談できる所があるといいと思います。
- ・相談コーナー等でなく、学校に入るまで、身体精神的な発達の遅れを早期発見できるよう、定期的に相談できるようにしてほしい。
- ・児童館のような子供が好きな時行って友達や大人の人たちと交流できる場所があるといいと思います。
- ・同じ月齢の親子ともっと知り合える場があるといいと思う。
- ・発達障害のある息子を安心してお願いできる幼稚園、施設等が身近にあったら助かったなと思います。
- ・平日でなく土日曜に対応できる機関があると便利。
- ・病気などの時でも見てもらえるサポートがほしいです。
- ・子供達が安心して遊べるような施設を増やしたり、医療費や幼稚園、保育園の無償化などがあるとありがたい。
- ・サポートというより、話をして精神的に楽になりたい。
- ・小学校に入学すると通学時下校時の事故や不審者の問題が心配。
下校時の見守り、ボランティア、歩道、信号の設備を進めてほしい。
- ・日曜祝日に子供を預けられる施設があるともっと安心して働くことができると

思います。

- ・子供同士の交流が持てるサポートがあるとうれしい。
- ・土日もあずかってくれる施設があるとよい。
- ・気軽に頼める人、場所がほしい、現在はどこへ頼んでよいか全く分からない。
- ・自分1人の時間がたまには持てる様サポートがあると、精神的負担が軽減され、子供に対してもより心のゆとりを持って接することができる思う。
- ・小学校に学童クラブをつくってほしい。
- ・土日祝日等、子供を預かってもらえる施設があれば大変助かります。
- ・子供が泣いていたり、騒いでいる時も、出来るだけあたたかい目でみてもらえるとうれしい。
- ・温かく見守ってくれる地域の目。病気の時預かってくれる施設。
- ・祖父母への子育てのお話会。
- ・育児をする環境を把握し孤立して育児をする家庭をもっと積極的にサポートするべきだと思います。

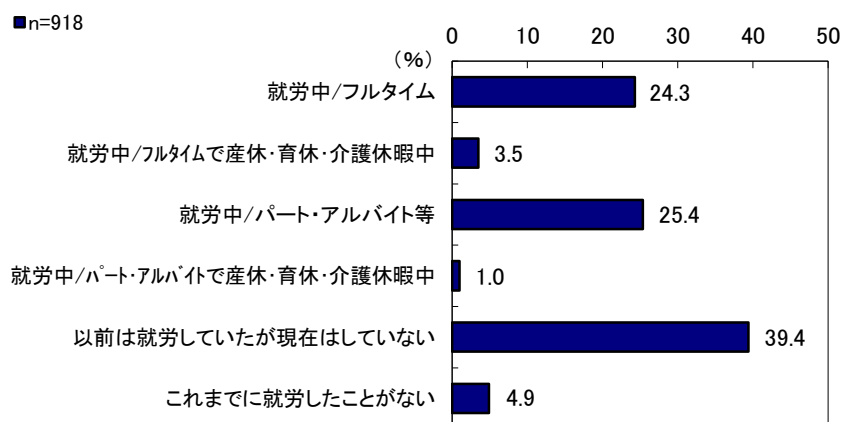
Ⅱ－３ 保護者の就労状況

1 母親の就労状況

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「以前は就労していたが現在はしていない」が39.4%で最も多く、次いで「就労中/パート・アルバイト等」が25.4%、「就労中/フルタイム」が24.3%となっています。

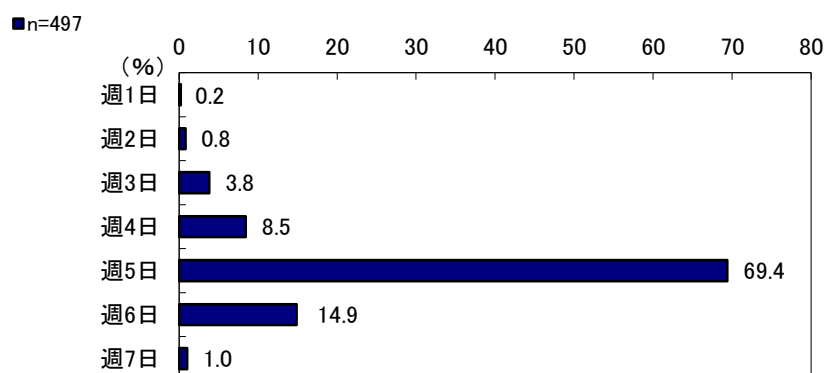


(1) -1 (1) で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

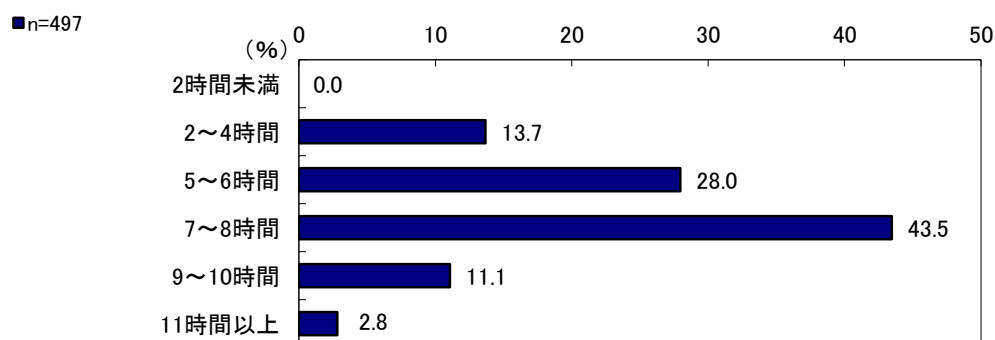
週当たりでは「週5日」が69.4%で最も多く、次いで「週6日」が14.9%、「週4日」が8.5%となっています。

1日あたりでは「7～8時間」が43.5%で最も多く、次いで「5～6時間」が28.0%、「2～4時間」が13.7%となっています。

週当たり



1日当たり

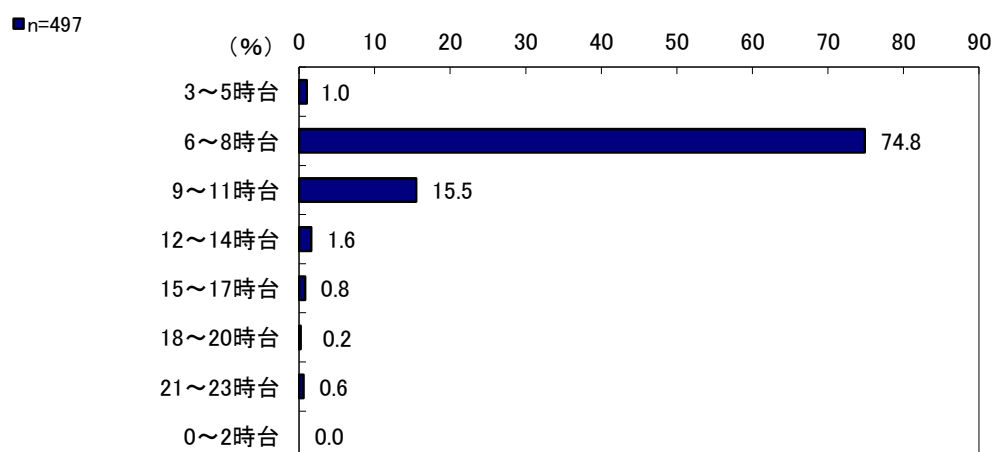


(1) -2 (1) で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

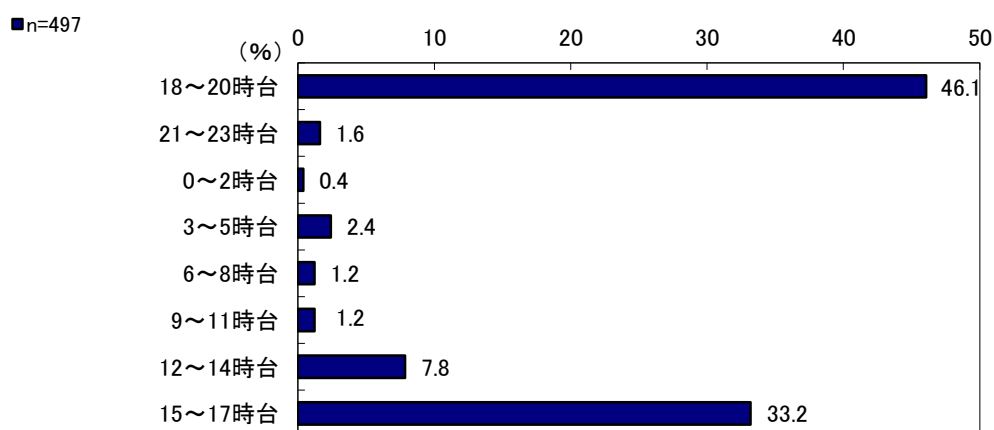
家を出る時間は「6～8 時台」が 74.8%、「9～11 時台」が 15.5%となっています。

帰宅時間は「18～20 時台」が 46.1%、「15～17 時台」が 33.2%となっています。

家を出る時間



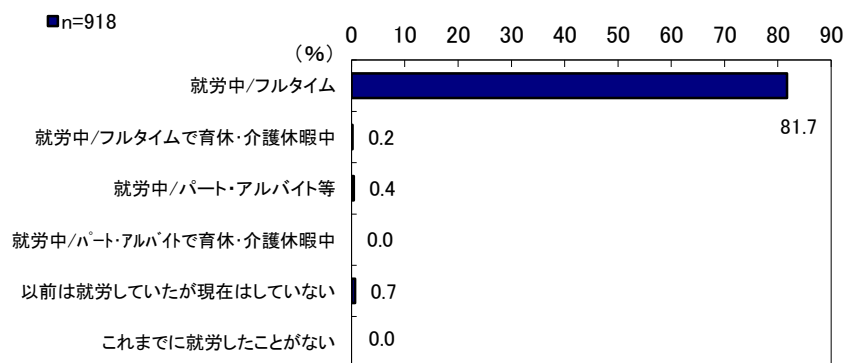
帰宅時間



2 父親の就労状況

(2) 父親【母子家庭の場合は記載不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

「就労中/フルタイム」が81.7%で多数を占めています。

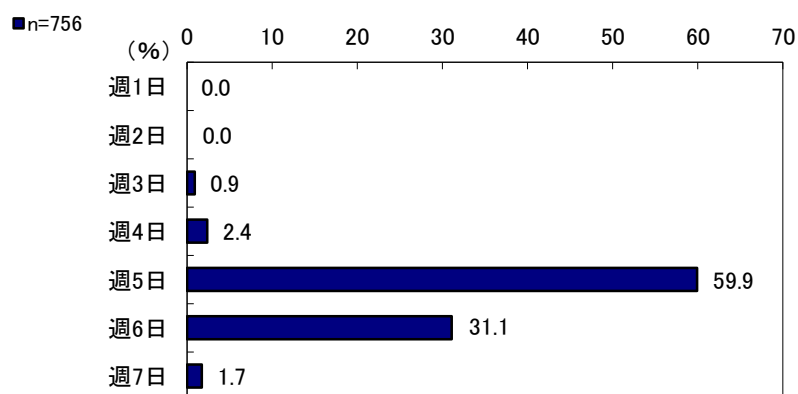


(2) -1 (1) で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

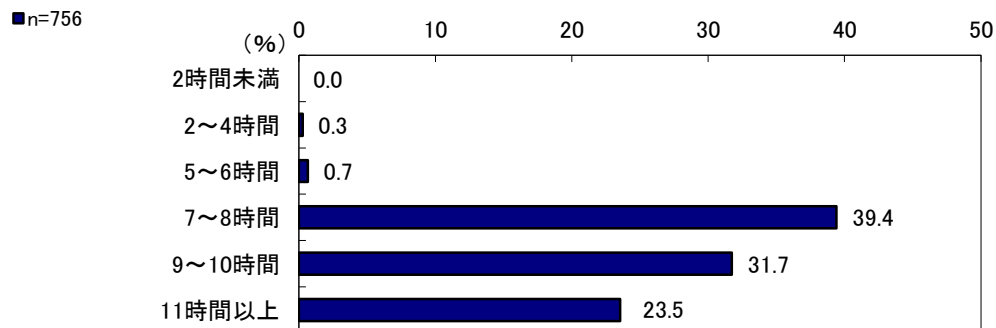
週当たりでは「週5日」が59.9%、「週6日」が31.1%となっています。

1日当たりでは「7～8時間」が39.4%、「9～10時間」が31.7%となっています。

週当たり



1 日当たり

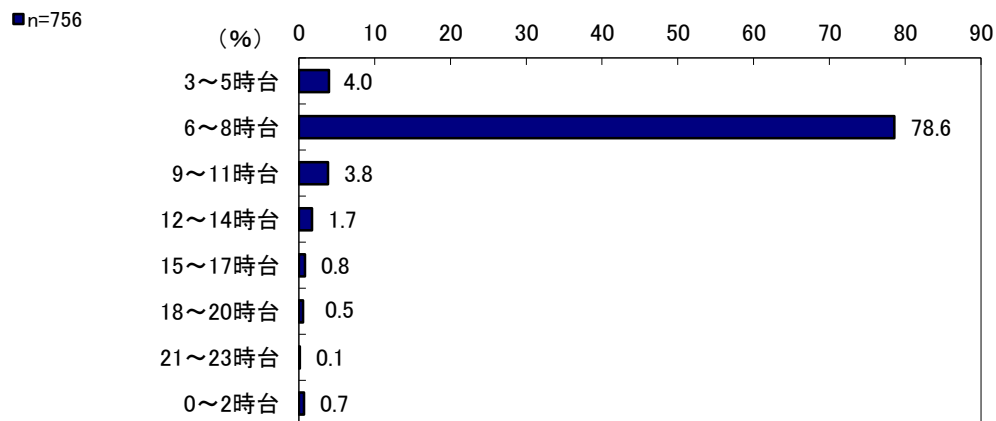


(2) -2 (1) で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時間と帰宅時間をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

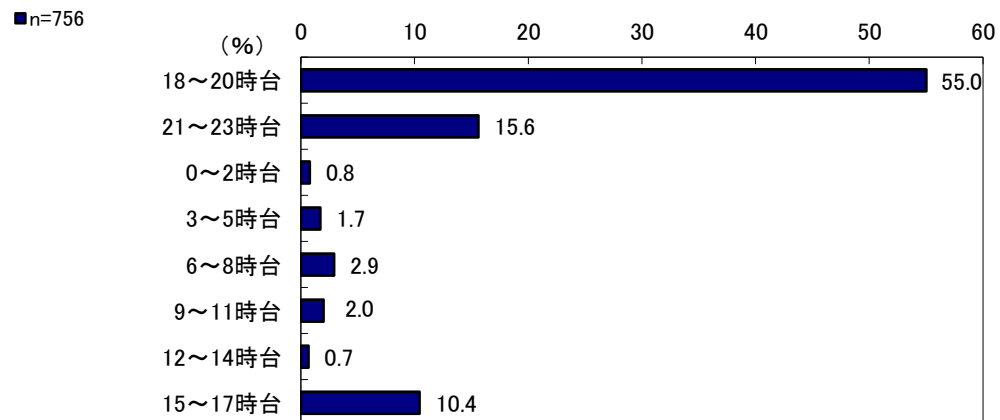
家を出る時間では「6～8 時台」が 78.6%、「3～5 時台」が 4.0%となっています。

帰宅時間では「18～20 時台」が 55.0%、「21～23 時台」が 15.6%となっています。

家を出る時間



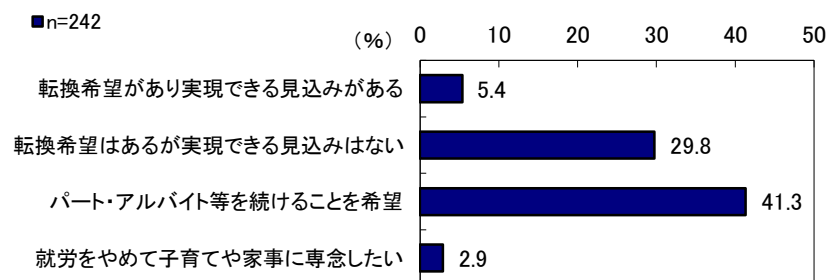
帰宅時間



3 母親のフルタイムへの転換希望

問 13 問 12 の(1)または(2)で「3. 4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。
フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。
(1) 母親

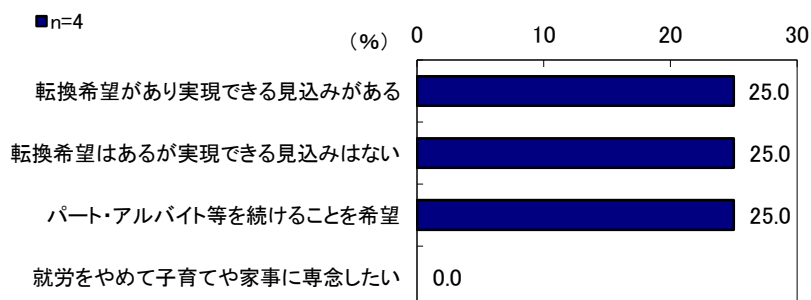
「パート・アルバイト等を続けることを希望」が 41.3%で最も多く、次いで「転換希望はあるが実現できる見込みはない」が 29.8%、「転換希望があり実現できる見込みがある」が 5.4%となっています。



4 父親のフルタイムへの転換希望

(2) 父親

「転換希望があり実現できる見込みがある」、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」、「パート・アルバイト等続けることを希望」が同率で 25.0% となっています。



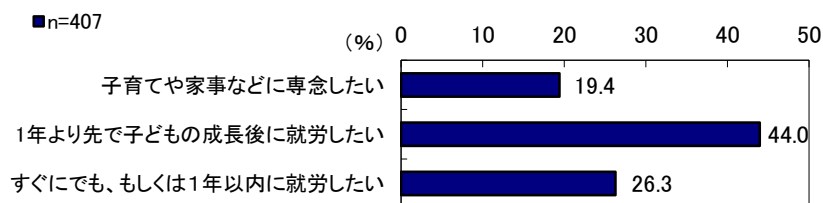
5 母親の就労希望

問 14 問 12 の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。
就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する□内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

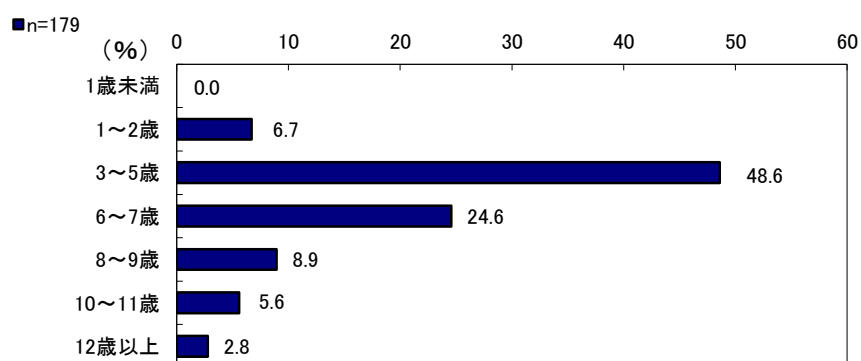
(1) 母親

「1年より先で子どもの成長後に就労したい」が 44.0% で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 26.3%、「子育てや家事などに専念したい」が 19.4% となっています。

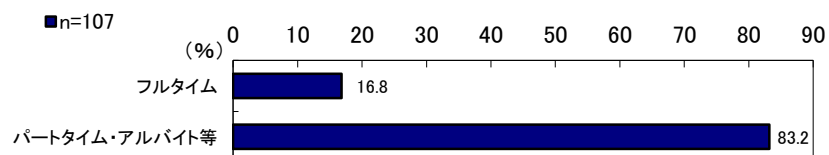
希望する就労形態は「パートタイム・アルバイト等」が 83.2%、「フルタイム」が 16.8% となっています。



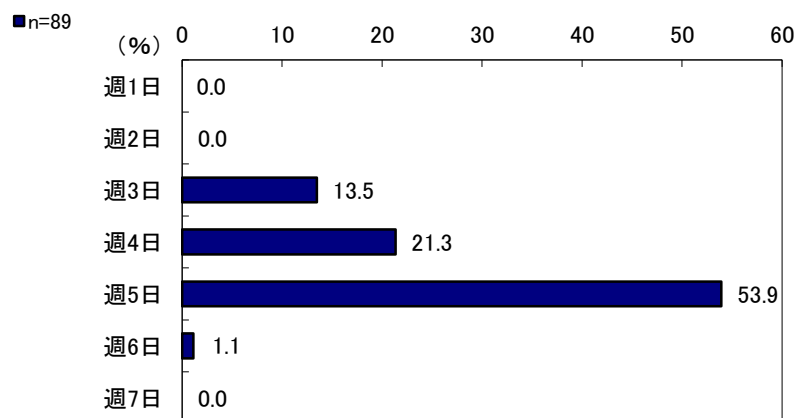
末子の年齢



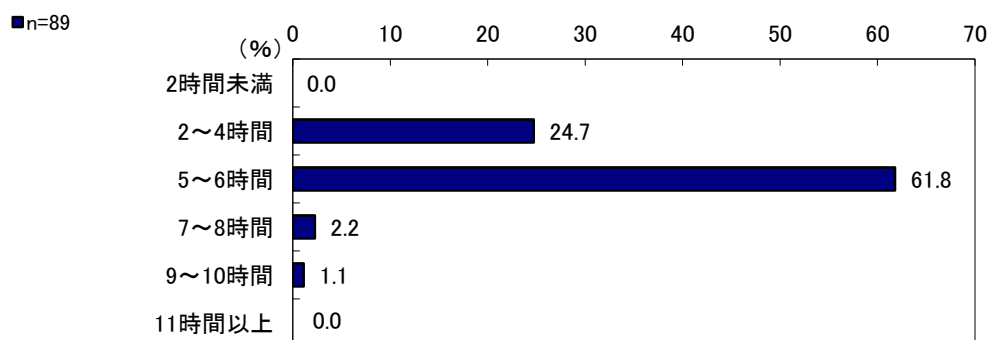
希望する就労形態



週当たり



1日当たり

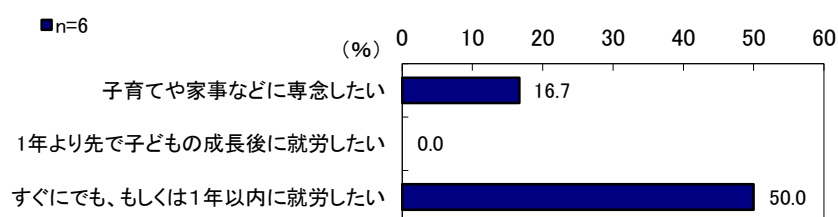


6 父親の就労希望

(2) 父親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%、「子育てや家事に専念したい」が16.7%となっています。

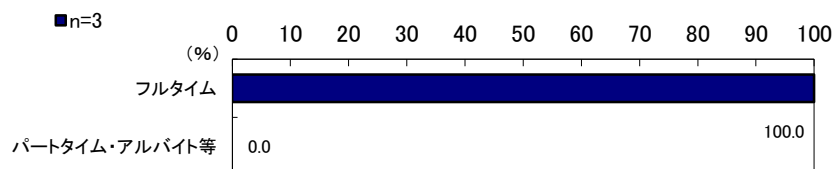
希望する就労形態では全員が「フルタイム」の回答となっています。



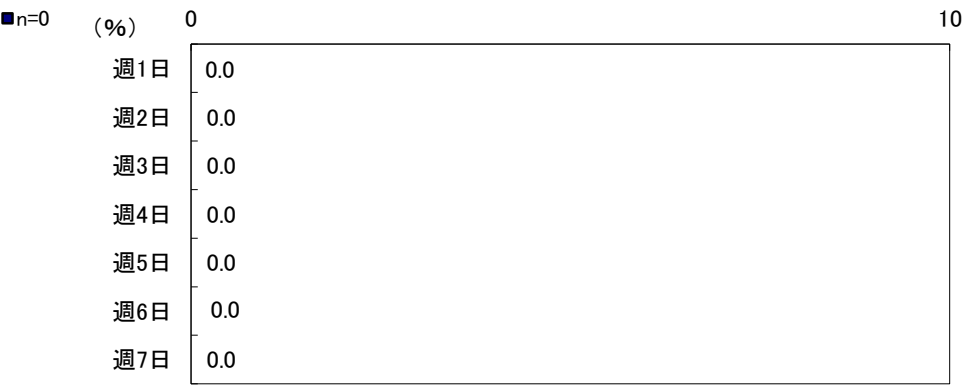
末子の年齢



希望する就労形態



週当たり



1 日 当 たり

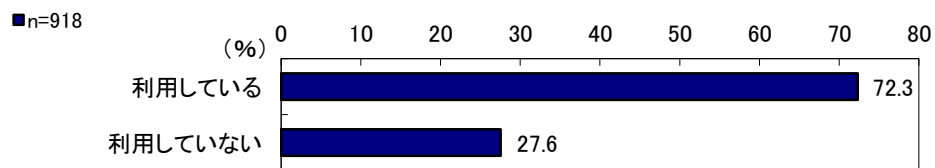


Ⅱ－４ 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

１ 「定期的な教育・保育の事業」の利用の有無

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「利用している」が 72.3%、「利用していない」が 27.6%となっています。

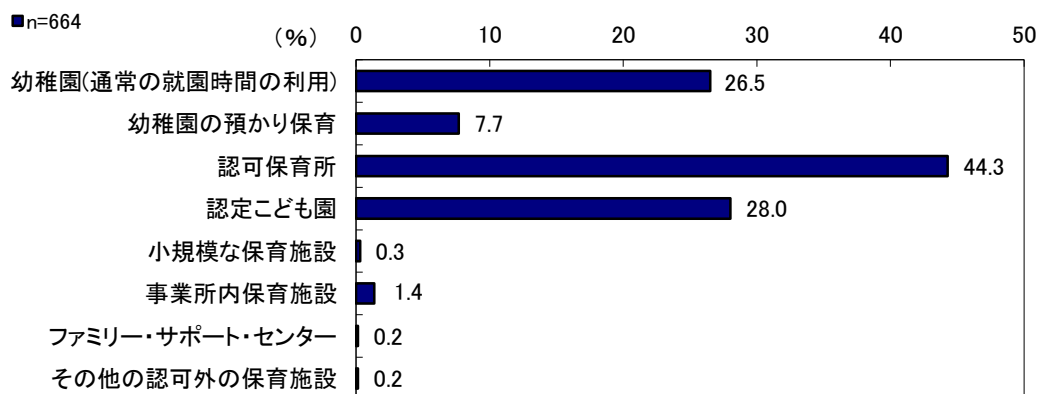


２ 定期的にご利用している教育・保育の事業

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「認可保育所」が 44.3%で最も多く、次いで「認定こども園」が 28.0%、「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が 26.5%となっています。

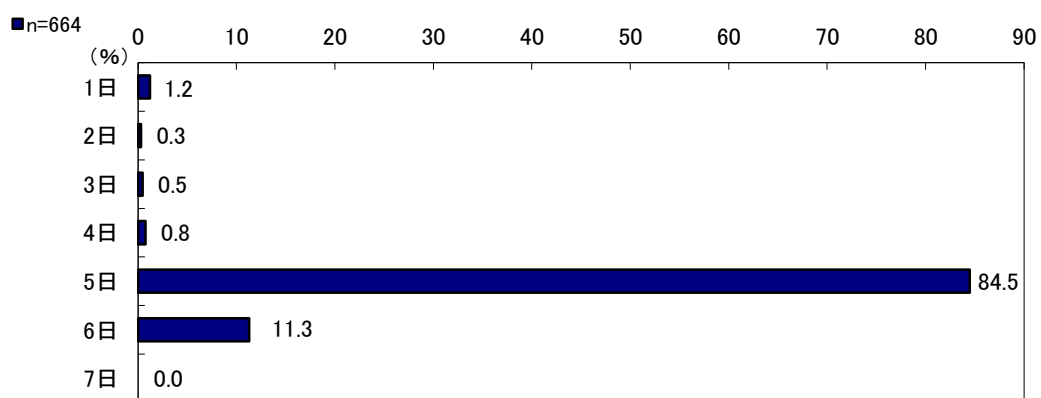


3 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について

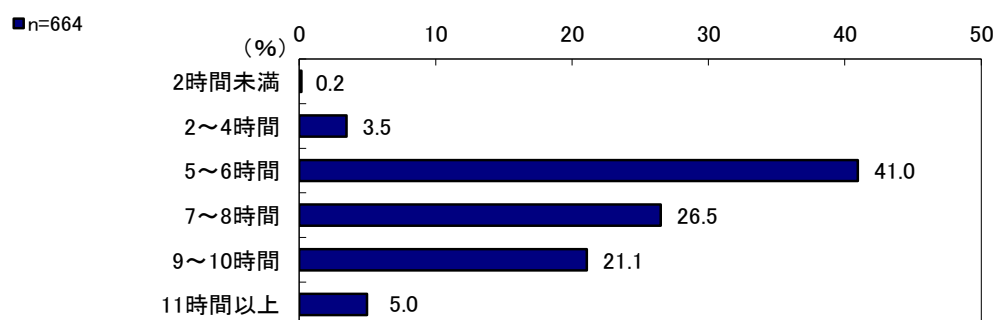
問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□内に具体的な数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。時間は、必ず（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

現在の週当たりでは「週 5 日」が 84.5%、「週 6 日」が 11.3%となっています。
希望の週当たりでは「週 5 日」が 53.0%、「週 6 日」が 18.2%となっています。

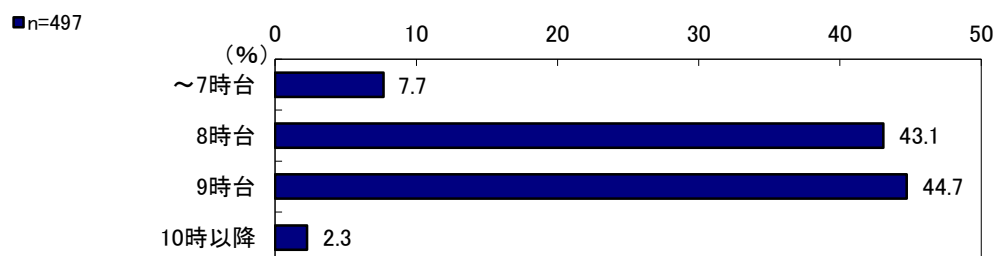
(1) 現在：週当たり



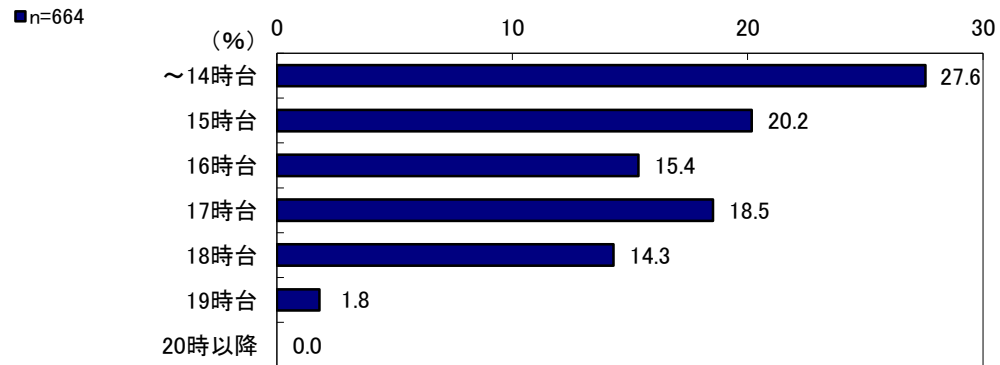
(1) 現在：1 日当たり



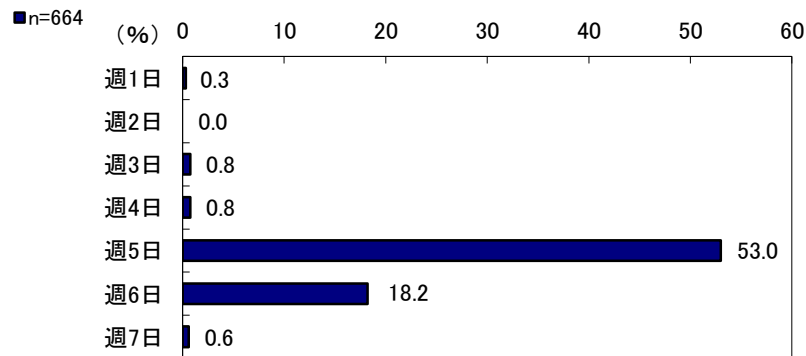
(1) 現在：開始時刻



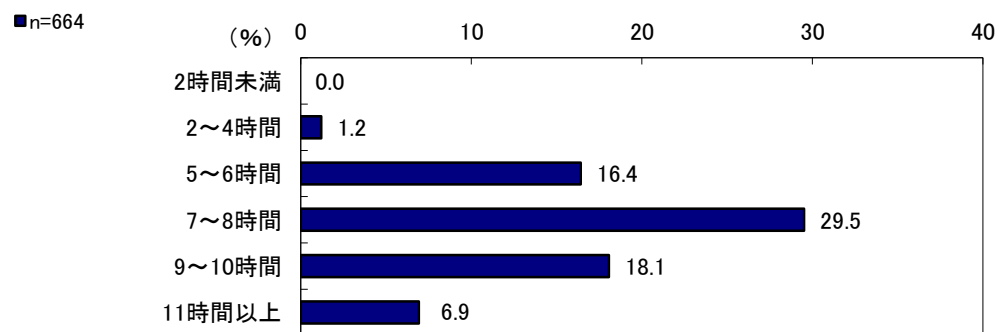
(1)現在：終了時刻



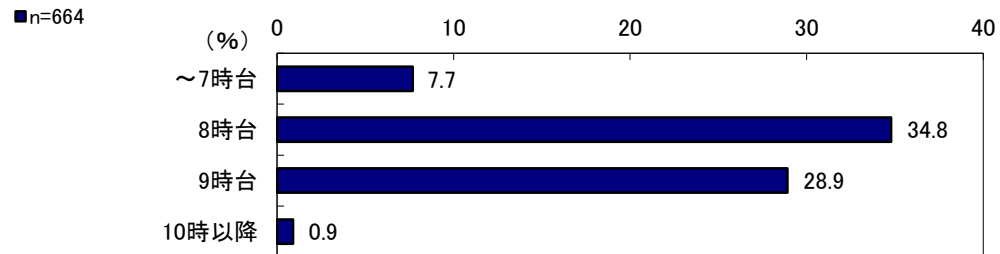
(2)希望：週当たり



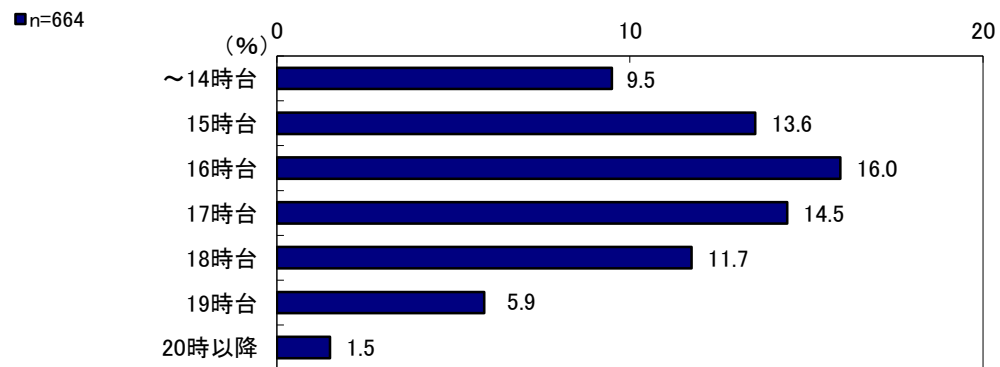
(2)希望：1日当たり



(2) 希望：開始時刻



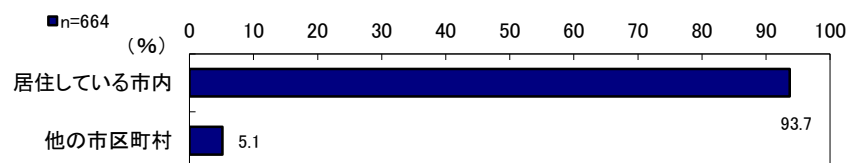
(2) 希望：終了時刻



4 利用している教育・保育事業の実施場所

問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

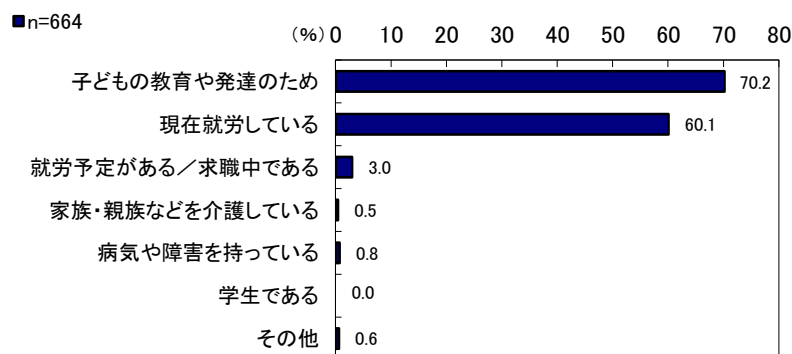
「居住している市内」が93.7%、「他の市区町村」が5.1%となっています。



5 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由

問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

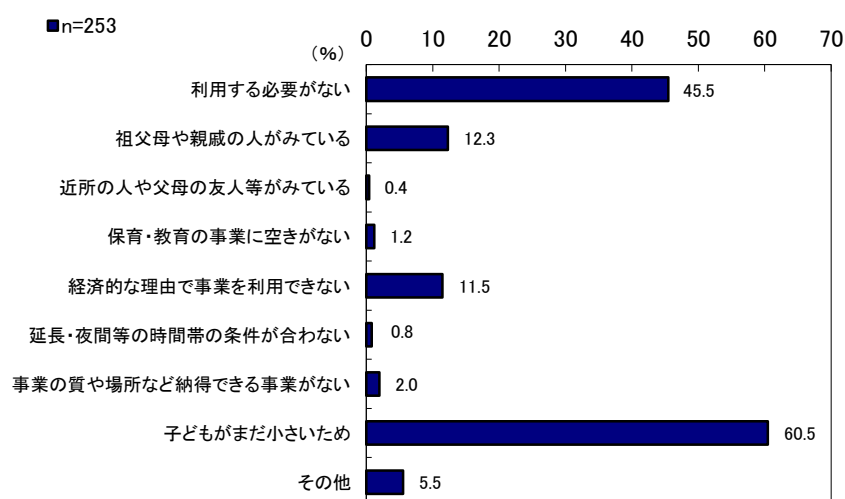
「子どもの教育や発達のため」が 70.2%で最も多く、次いで「現在就労している」が 60.1%、「就労予定がある／求職中である」が 3.0%となっています。



6 利用していない理由

問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

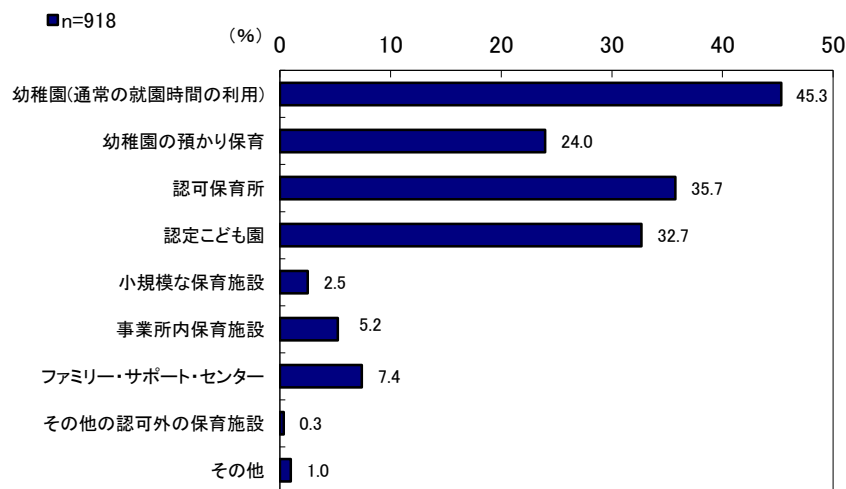
「子どもがまだ小さいため」が 60.5%で最も多く、次いで「利用する必要がない」が 45.5%、「祖父母や親戚の人がみている」が 12.3%となっています。



7 今後定期的に利用したい教育・保育事業

問 16 すべての方のうちがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。（料金等については別紙を参照願います。）

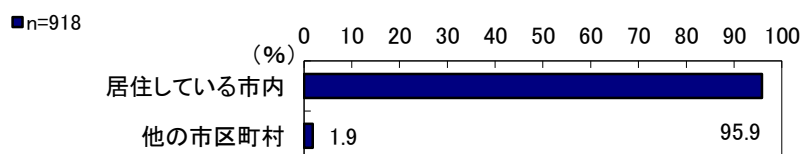
「幼稚園(通常の就園時間の利用)」が 45.3%で最も多く、次いで「認可保育所」が 35.7%、「認定こども園」が 32.7%となっています。



8 今後定期的に利用したい教育・保育事業の場所

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

「居住している市内」が 95.9%、「他の市区町村」が 1.9%となっています。

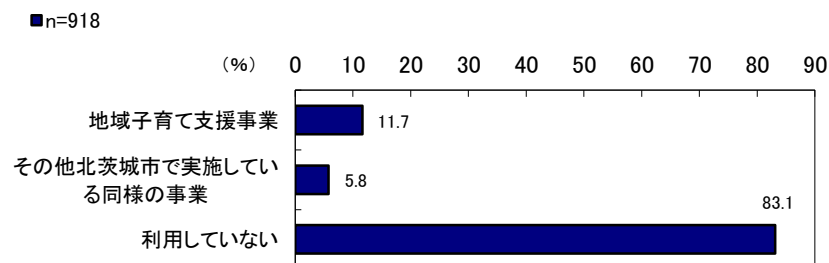


Ⅱ－５ 地域の子育て支援事業の利用状況

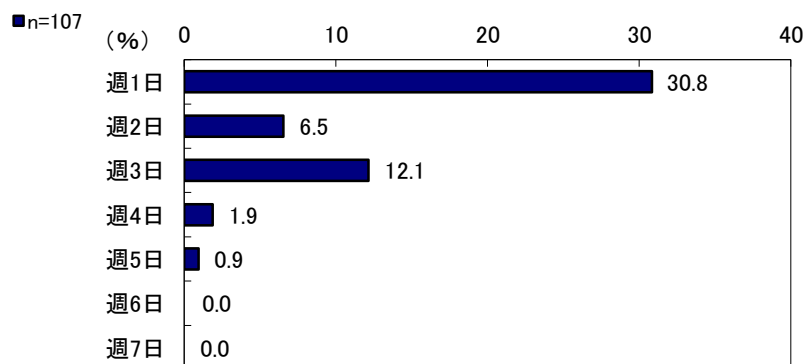
１ 現在利用している地域子育て支援拠点事業

問 17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）を利用していますか。
 ※別紙サークルマップを参照してください。
 次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

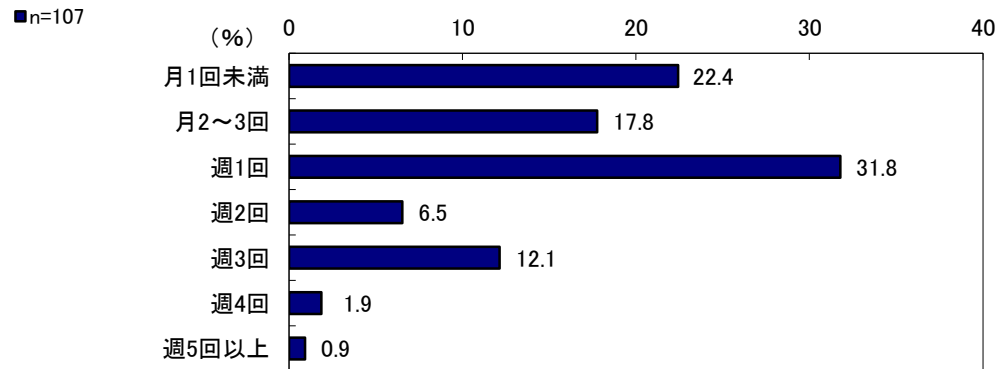
「利用していない」が 83.1%で最も多く、次いで「地域子育て支援事業」が 11.7%、「その他北茨城市で実施している同様の事業」が 5.8%となっています。



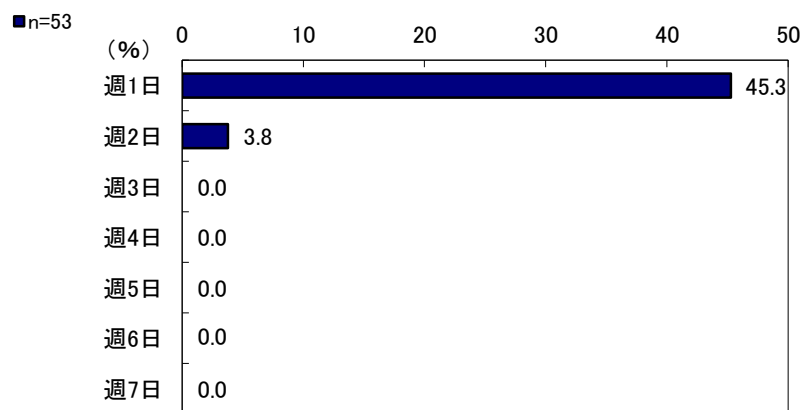
地域子育て支援事業：週当たり



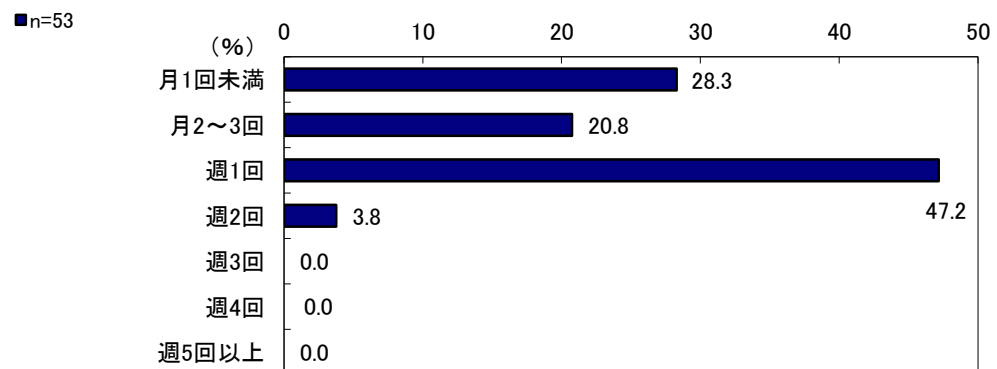
地域子育て支援事業：月当たり



その他事業：週当たり



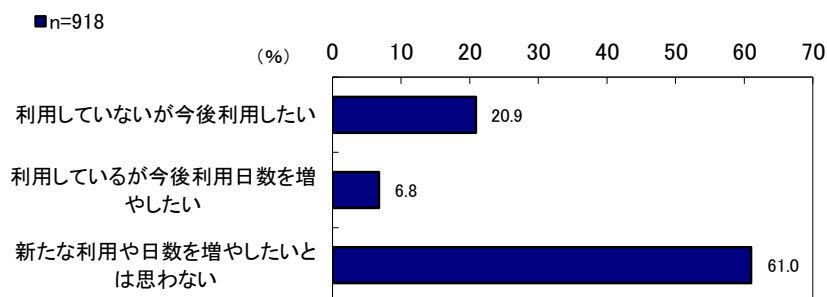
その他事業：月当たり



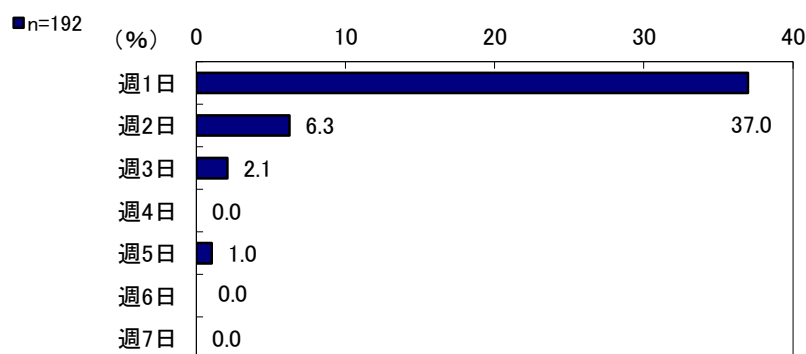
2 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

問 18 問 17 のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。当てはまる番号一つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（料金は、各クラブ等により違います。）

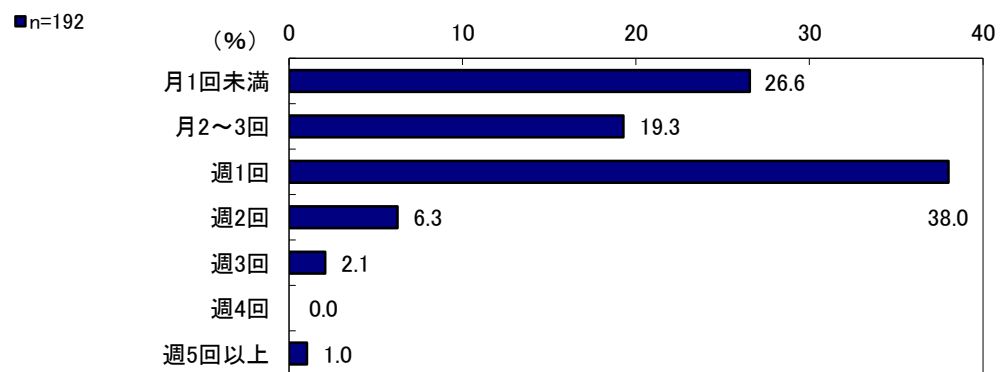
「新たな利用や日数を増やしたいとは思わない」が 61.0%で最も多く、次いで「利用していないが今後利用したい」が 20.9%、「利用しているが今後利用日数を増やしたい」が 6.8%となっています。



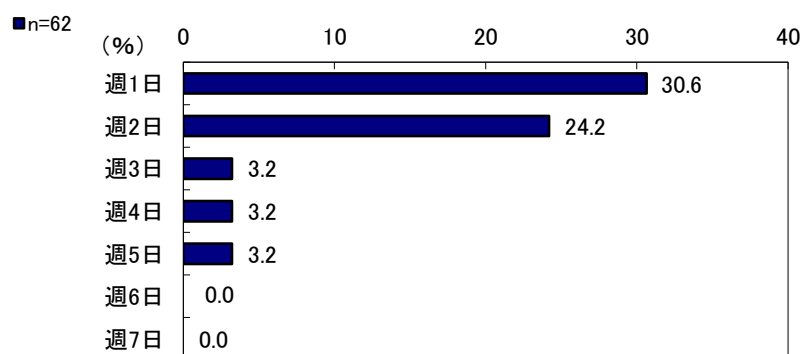
利用していないが、今後利用したい：週当たり



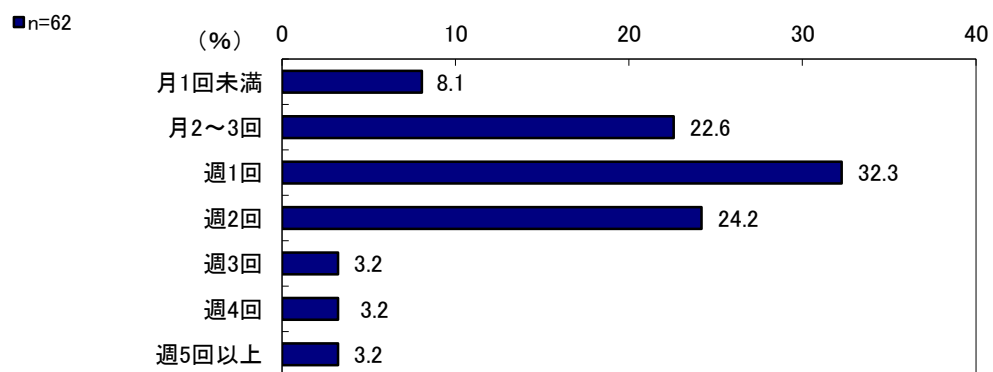
利用していないが、今後利用したい：月当たり



利用しているが、今後増やしたい：週当たり



利用しているが、今後増やしたい：月当たり



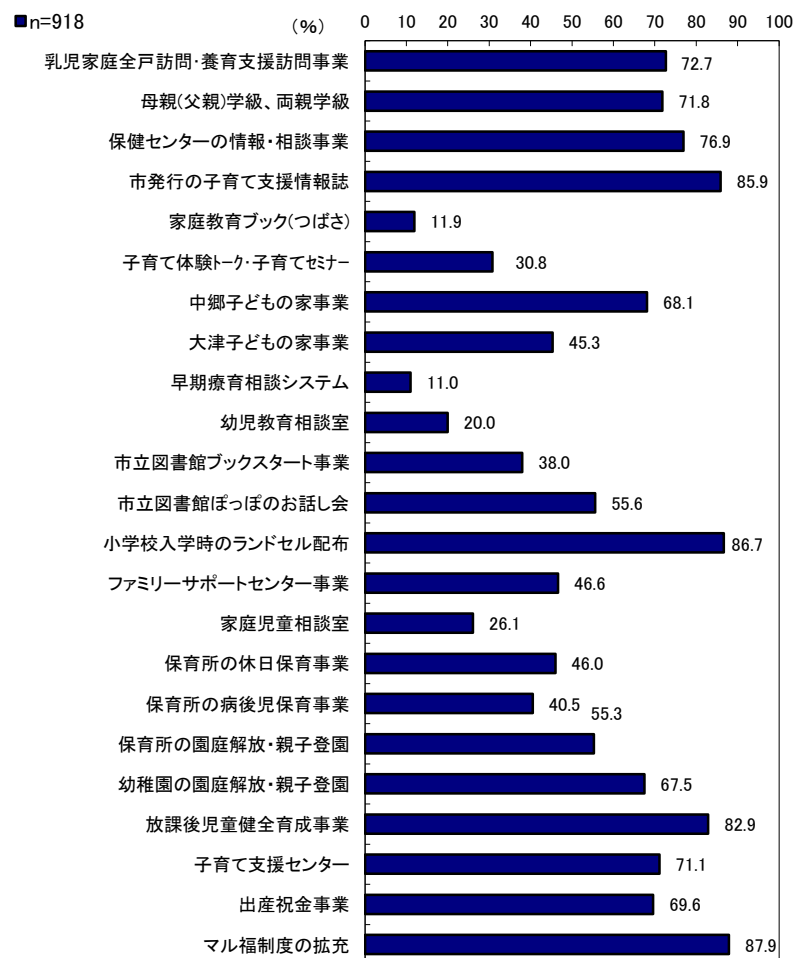
3 北茨城市で行っている事業について

問 19 下記の現在北茨城市で行っている事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。それぞれ事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

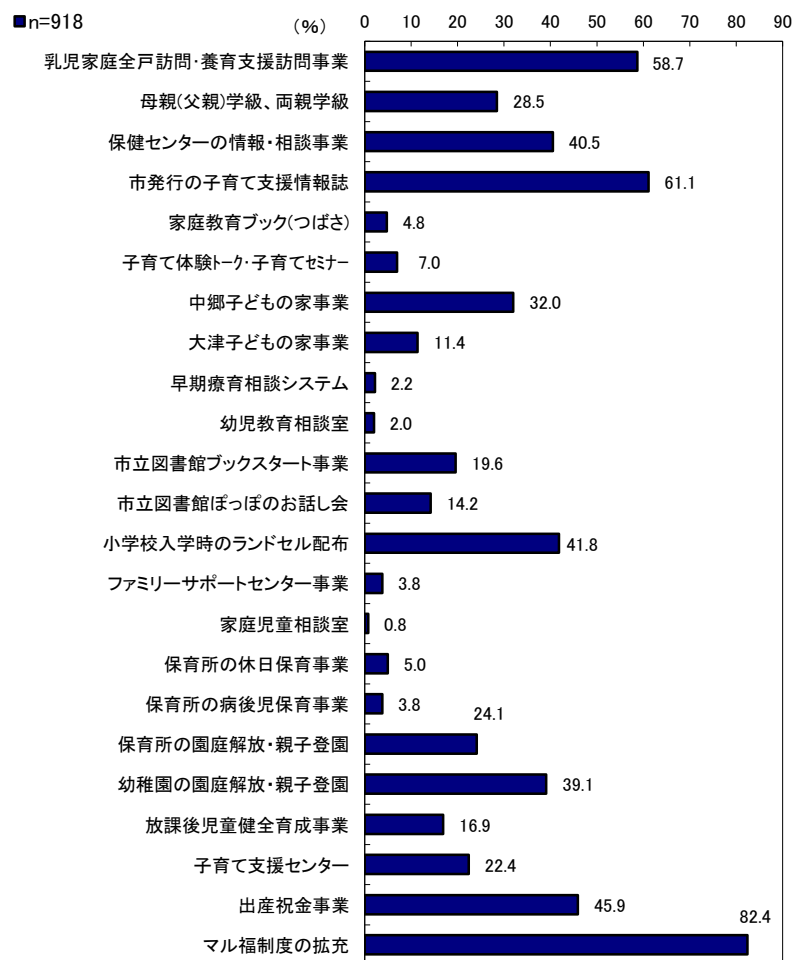
知っている事業では「マル福制度の拡充」が 87.9%で最も多く、次いで「小学校入学時のランドセル配布」が 86.7%、「市発行の子育て支援情報誌」が 85.9%となっています。

利用したことのある事業では「マル福制度の拡充」が 82.4%、今後利用したい事業でも「マル福制度の拡充」が 83.0%で最も多くなっています。

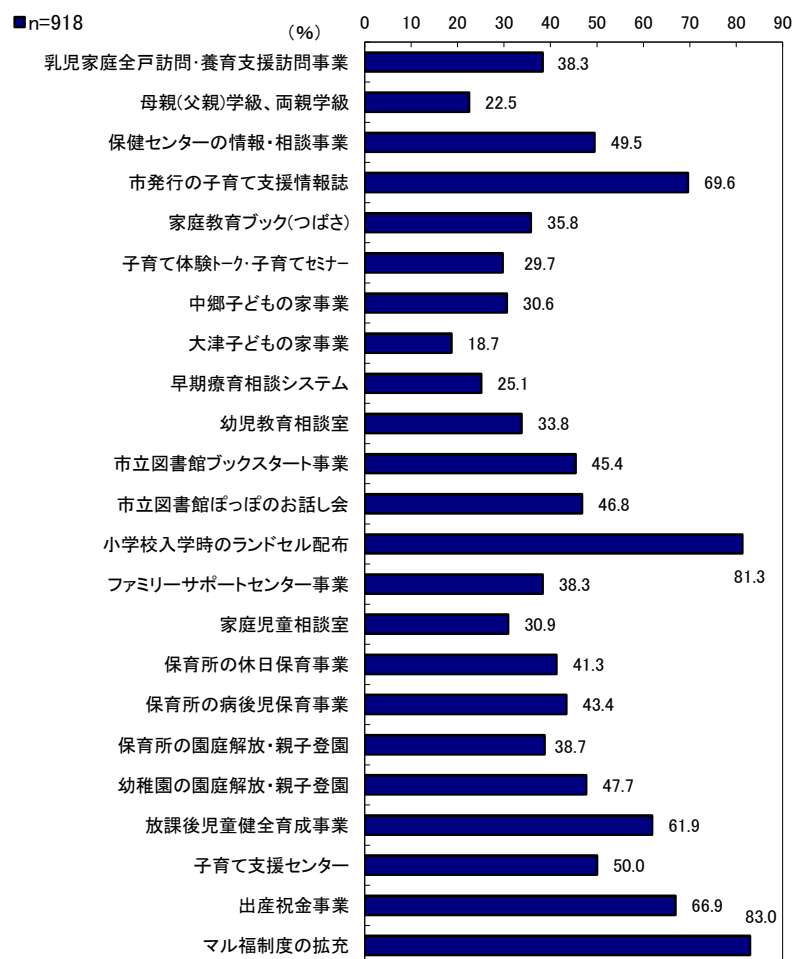
A 知っている事業



B 利用したことがある事業



C 今後利用したい事業



Ⅱ－6 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望

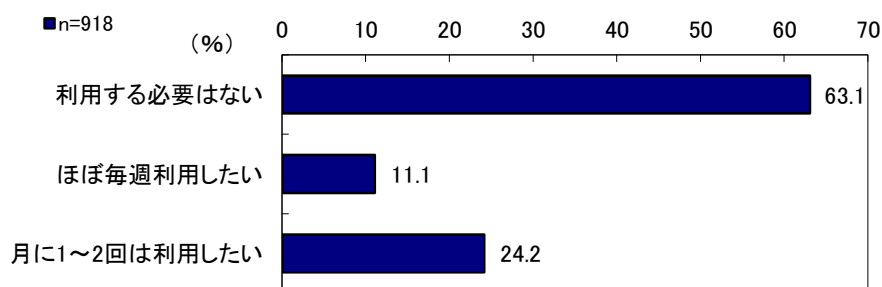
1 土・日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向

問 20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

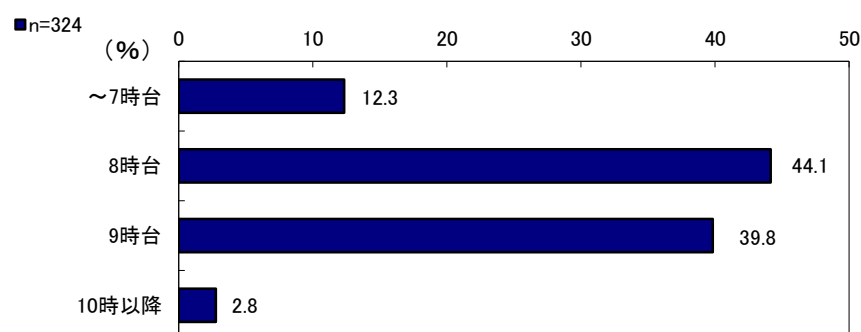
土曜日では「利用する必要はない」が63.1%、「月に1～2回は利用したい」が24.2%、「ほぼ毎週利用したい」が11.1%となっています。

日曜日・祝日では「利用する必要はない」が78.2%、「月に1～2回は利用したい」が17.3%、「ほぼ毎週利用したい」が2.3%となっています。

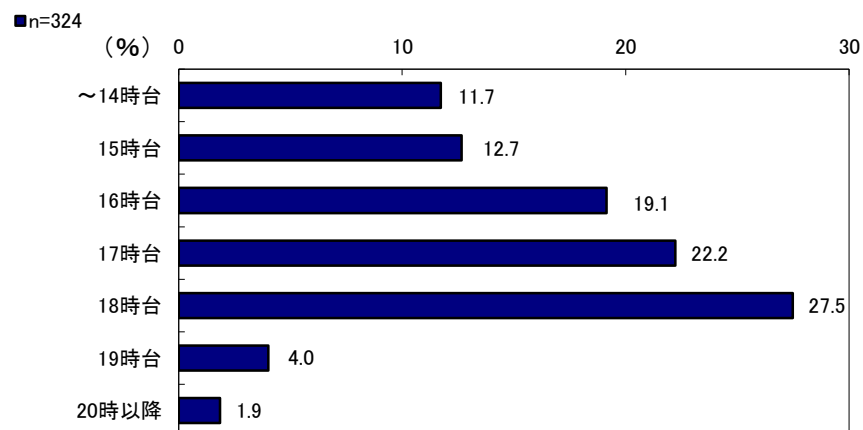
土曜日



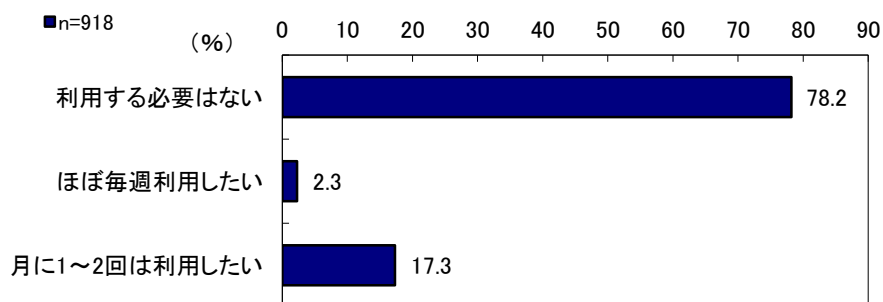
土曜日：利用したい時間帯 開始時刻



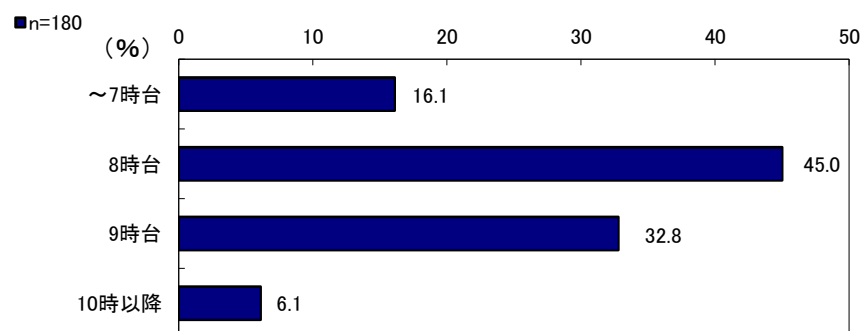
土曜日：利用したい時間帯 終了時刻



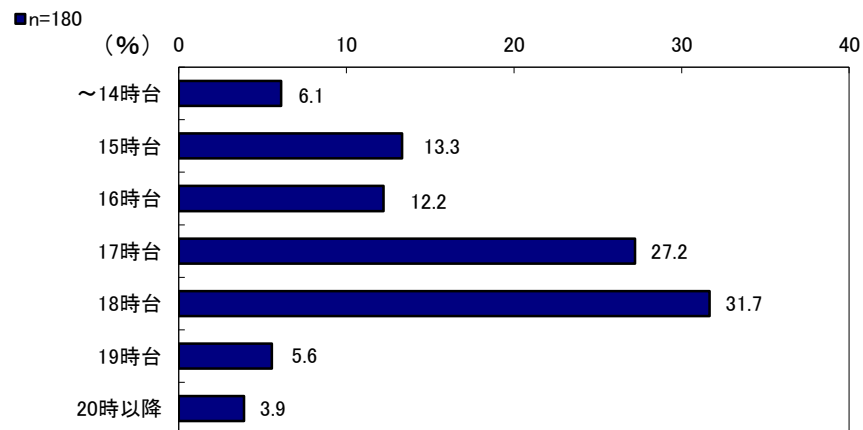
日曜日・祝日



日曜日・祝日：利用したい時間帯 開始時刻



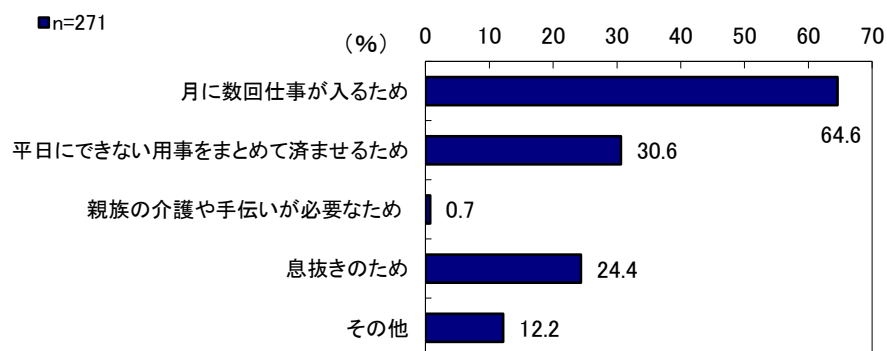
日曜日・祝日：利用したい時間帯 終了時刻



2 土・日・祝日の定期的な教育・保育事業をたまに利用したい理由

問 20-1 問 20 の（１）もしくは（２）で、「３．月に１～２回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

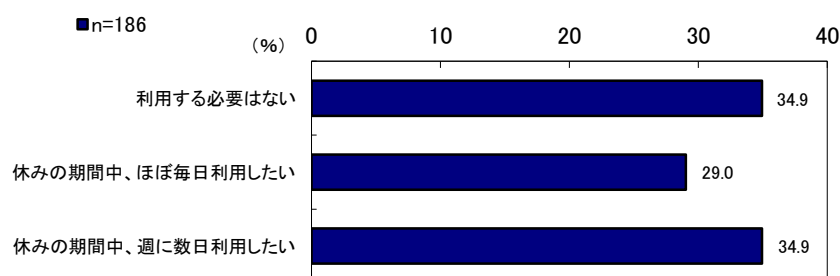
「月に数回仕事が入るため」が 64.6%で最も多く、次いで「平日にできない用事をまとめて済ませるため」が 30.6%、「息抜きのため」が 24.4%となっています。



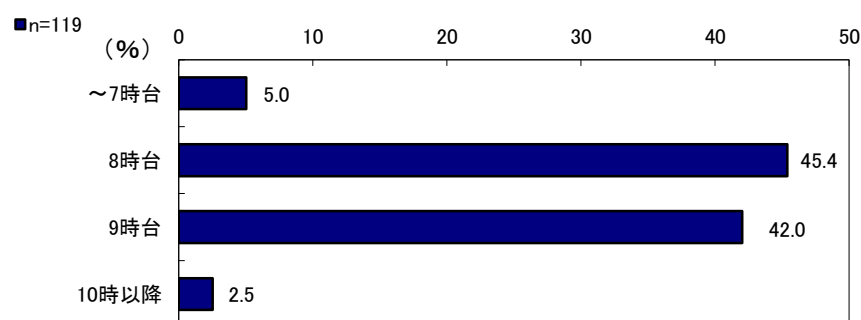
3 長期休暇期間中の教育・保育事業の利用意向

問 21 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください(数字は一桁に一字)。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

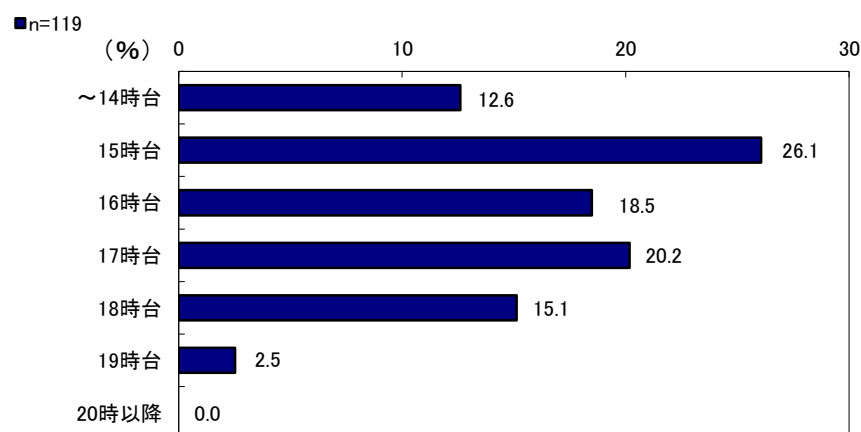
「利用する必要はない」と「休みの期間中、週に数日利用したい」が同率で 34.9%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が 29.0%となっています。



利用したい時間帯：開始時刻



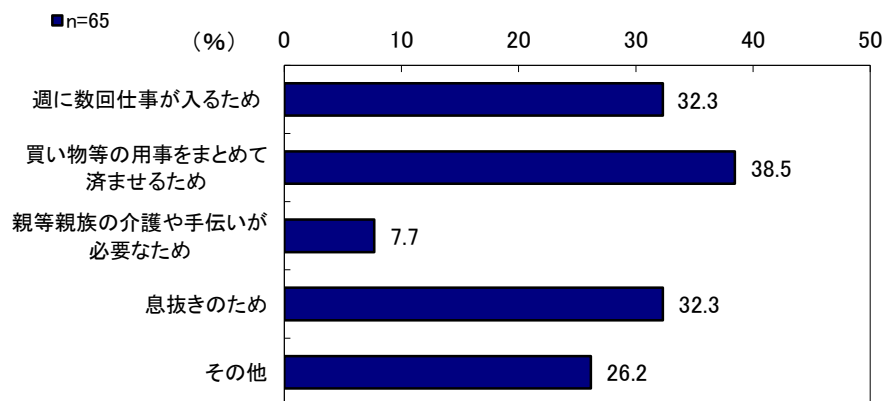
利用したい時間帯：終了時刻



4 長期休暇期間中の教育・保育事業をたまに利用した理由

問 21-1 問 21 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が 38.5%で最も多く、次いで「週に数回仕事が入るため」と「息抜きのため」が 32.3%で同率となっています。

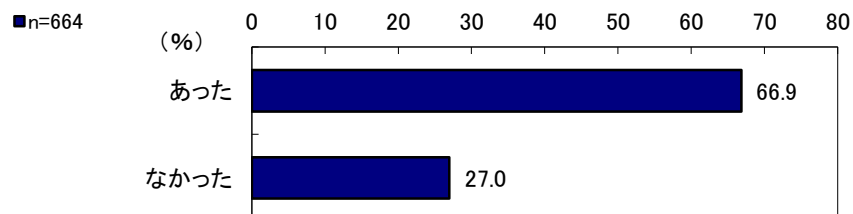


Ⅱ-7 病気の際の対応について

1 病気やケガで通常の事業が利用できなかったこと

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

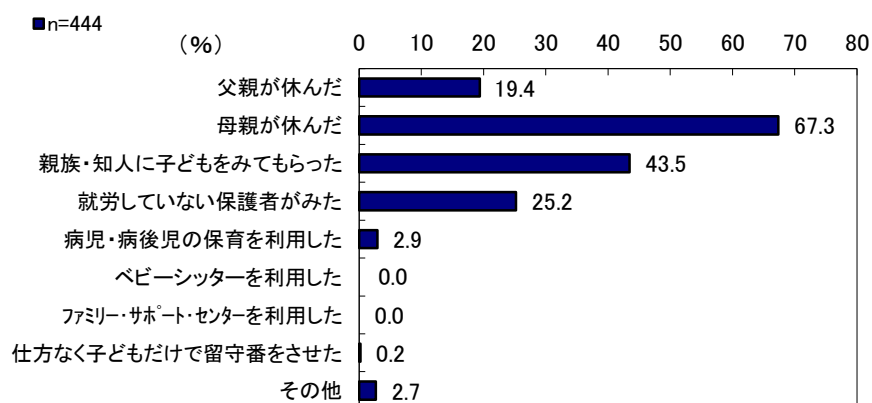
「あった」が 66.9%、「なかった」が 27.0%となっています。
年齢別では、2歳以下で「あった」割合が高い傾向がみられます。



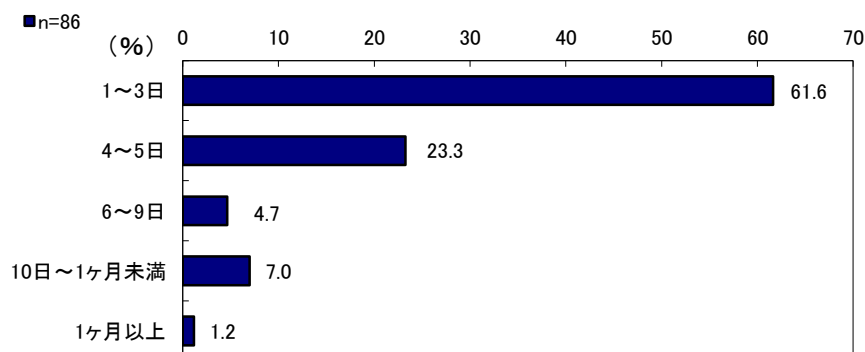
2 病気やケガの時の対処方法

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字。）

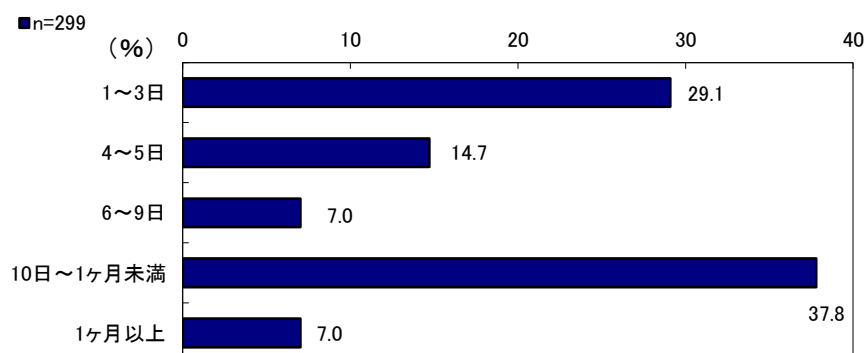
「母親が休んだ」が67.3%で最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が43.5%、「就労していない保護者がみた」が25.2%となっています。



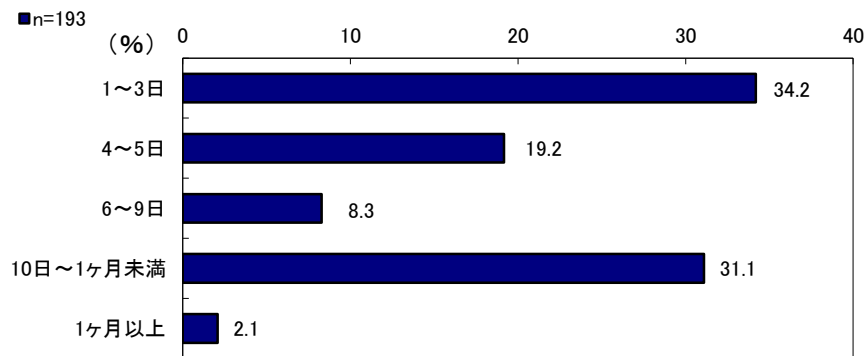
日数：父親が休んだ



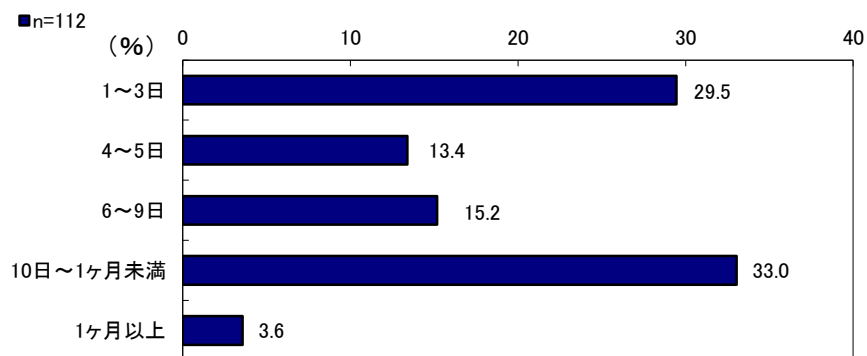
日数：母親が休んだ



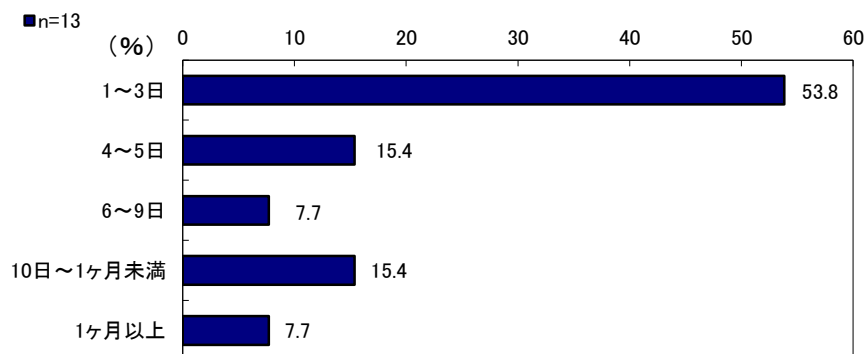
日数：親族・知人に子どもをみてもらった



日数：就労していない保護者がみた



日数：病児・病後児の保育を利用した



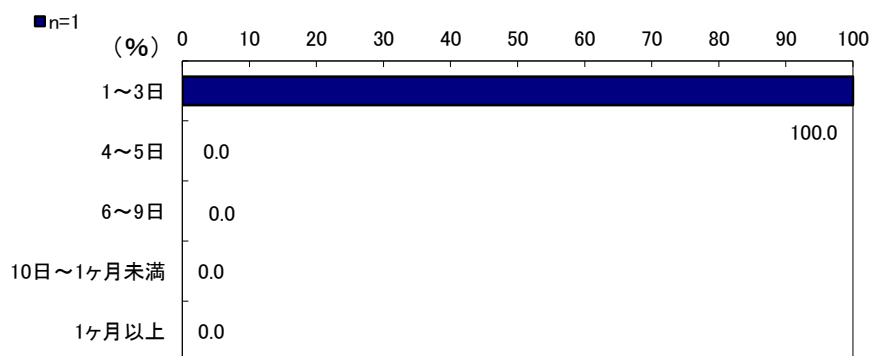
日数：ベビーシッターを利用した



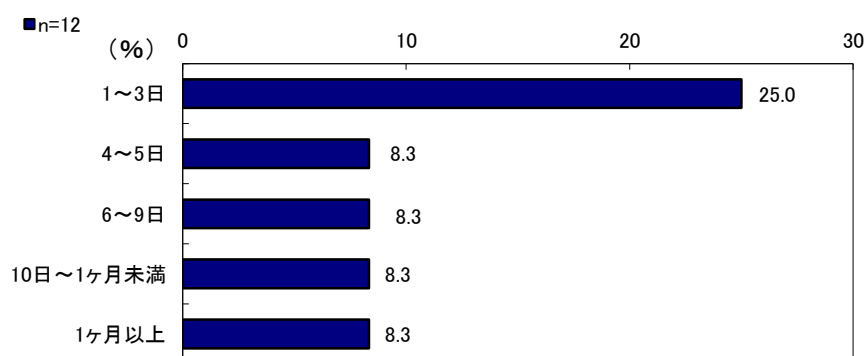
日数：ファミリー・サポート・センターを利用した



日数：仕方なく子どもだけで留守番をさせた



日数：その他

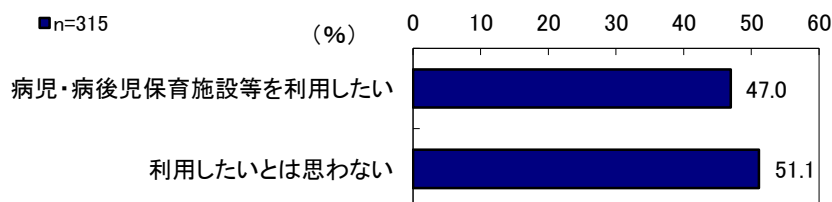


3 病児・病後児保育施設等の利用意向

問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

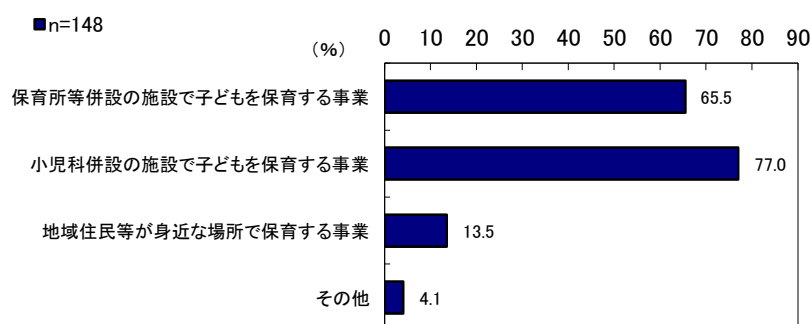
「利用したいとは思わない」が 51.1%、「病児・病後児保育施設等を利用したい」が 47.0%となっています。



4 病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方
にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ま
しいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

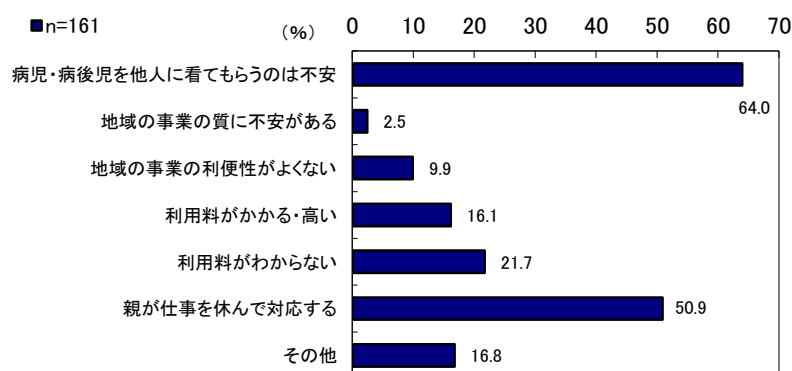
「小児科併設の施設で子どもを保育する事業」が 77.0%、「保育所等併設の施設
で子どもを保育する事業」が 65.5%、「地域住民等が身近な場所で保育する事業」
が 13.5%となっています。



5 病児・病後児保育施設等を利用したくない理由

問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われ
る理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 64.0%で最も多く、次いで「親
が仕事を休んで対応する」が 50.9%、「利用料がわからない」が 21.7%となってい
ます。

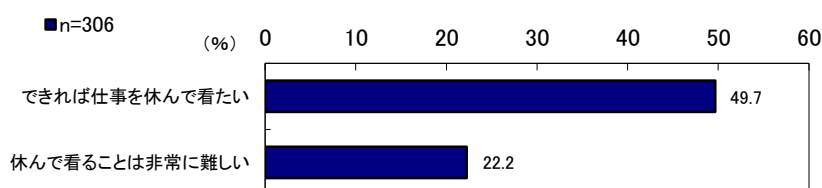


6 休んで看たいか

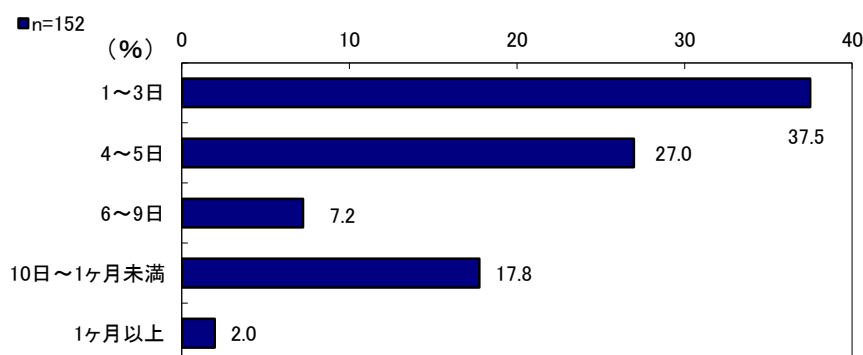
問 22-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

「できれば仕事を休んで看たい」が 49.7%、「休んで看することは非常に難しい」が 22.2%となっています。



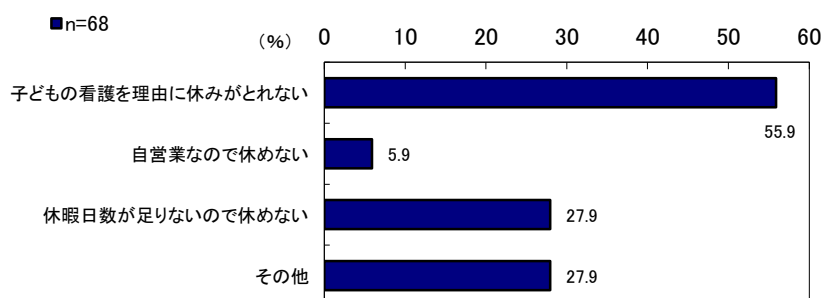
日数



7 休んで看ることが非常に難しい理由

問 22-6 問 22-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 55.9%で最も多く、次いで「休暇日数が足りないので休めない」と「その他」が 27.9%で同率となっています。

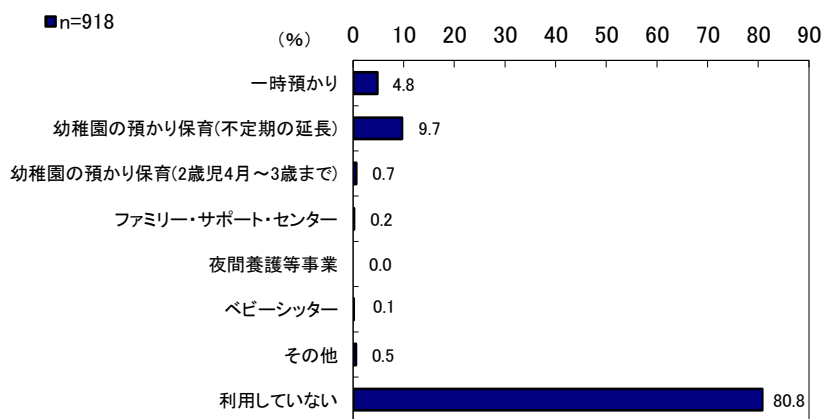


Ⅱ－８ 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

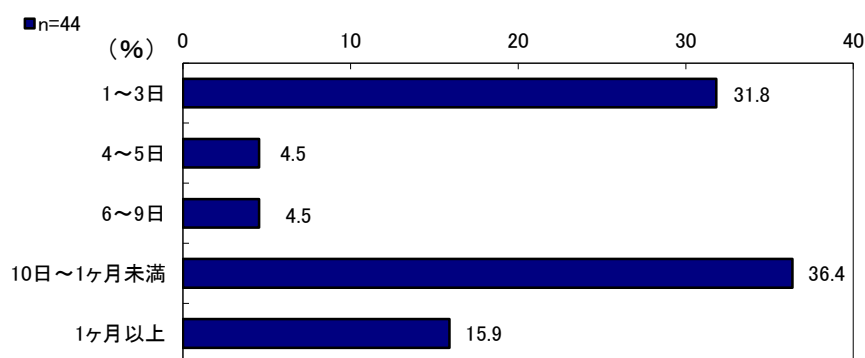
１ 不定期に利用している事業

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

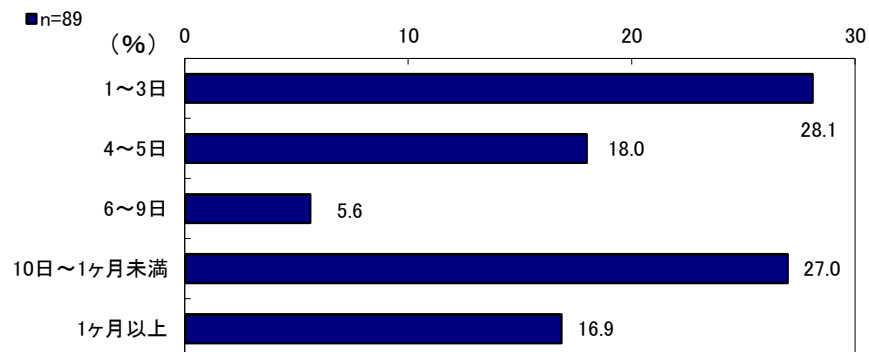
「利用していない」が80.8%で最も多くなっています。具体的に利用している事業は「幼稚園の預かり保育(不定期の延長)」が9.7%、「一時預かり」が4.8%、「幼稚園の預かり保育(2歳児4月～3歳まで)」が0.7%となっています。



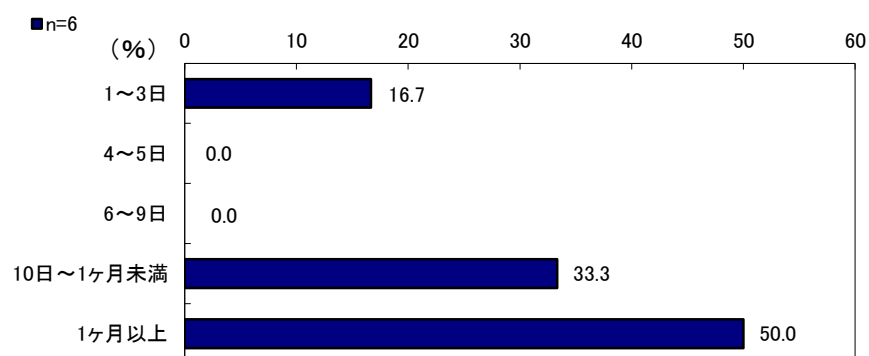
利用日数：一時預かり



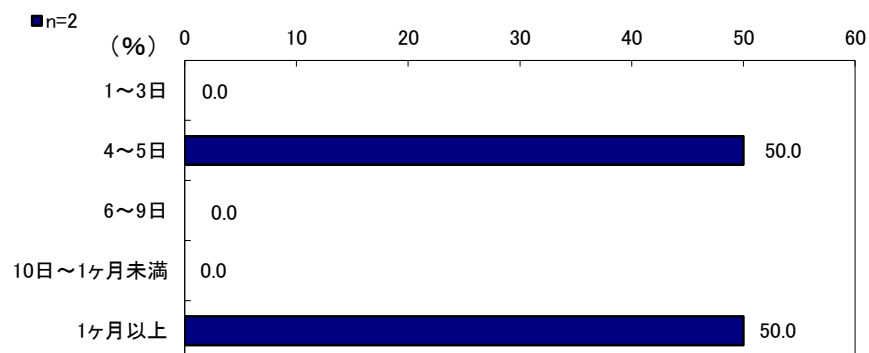
利用日数：幼稚園の預かり保育（不定期の延長）



利用日数：幼稚園の預かり保育（2歳児4月から3歳まで）



利用日数：ファミリー・サポート・センター



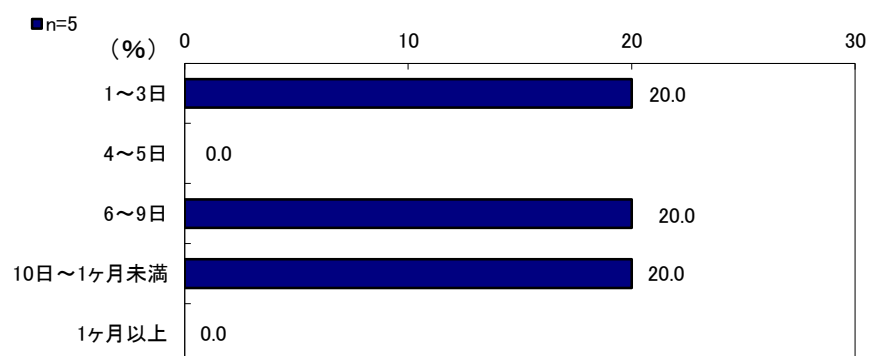
利用日数：夜間養護等事業



利用日数：ベビーシッター



利用日数：その他

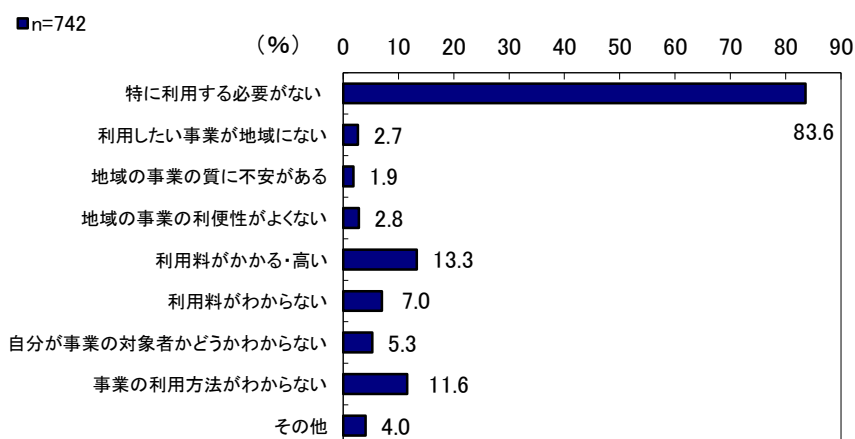


2 利用していない理由

問 23 で「8. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

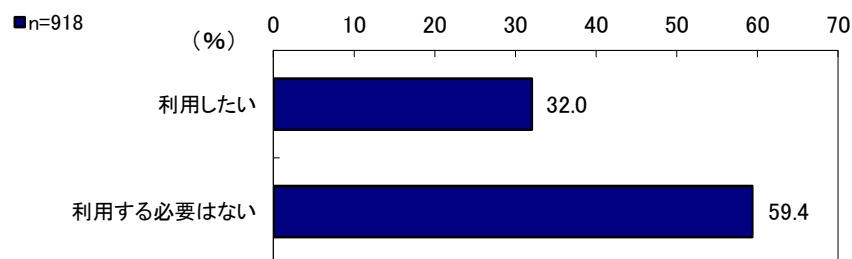
「特に利用する必要がない」が 83.6%で最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が 13.3%、「事業の利用方法がわからない」が 11.6%となっています。



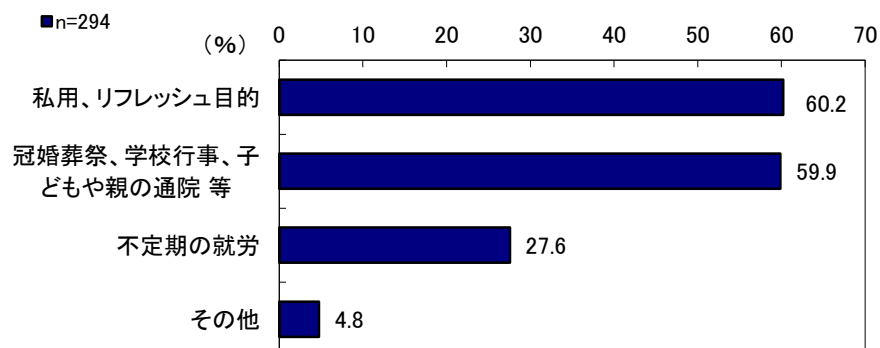
3 利用したい日数

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

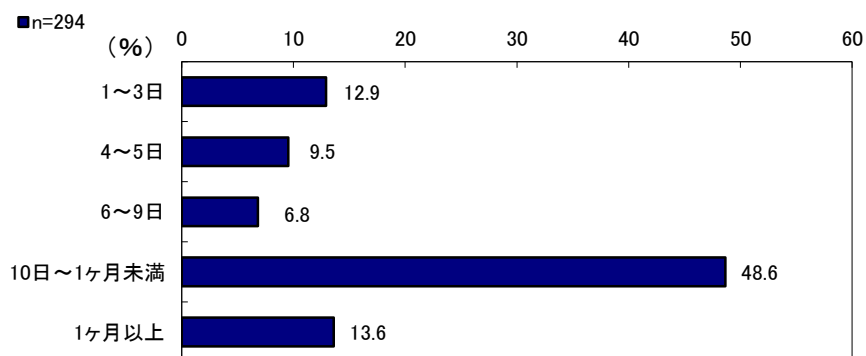
「利用する必要はない」が 59.4%、「利用したい」が 32.0%となっています。
理由は「私用、リフレッシュ目的」が 60.2%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が 59.9%となっています。



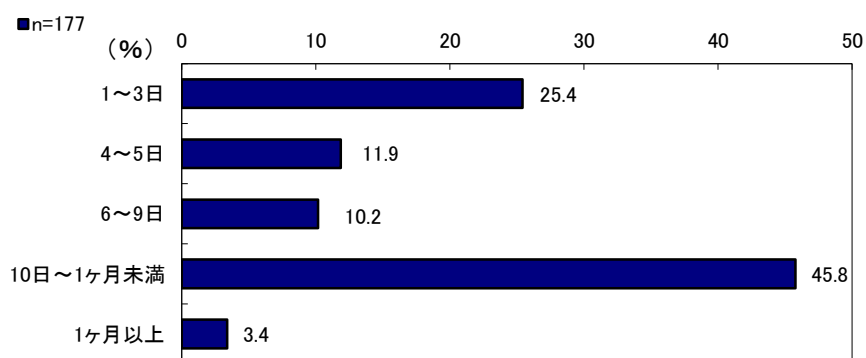
理由



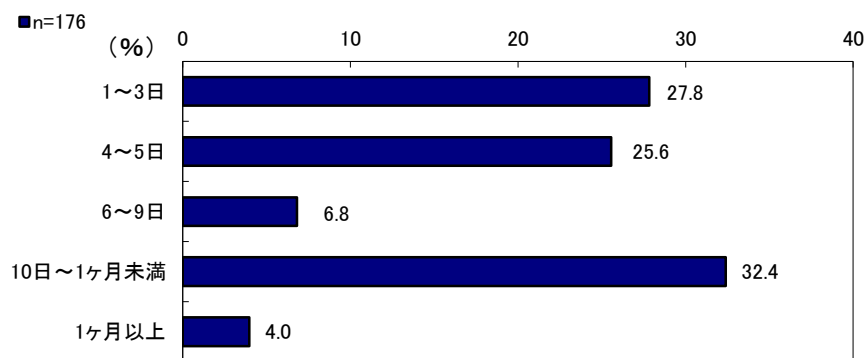
日数：合計



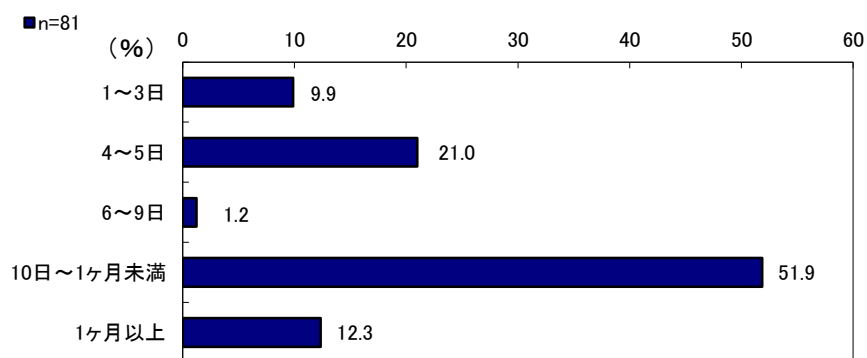
日数：私用、リフレッシュ目的



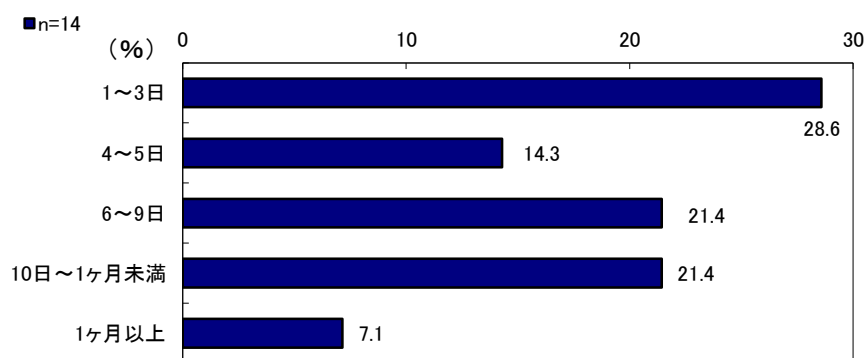
日数：冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



日数：不定期の就労



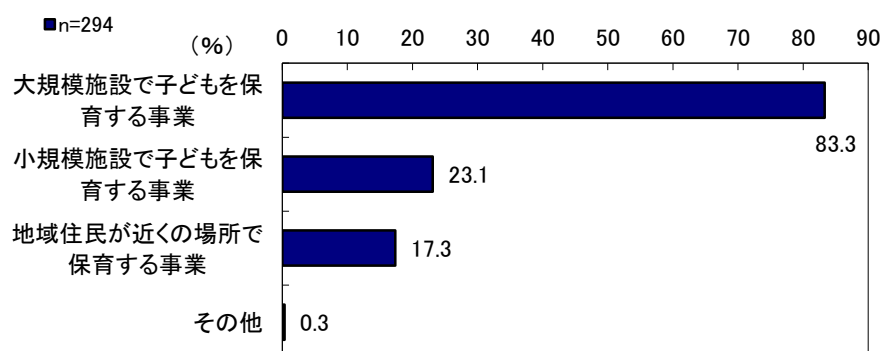
日数：その他



4 望ましい事業形態

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

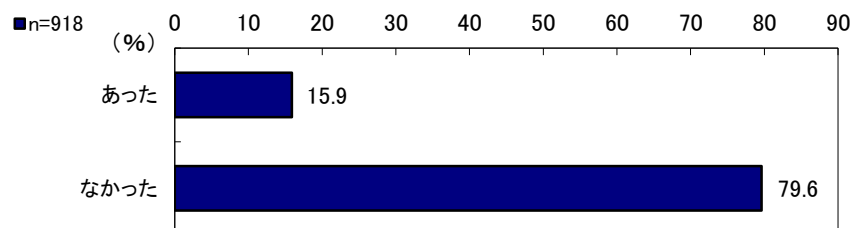
「大規模施設で子どもを保育する事業」が 83.3%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が 23.1%、「地域住民が近くで保育する事業」が 17.3%となっています。



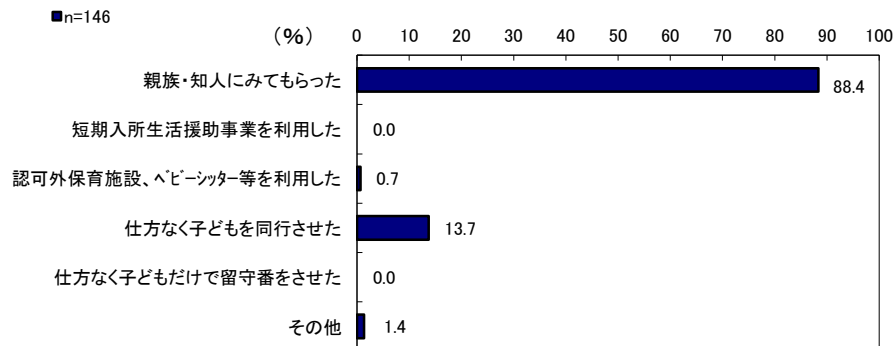
5 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないこと

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

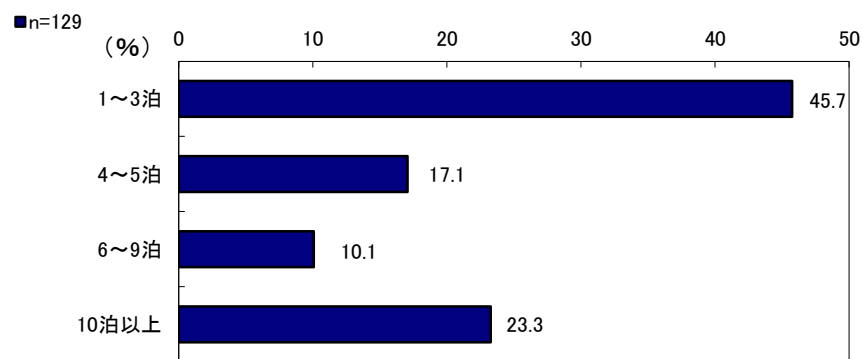
「なかった」が 79.6%、「あった」が 15.9%となっています。
対処方法は「親族・知人にみてもらった」が 88.4%と多数を占めています。



対処方法



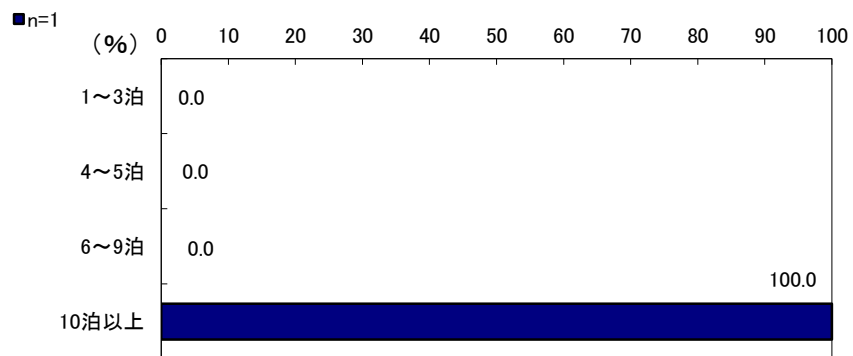
日数：親族・知人にみてもらった



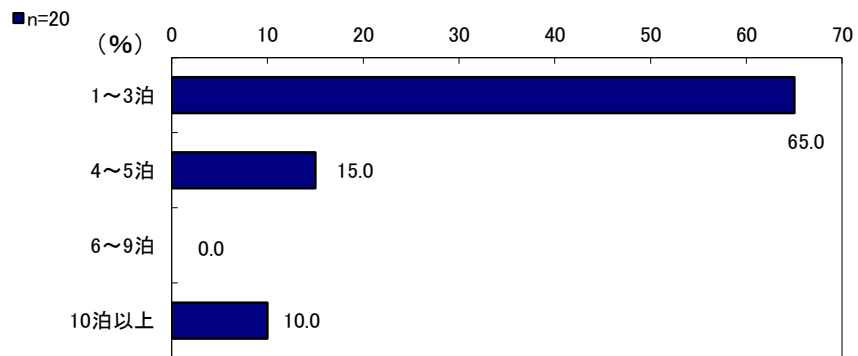
日数：短期入所生活援助事業を利用した



日数：短期入所生活援助事業以外の事業を利用した



日数：仕方なく子どもを同行させた



日数：仕方なく子どもだけで留守番をさせた



日数：その他



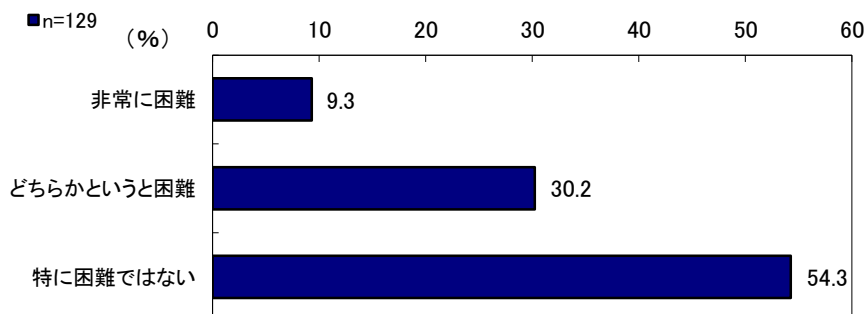
6 泊りがけでみてもらうときの困難度

問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

⇒ア. 以外を選択した方は問 26 へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「特に困難ではない」が 54.3%で最も多く、次いで「どちらかというと困難」が 30.2%、「非常に困難」が 9.3%となっています。

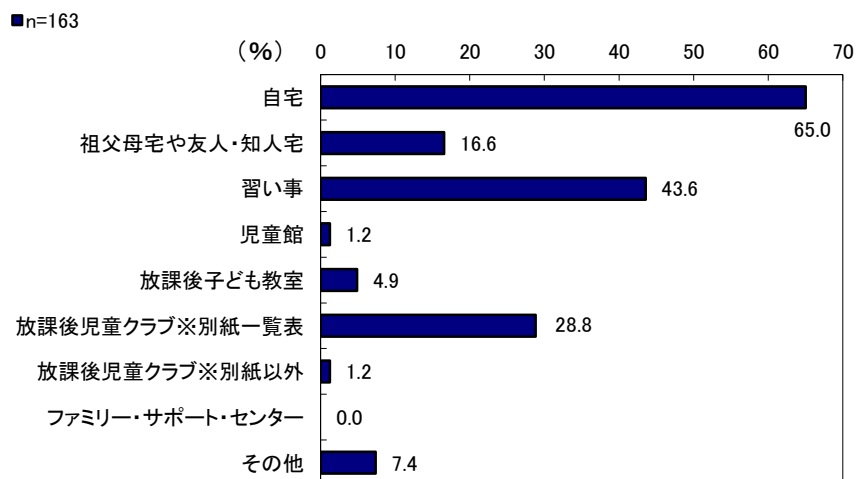


Ⅱ－９ 小学校就学後の放課後の過ごし方について

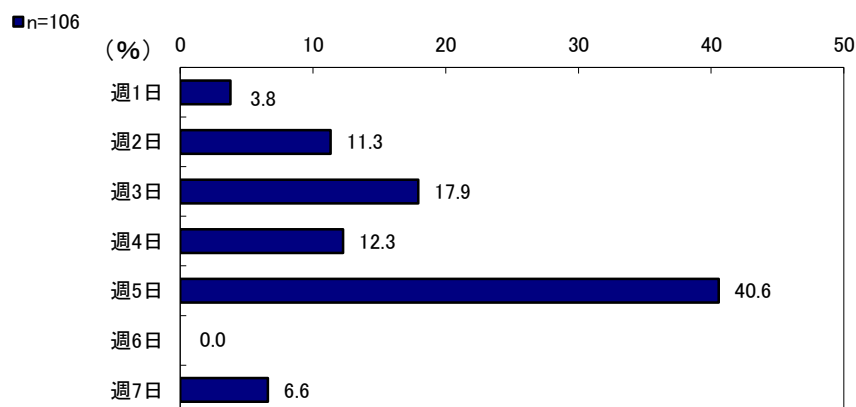
１ 希望する小学校低学年の過ごさせ方

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように 24 時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

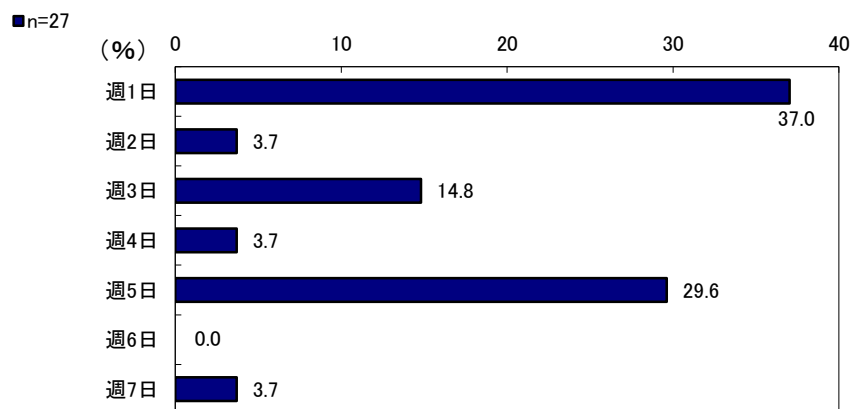
「自宅」が 65.0%で最も多く、次いで「習い事」が 43.6%、「放課後児童クラブ ※別紙一覧表」が 28.8%となっています。



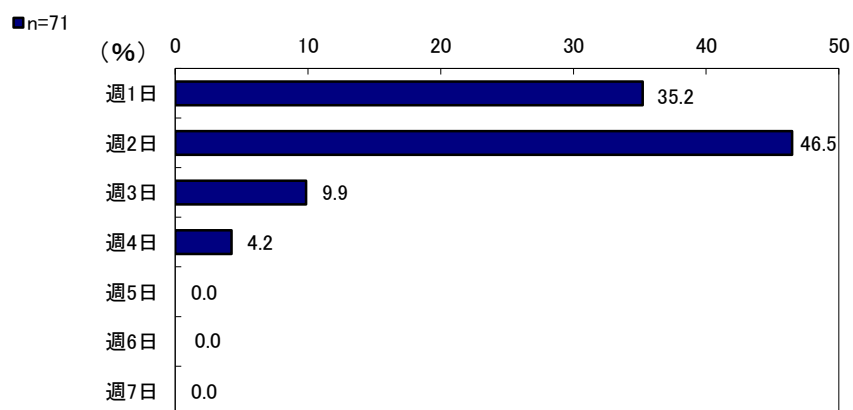
週当たり日数：自宅



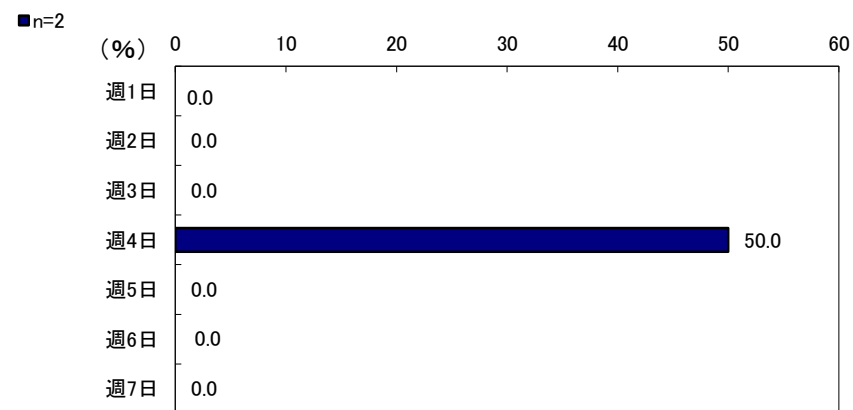
週当たり日数：祖父母宅や友人・知人宅



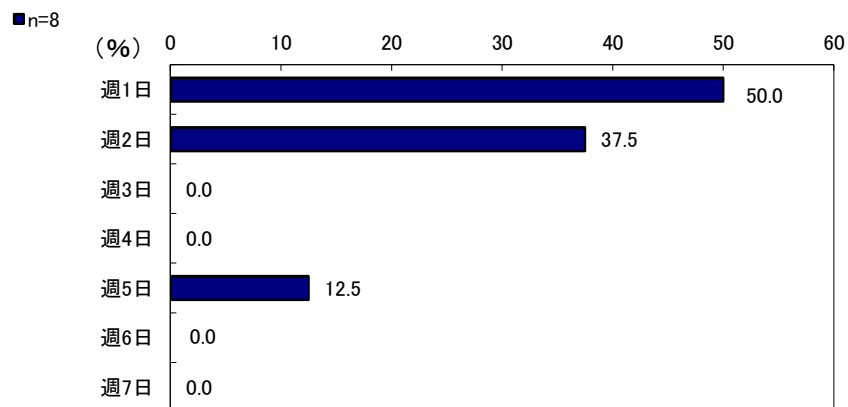
週当たり日数：習い事



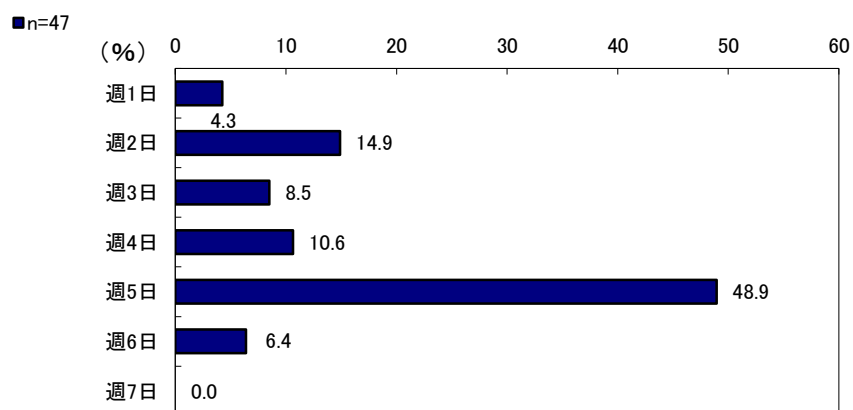
週当たり日数：児童館



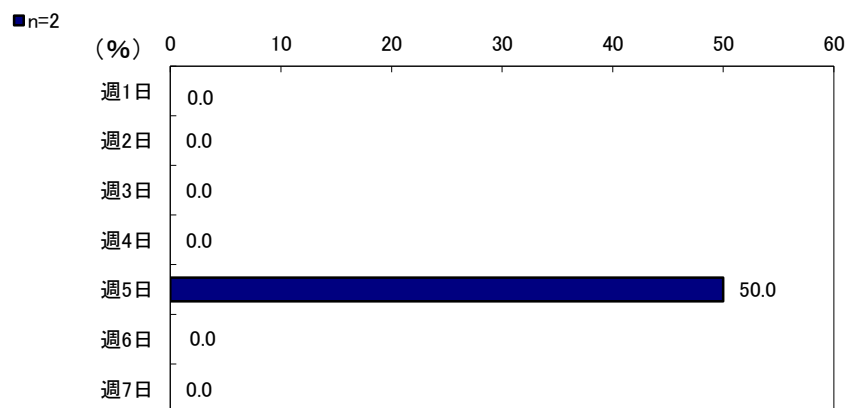
週当たり日数：放課後子ども教室



週当たり日数：放課後児童クラブ



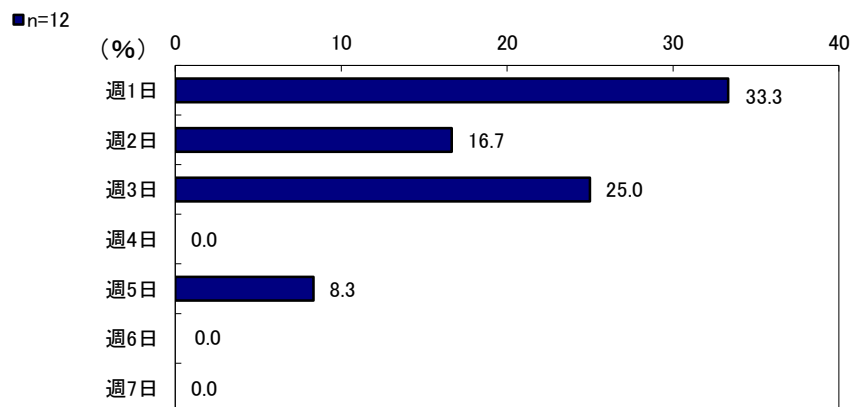
週当たり日数：放課後児童クラブ（別紙以外）



週当たり日数：ファミリー・サポート・センター



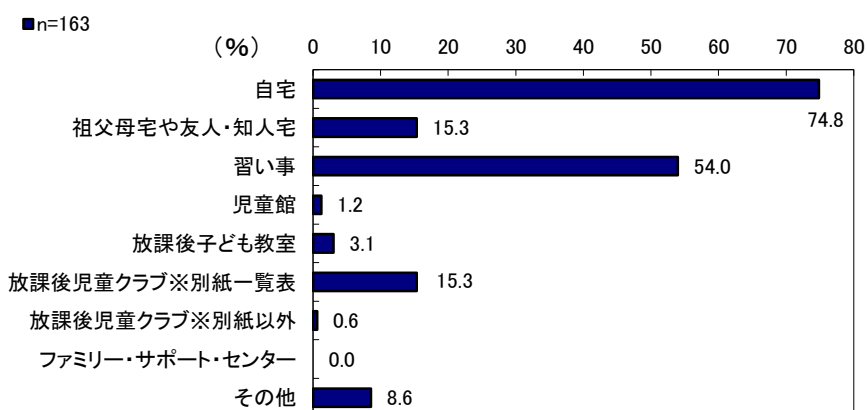
週当たり日数：その他



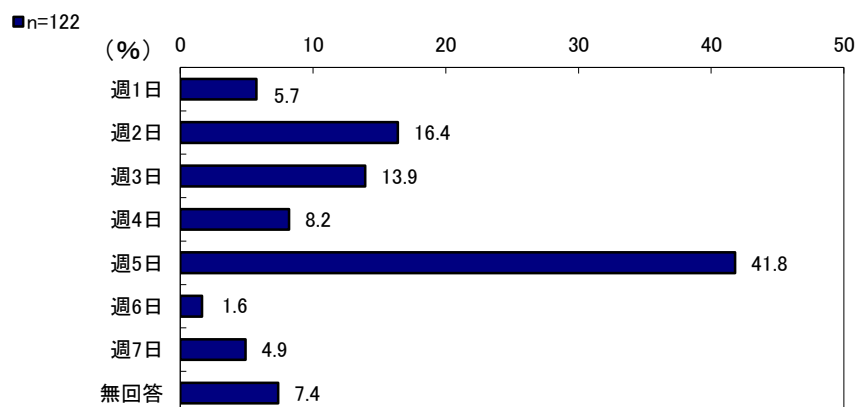
2 希望する小学校高学年の過ごさせ方

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も□内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一桁に一字）。

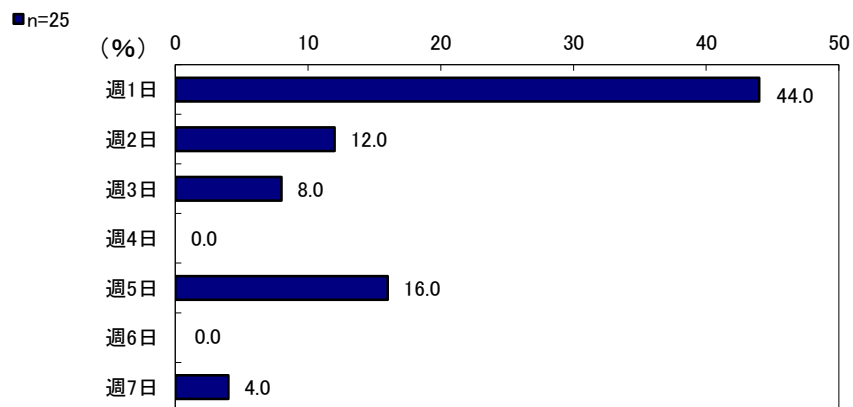
「自宅」が74.8%で最も多く、次いで「習い事」が54.0%、「祖父母宅や友人・知人宅」と「放課後児童クラブ※別紙一覧表」が15.3%で同率となっています。



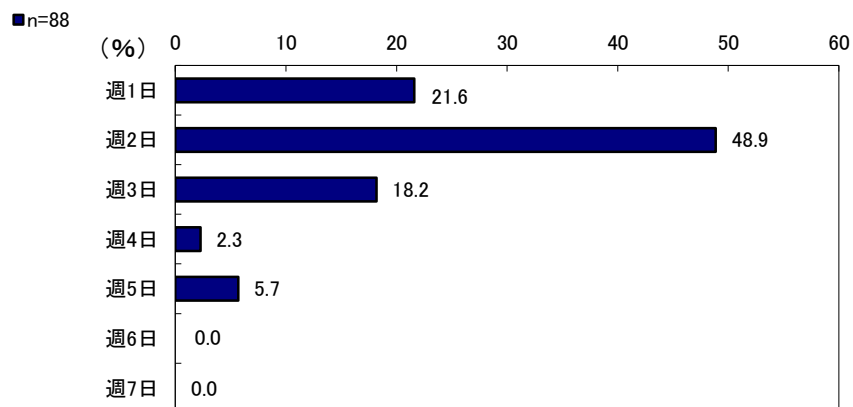
週あたり日数：自宅



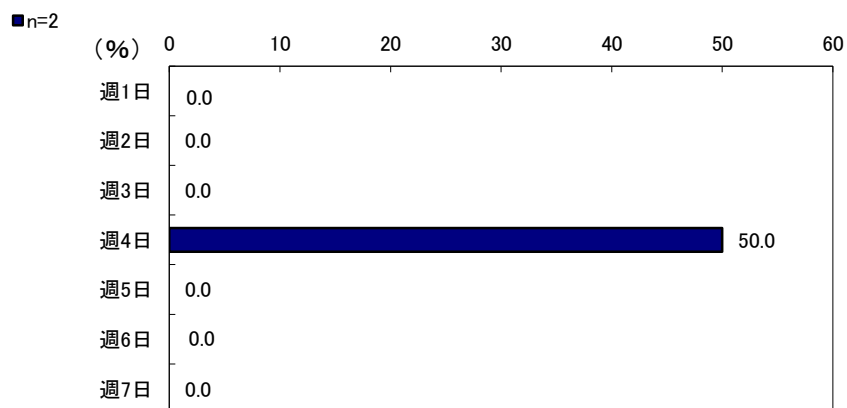
週当たり日数：祖父母宅や友人・知人宅



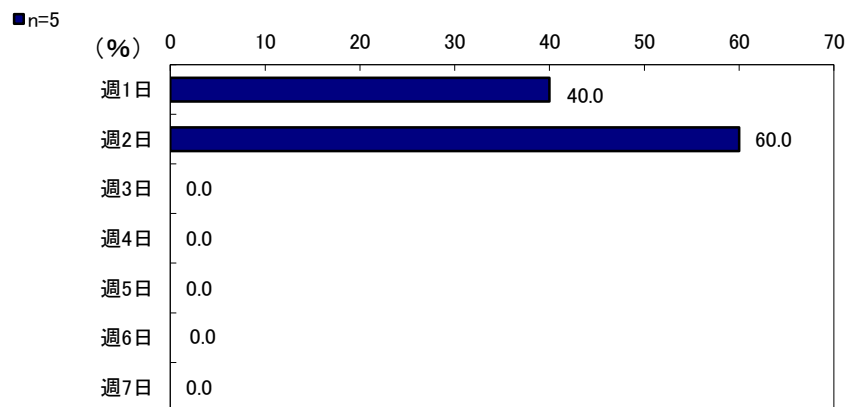
週当たり日数：習い事



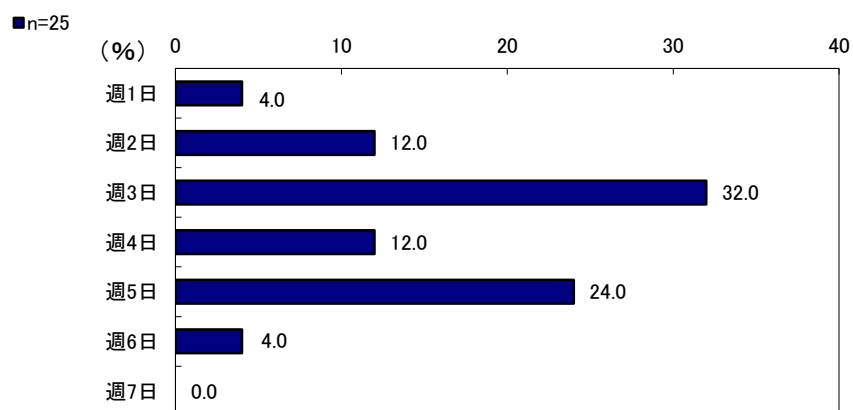
週当たり日数：児童館



週当たり日数：放課後子ども教室



週当たり日数：放課後児童クラブ



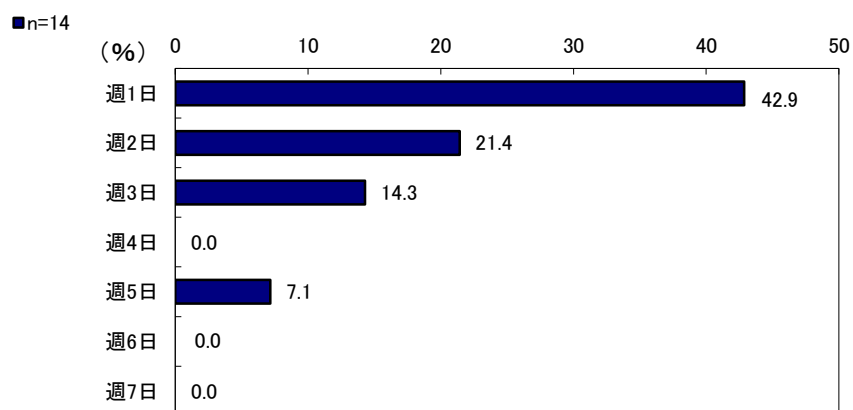
週当たり日数：放課後児童クラブ（別紙以外）



週当たり日数：ファミリー・サポート・センター



週当たり日数：その他



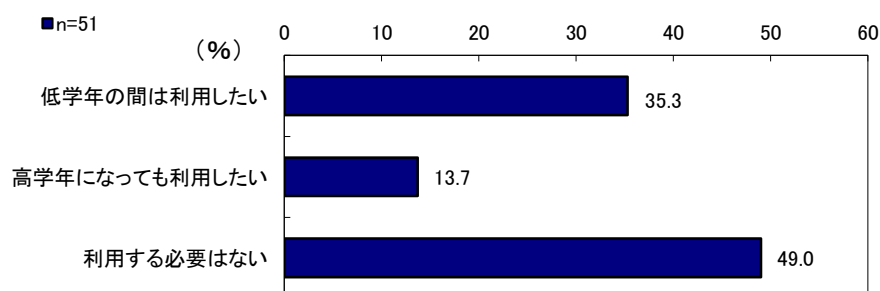
3 放課後児童クラブの利用意向

問 28 問 26 または問 27 で「6. または 7. 放課後児童クラブ (学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1) (2) それぞれについて、当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に (例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください (数字は一枠に一字)

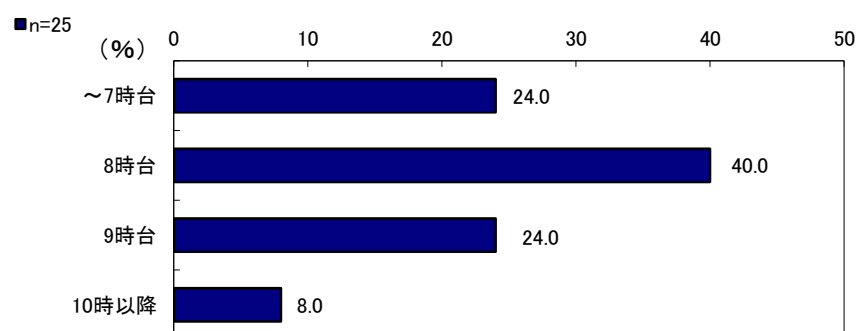
土曜日は「利用する必要はない」が 49.0%で最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が 35.3%、「高学年になっても利用したい」が 13.7%となっています。

日曜日・祝日は「利用する必要はない」が 66.7%で最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が 17.6%、「高学年になっても利用したい」が 7.8%となっています。

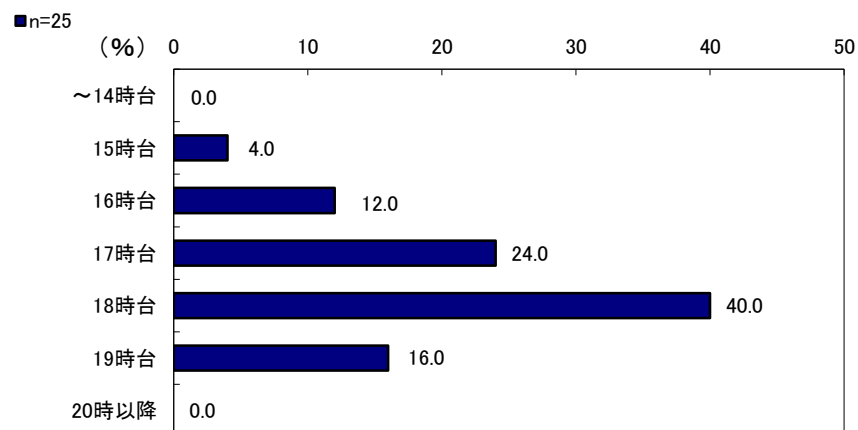
土曜日：利用希望



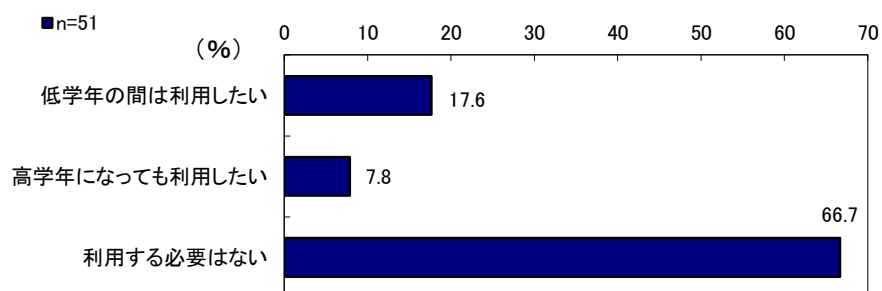
土曜日：利用したい時間帯 開始時刻



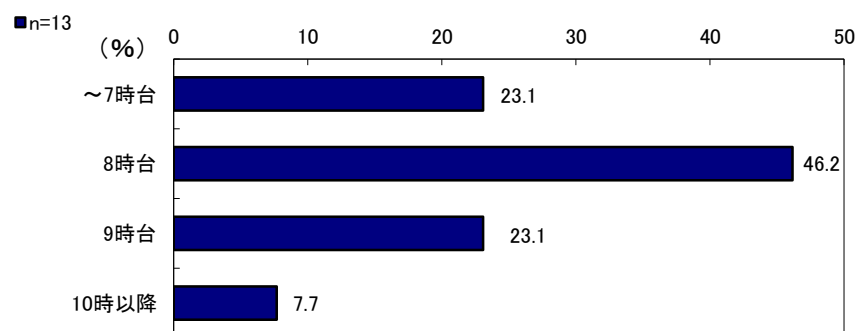
土曜日：利用したい時間帯 終了時刻



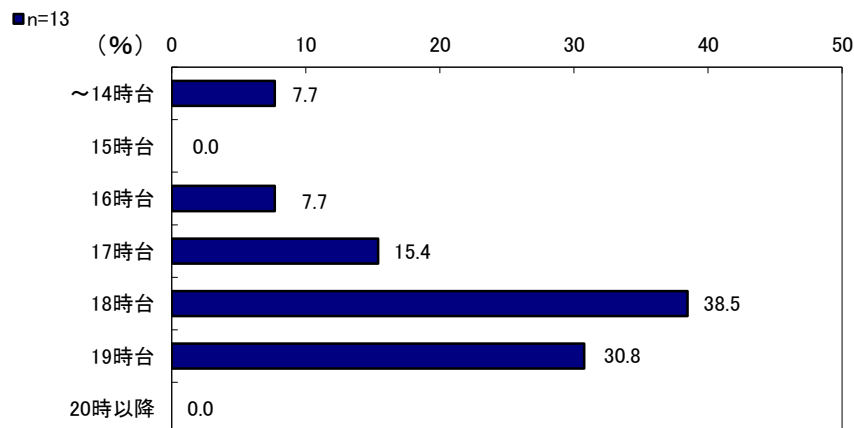
日曜・祝日：利用希望



日曜・祝日：利用したい時間帯 開始時刻



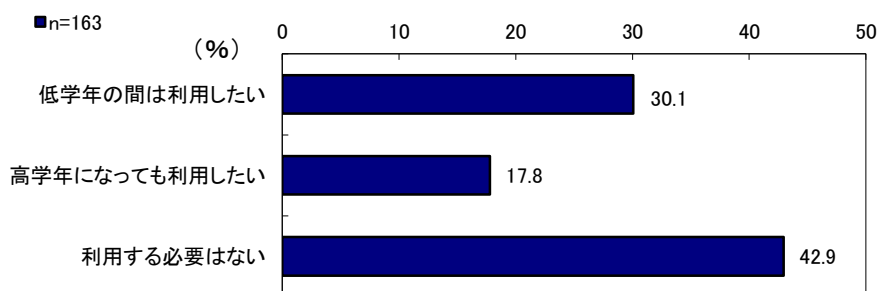
日曜・祝日：利用したい時間帯 終了時刻



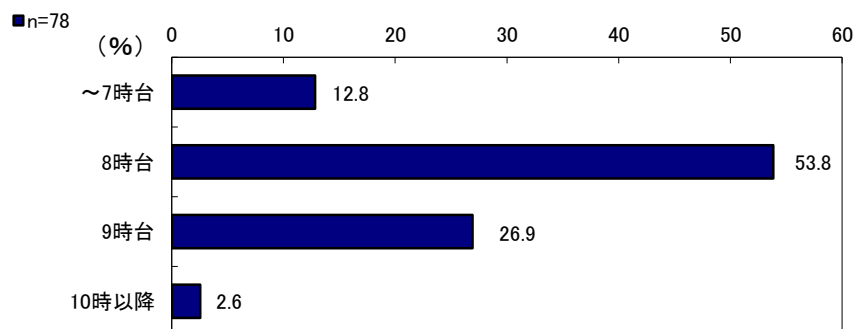
4 長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用意向

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、□内に (例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください (数字は一桁に一字)

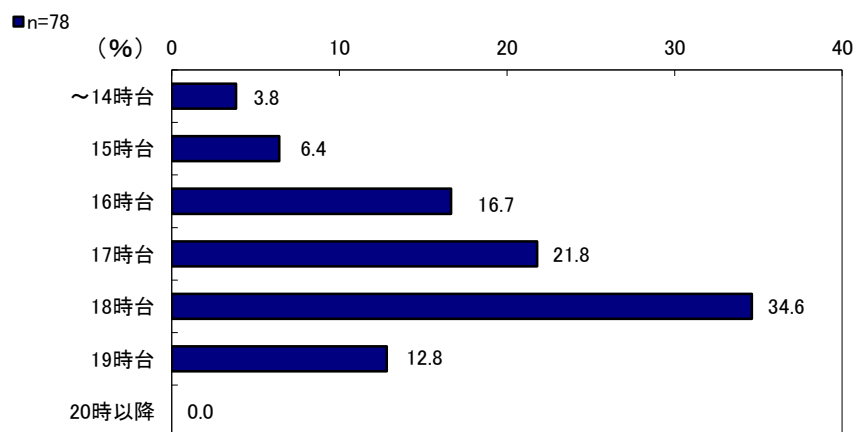
「利用する必要はない」が 42.9%で最も多く、次いで「低学年の間は利用したい」が 30.1%、「高学年になっても利用したい」が 17.8%となっています。



利用したい時間帯 開始時刻



利用したい時間帯 終了時刻



Ⅱ－10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

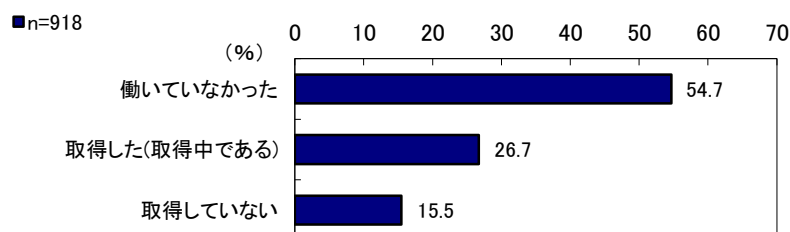
1 育児休業取得の有無

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する□内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

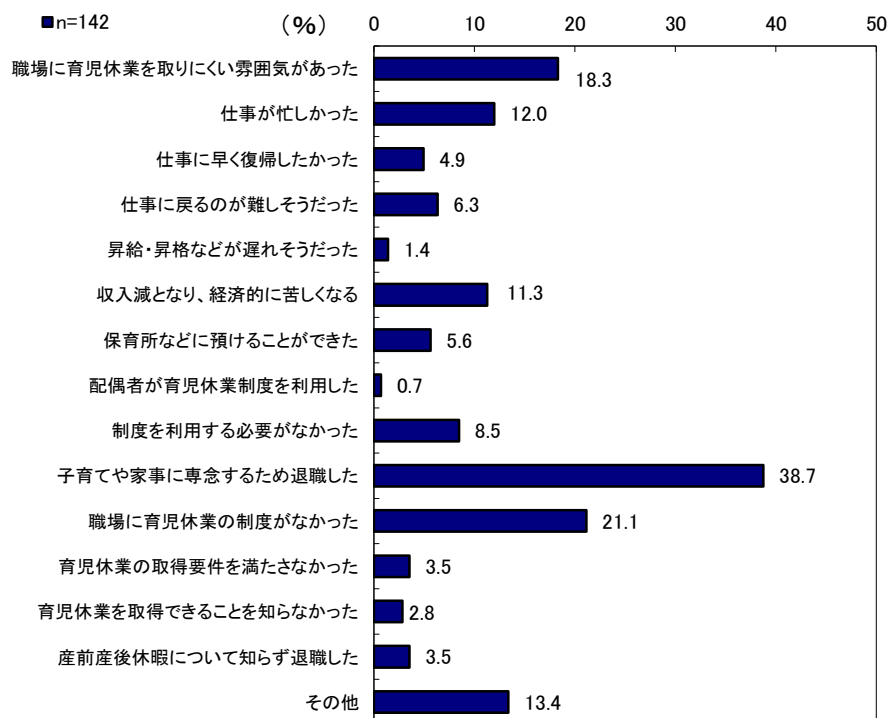
母親は「働いていなかった」が54.7%で最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が26.7%、「取得していない」が15.5%となっています。

父親は「取得していない」が77.0%と多数を占めています。

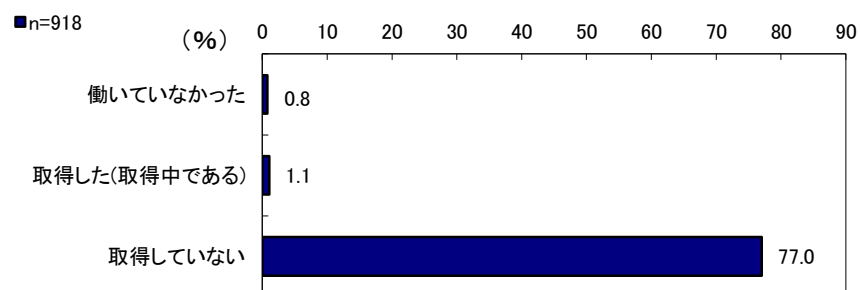
母親



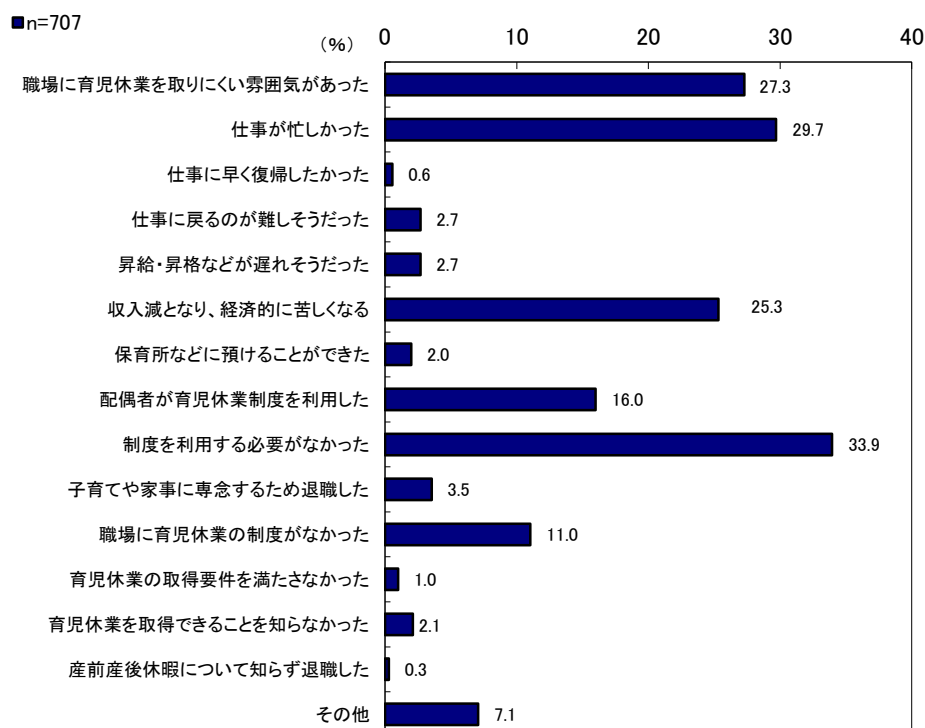
母親：取得していない理由



父親



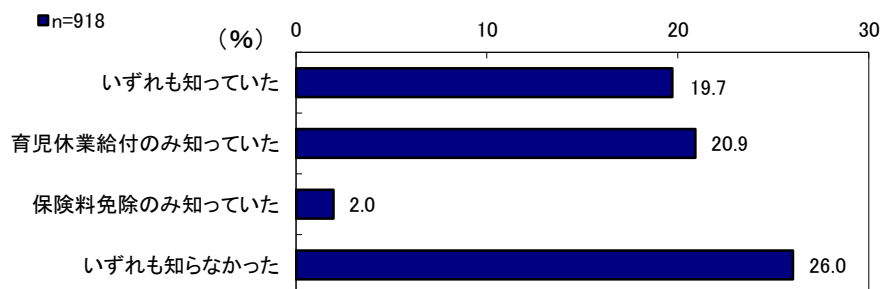
父親：取得していない理由



2 子育て支援施策の認知度

問 30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「いずれも知らなかった」が26.0%で最も多く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が20.9%、「いずれも知っていた」が19.7%となっています。



3 育児休業取得後に職場復帰をしたか

問 30 で母親が「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

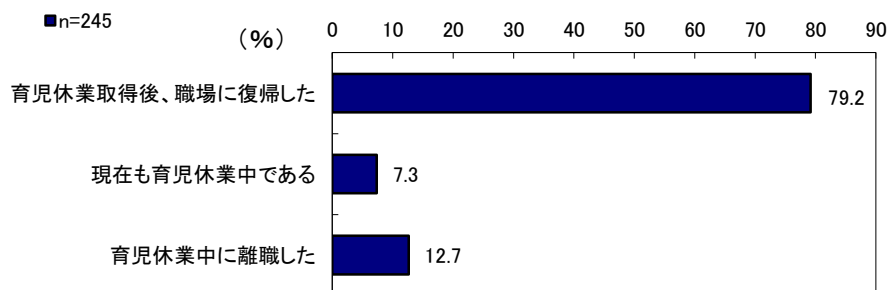
⇒該当しない方は、問 31 へ

問 30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

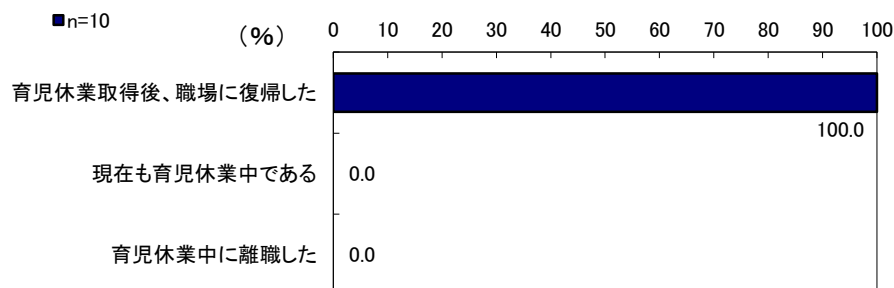
母親は「育児休業取得後、職場に復帰した」が 79.2%で最も多く、次いで「育児休業中に離職した」が 12.7%、「現在も育児休業中である」が 7.3%となっています。

父親は全員が「育児休業取得後、職場に復帰した」の回答となっています。

(1) 母親



(2) 父親



4 育児休業から職場復帰したタイミング

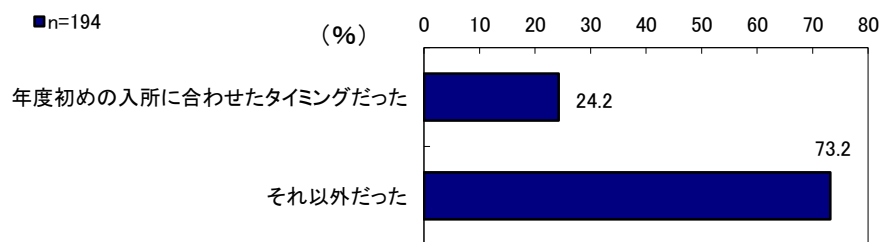
問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

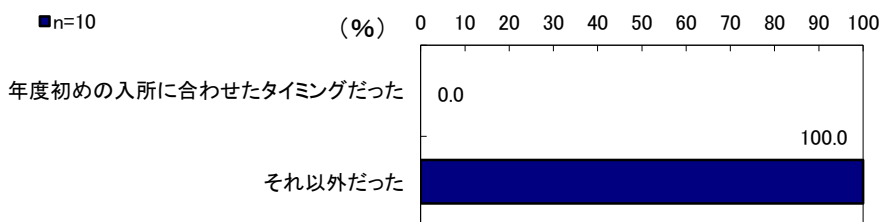
母親は「それ以外だった」が73.2%、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が24.2%となっています。

父親は全員が「それ以外だった」の回答となっています。

(1) 母親



(2) 父親



5 育児休業から職場復帰した時の子どもの年齢

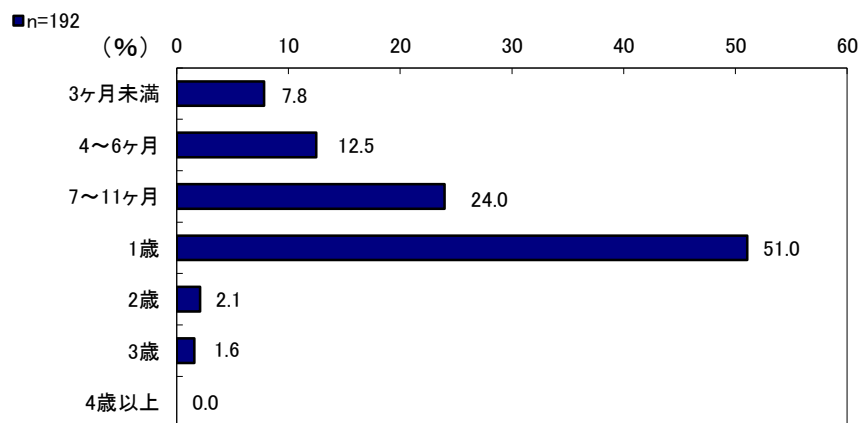
問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。
また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

母親の実際は「1歳」が51.0%で最も多く、次いで「7～11ヶ月」が24.0%、「4～6ヶ月」が12.5%となっています。希望では「1歳」が52.1%、「2歳」が14.6%、「3歳」が13.0%となっています。

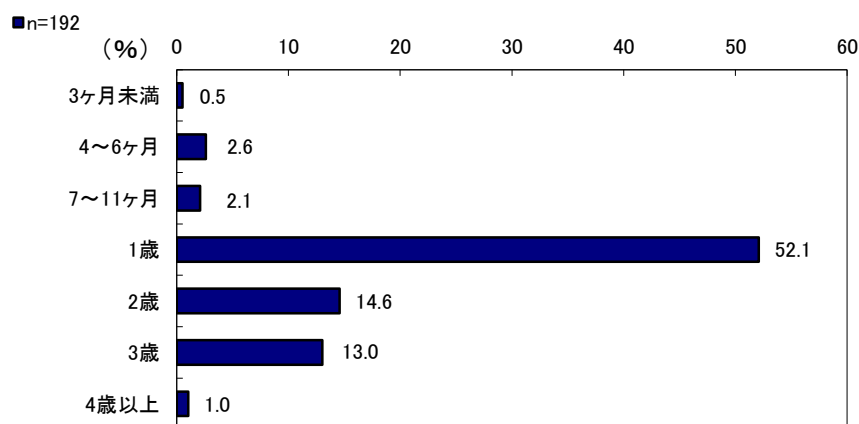
父親の実際は全員が「3ヶ月未満」の回答となっています。希望では「3ヶ月未満」が75.0%、「1歳」が25.0%となっています。

(1) 母親

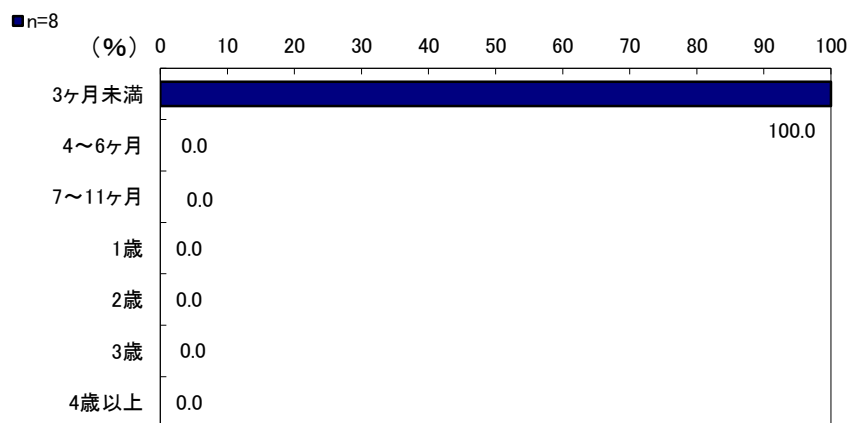
実際



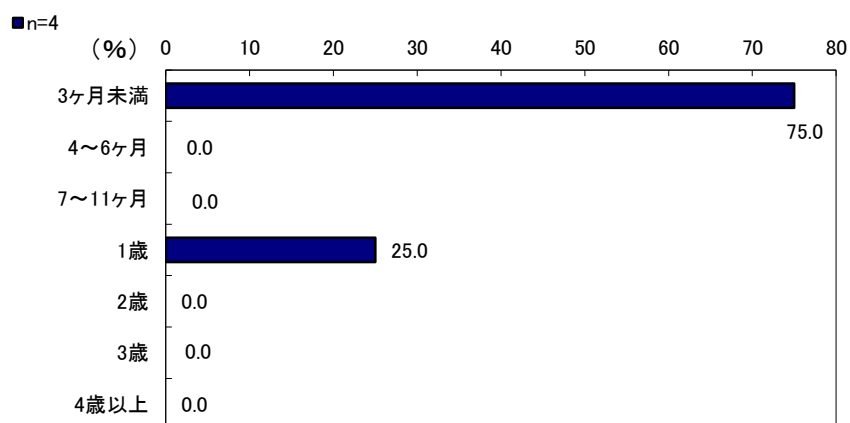
希望



(2) 父親
 実際



希望



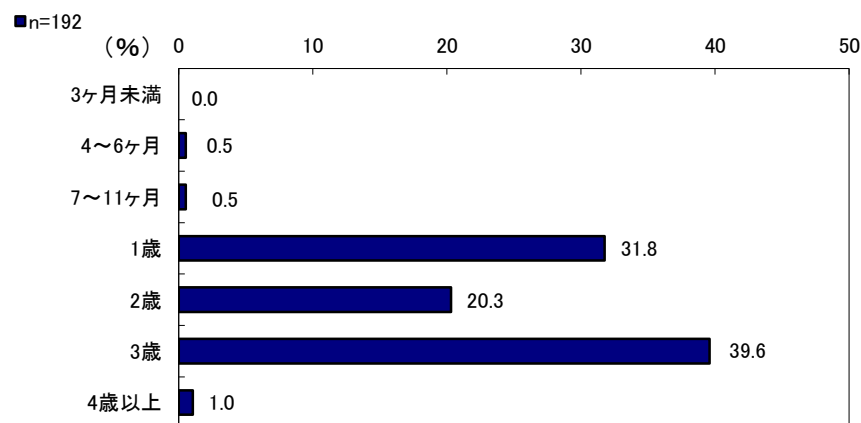
6 育児休暇の取得希望期間

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

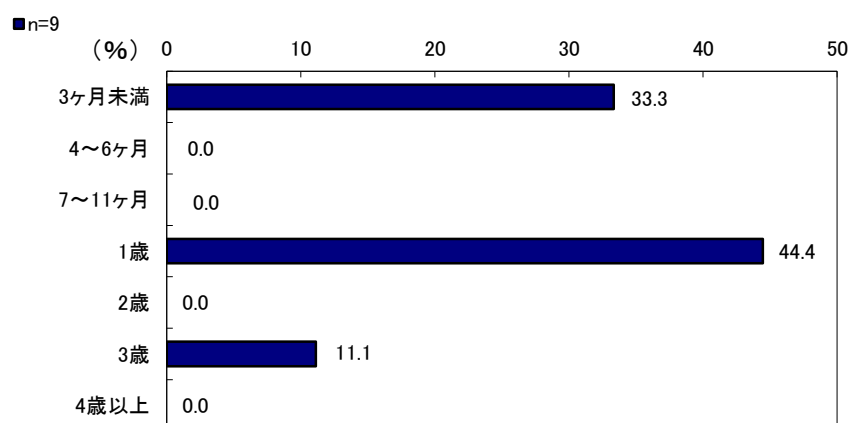
母親は「3歳」が39.6%で最も多く、次いで「1歳」が31.8%、「2歳」が20.3%となっています。

父親は「1歳」が44.4%で最も多く、次いで「3ヶ月未満」が33.3%、「3歳」が11.1%となっています。

(1) 母親



(2) 父親



7 希望の時期に職場復帰しなかった理由

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

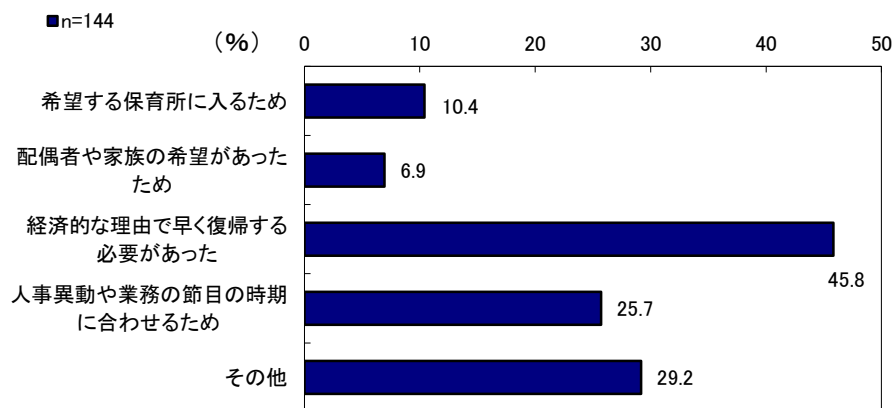
問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。
※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

希望より早く復帰した方について母親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 45.8%で最も多く、次いで「その他」が 29.2%となっています。父親は「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 61.5%で最も多く、次いで「その他」が 30.8%となっています。

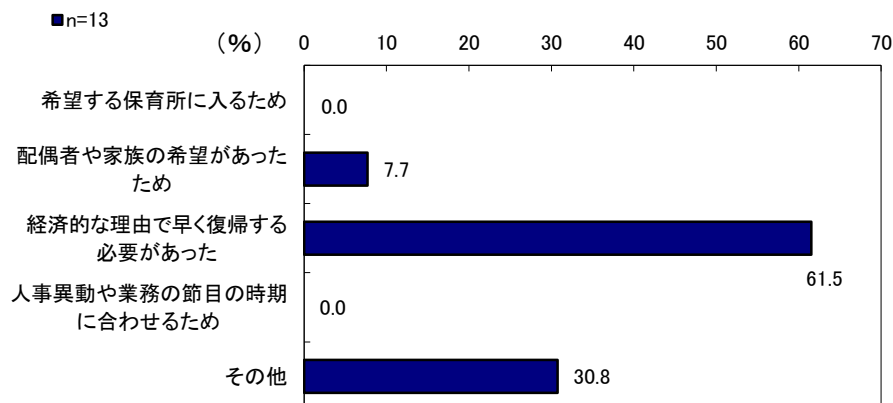
希望より遅く復帰した方について母親は「配偶者や家族の希望があった」が 57.1%で最も多く、次いで「その他」が 28.6%となっています。父親は有効回答がありませんでした。

(1) 「希望」より早く復帰した方

①母親

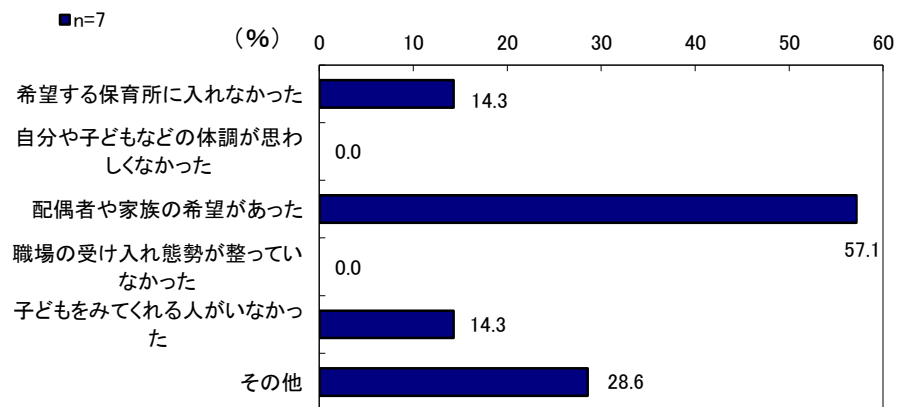


②父親

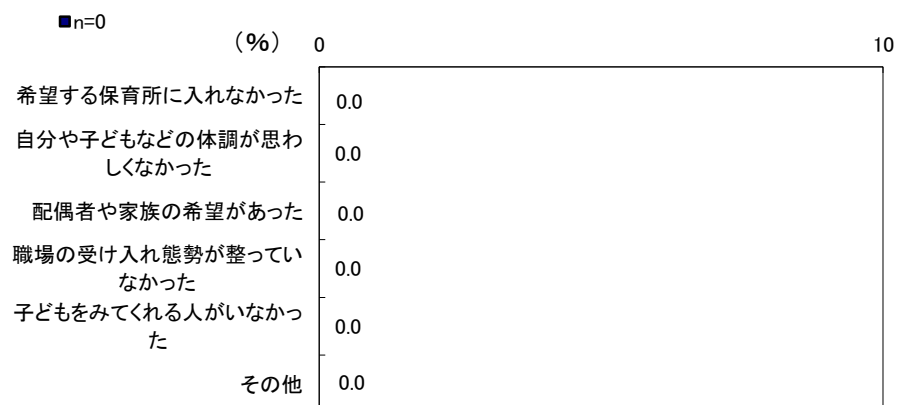


(2)「希望」より遅く復帰した方。

①母親



②父親



8 短時間勤務制度利用の有無

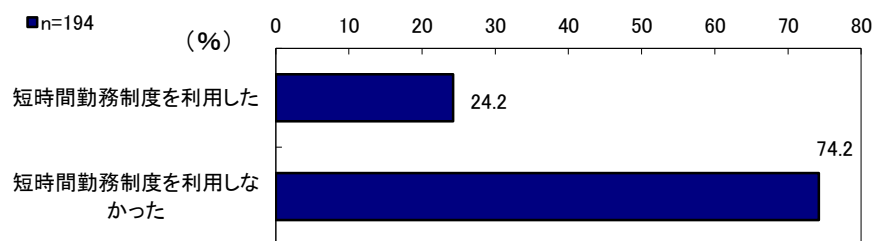
問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

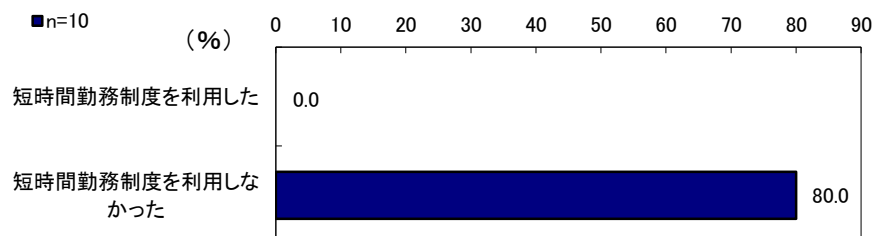
母親は「短時間勤務制度を利用しなかった」が 74.2%、「短時間勤務制度を利用した」が 24.2%となっています。

父親は「短時間勤務制度を利用しなかった」が 80.0%となっています。

(1) 母親



(2) 父親



9 短時間勤務制度を利用しなかった理由

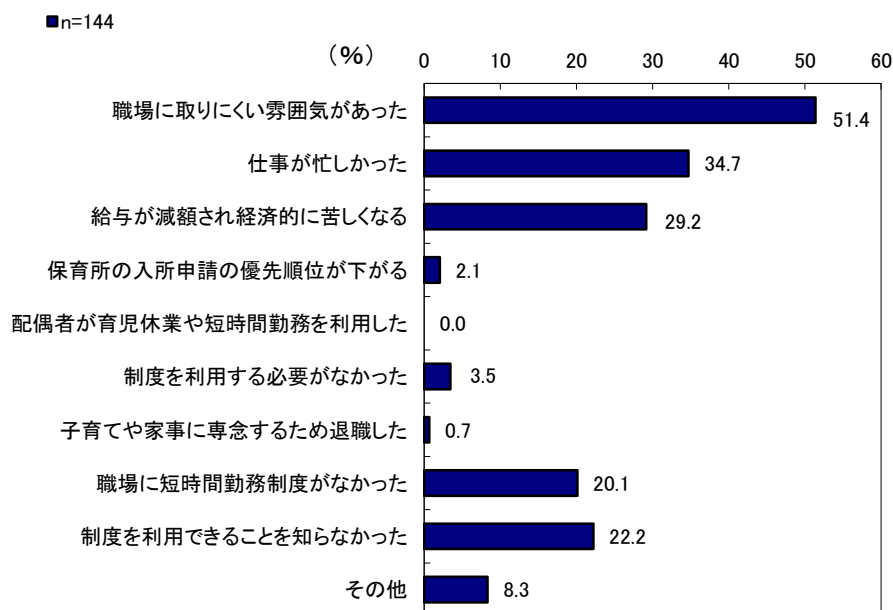
問 30-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由はなんですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

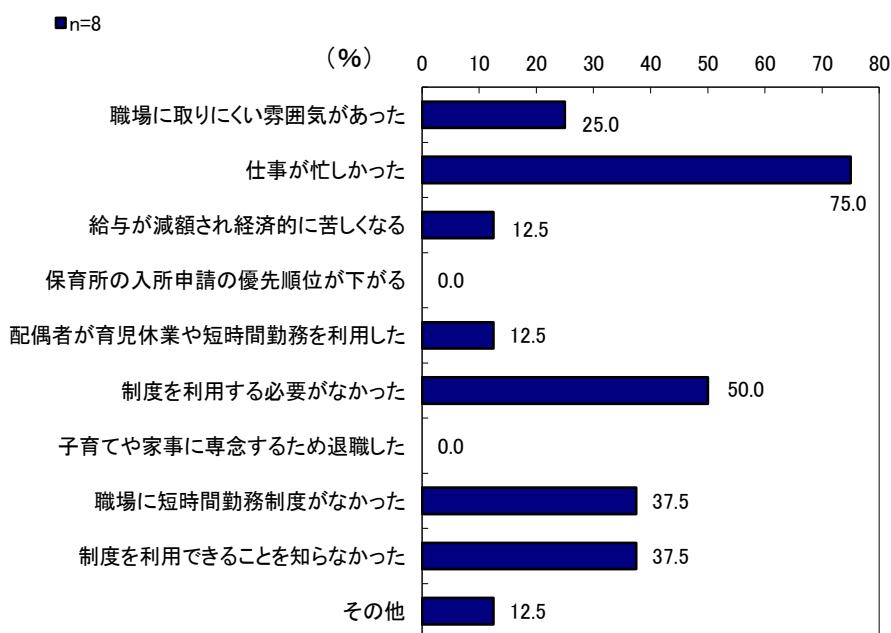
母親は「職場に取りにくい雰囲気があった」が 51.4%で最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が 34.7%、「給与が減額され経済的に苦しくなる」が 29.2%となっています。

父親は「仕事が忙しかった」が 75.0%で最も多く、次いで「制度を利用する必要がなかった」が 50.0%、「職場に短時間勤務制度がなかった」と「制度を利用できることを知らなかった」が 37.5%で同率となっています。

(1) 母親



(2) 父親



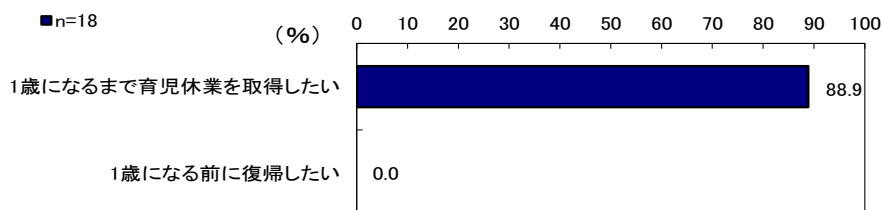
10 利用できる事業があれば育児休業を取得するか

問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

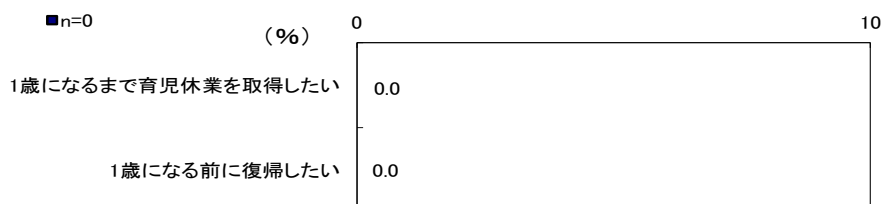
問 30-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が88.9%となっています。
父親は有効回答がありませんでした。

(1) 母親



(2) 父親

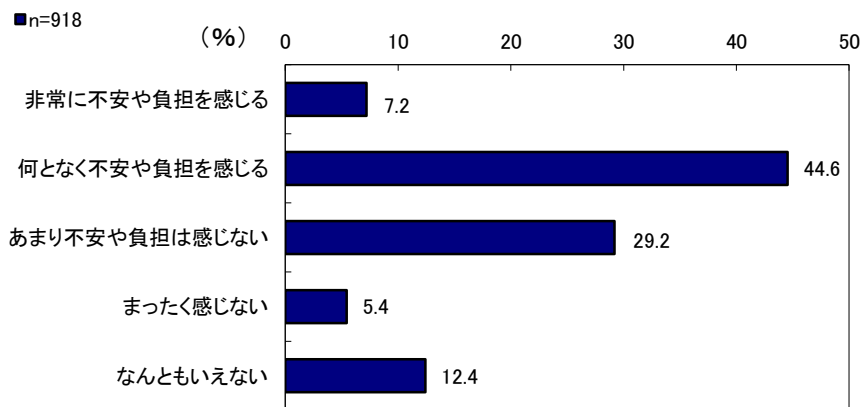


Ⅱ-11 子育てに関する悩みや不安感などについて

1 子育てに関して不安感や負担感を感じる事

問 31 子育てに関して不安感や負担感を感じることがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

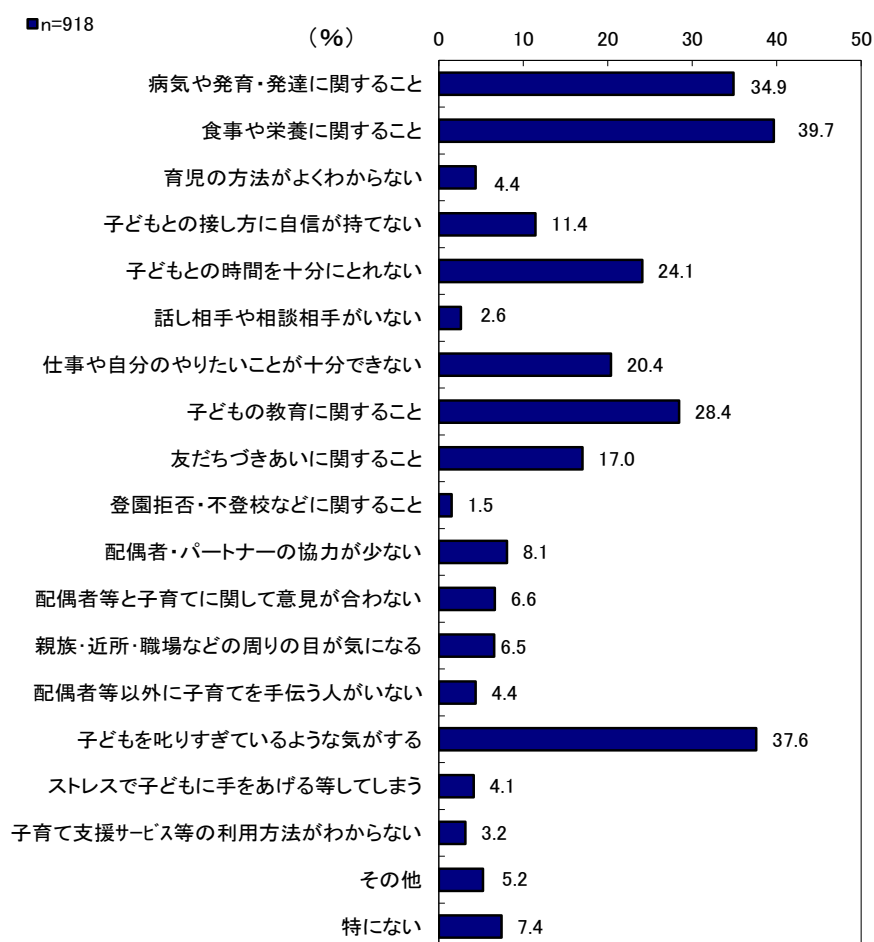
「何となく不安や負担を感じる」が44.6%で最も多く、次いで「あまり不安や負担は感じない」が29.2%、「なんともいえない」が12.4%となっています。



2 子育てに関する日頃の悩み、気になること

問 32 宛名のお子さんについての子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまるもの5つまでに○をつけてください。

「食事や栄養に関すること」が39.7%で最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」が37.6%、「病気や発育・発達に関すること」が34.9%となっています。

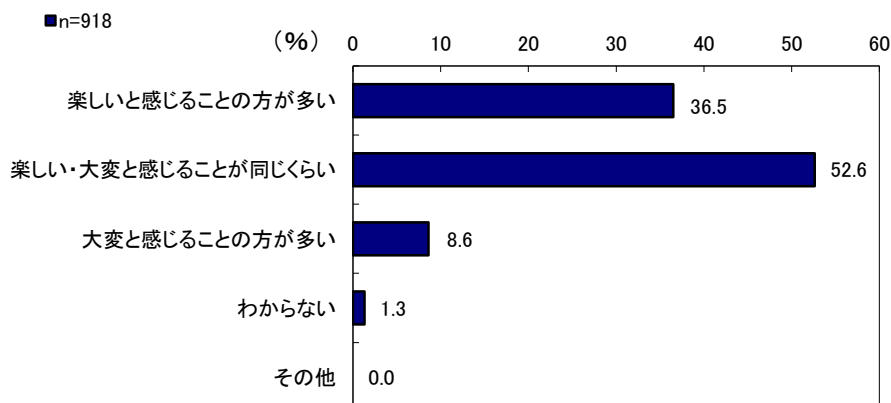


Ⅱ-12 子育ての楽しさなどについて

1 子育てについて感じること

問 33 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じることが多いと思いますか。それとも大変と感じることが多いと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

「楽しい・大変と感じることが同じくらい」が52.6%で最も多く、次いで「楽しいと感じることが多い」が36.5%、「大変と感じることが多い」が8.6%となっています。



Ⅱ-13 あなたの時間の優先度

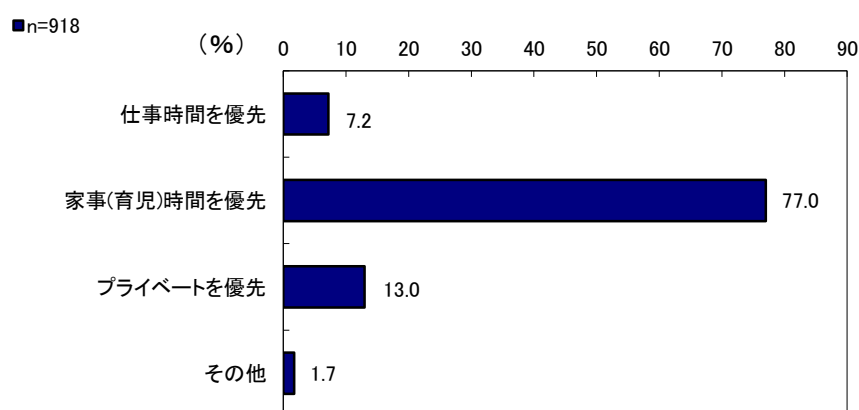
1 仕事時間とプライベートの優先度

問 34 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（宛名のお子さんの育児）・プライベートの生活時間」の優先度についておうかがいします。当てはまるものそれぞれ1つに○をつけてください。
「希望」と「現実」それぞれについて回答してください。

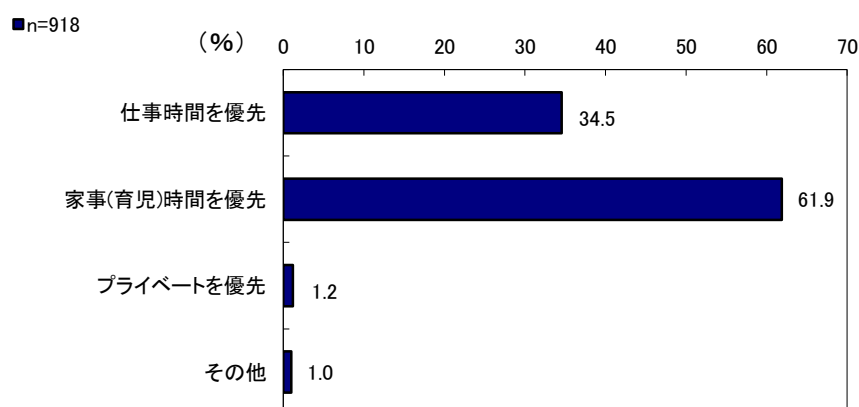
希望では「家事（育児）時間を優先」が77.0%で最も多く、次いで「プライベートを優先」が13.0%、「仕事時間を優先」が7.2%となっています。

現実では「家事（育児）時間を優先」が61.9%で最も多く、次いで「仕事時間を優先」が34.5%、「プライベートを優先」が1.2%となっています。

希望



現実

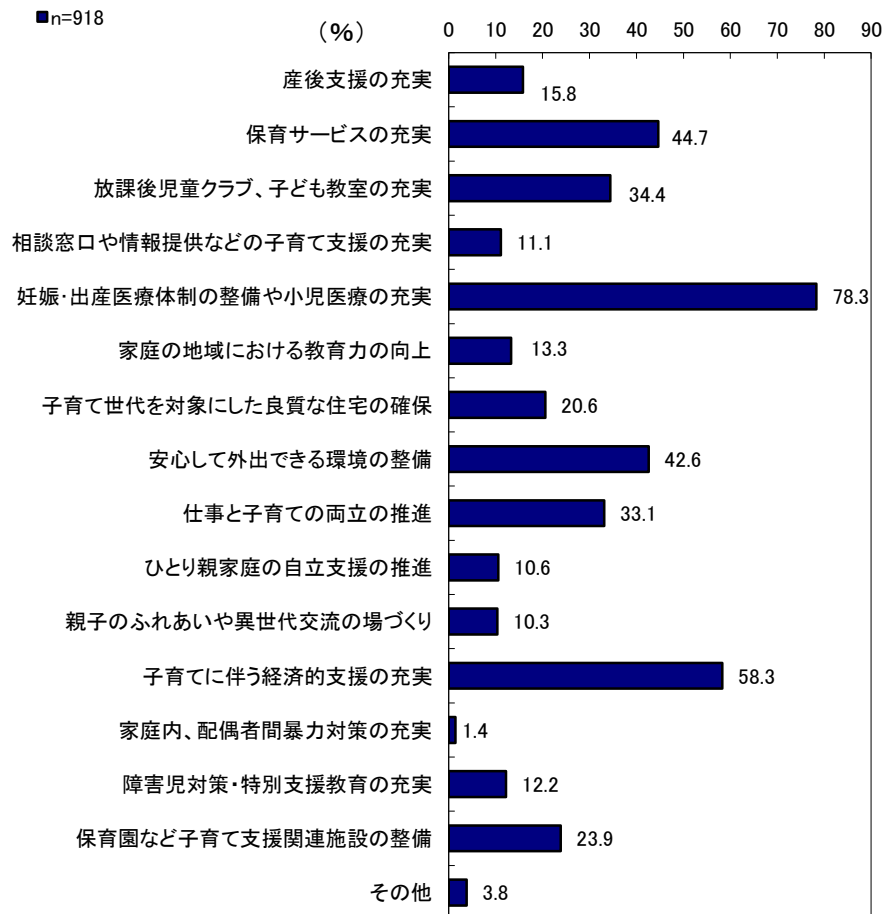


Ⅱ-14 子どもに関する施策について

1 市が重点的に取り組む必要性が高い施策

問 35 子育て支援の環境づくりに対する施策について、市が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何だと思えますか。当てはまるもの5つまでに○をつけてください。

「妊娠・出産医療体制の整備や小児医療の充実」が78.3%で最も多く、次いで「子育てに伴う経済的支援の充実」が58.3%、「保育サービスの充実」が44.7%となっています。



2 自由意見

問 36 最後に、北茨城市では子育て支援を保護者の方々・市民の皆様方と一緒に子育て環境について考えていきたいと思います。
つきましては、教育・保育環境の充実など、市民が参加できる内容も含め、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

省略

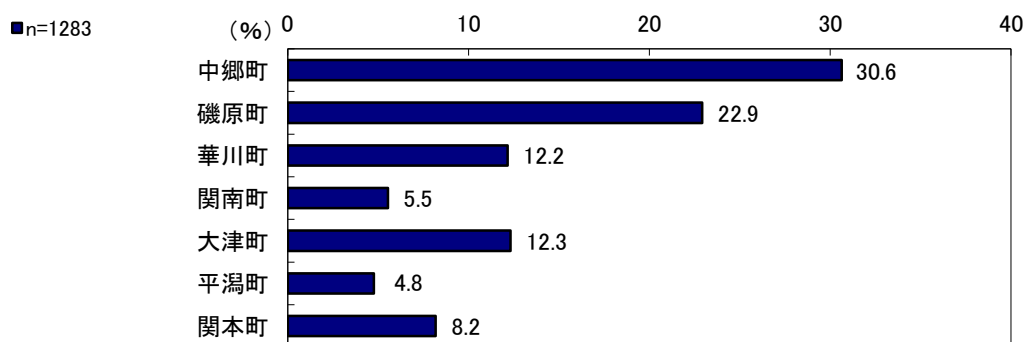
Ⅲ 「小学生の保護者」調査結果

Ⅲ－１ お子さんご家族の状況について

1 居住地区

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの()内地区1つに○をつけてください。

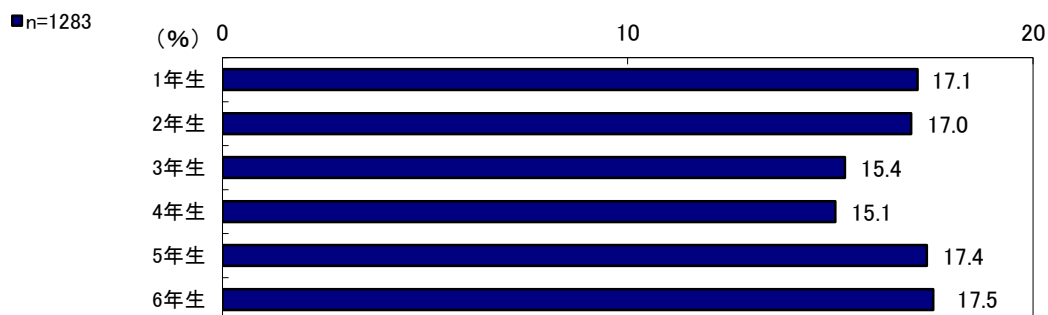
「中郷町」が30.6%、「磯原町」が22.9%、「大津町」が12.3%、「華川町」が12.2%、「関本町」が8.2%、「関南町」が5.5%、「平潟町」が4.8%となっています。



2 子どもの年齢

問2 封筒のあて名のお子さんの生年月を記入してください。

「1年生」が17.1%、「2年生」が17.0%、「3年生」が15.4%、「4年生」が15.1%、「5年生」が17.4%、「6年生」が17.5%となっています。

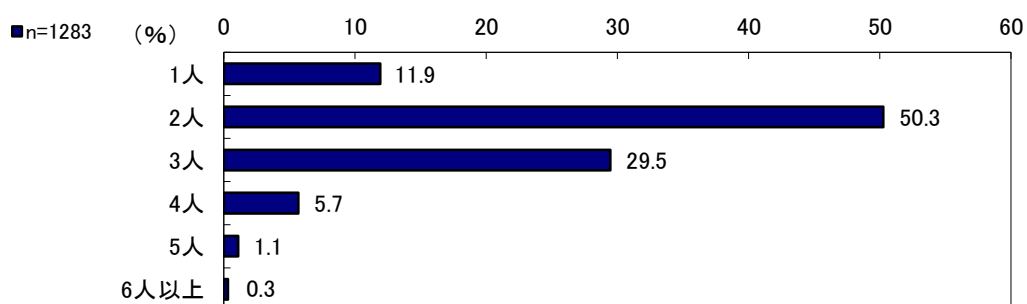


3 お子さんの数と末子の年齢

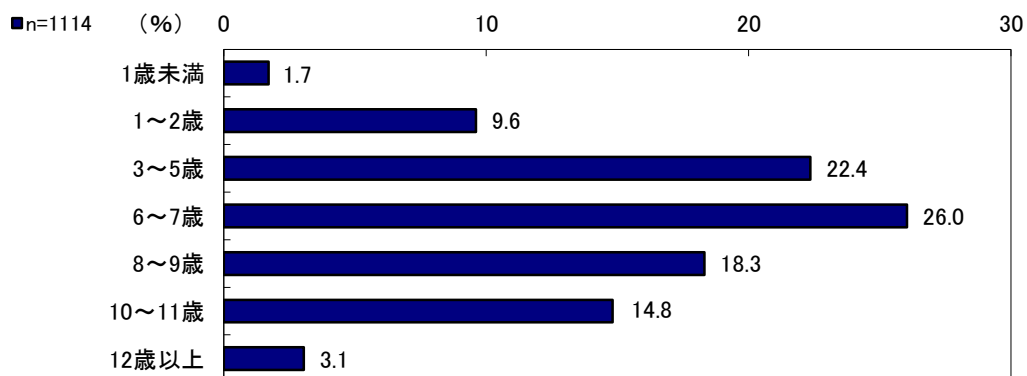
問3 封筒のあて名のお子さんを含め、お子さんは何人いますか。また、2人以上いる場合、末子の年齢（平成25年4月1日現在の年齢）をご記入ください。

「2人」が50.3%で最も多く、次いで「3人」が29.5%、「1人」が11.9%となっています。

末子の年齢では「6～7歳」が26.0%で最も多く、次いで「3～5歳」が22.4%、「8～9歳」が18.3%となっています。



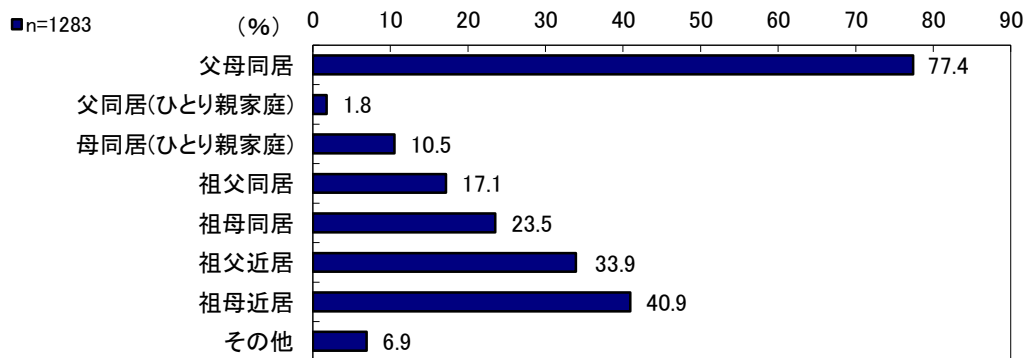
末子の年齢



4 同居・近居の状況

問4 あて名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度に行き来できる範囲）の状況についておうかがいします。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまるものすべてに○をつけてください。

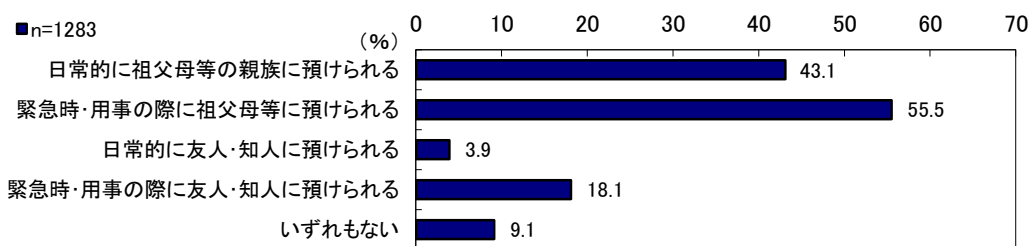
「父母同居」が77.4%、「母同居（ひとり親家庭）」が10.5%、「父同居（ひとり親家庭）」が1.8%となっています。



5 お子さんを預かってもらえる状況

問5 日頃、お子さんを預かってもらえる状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「緊急時・用事の際に祖父母等に預けられる」が55.5%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預けられる」が43.1%、「緊急時・用事の際に友人・知人に預けられる」が18.1%となっています。

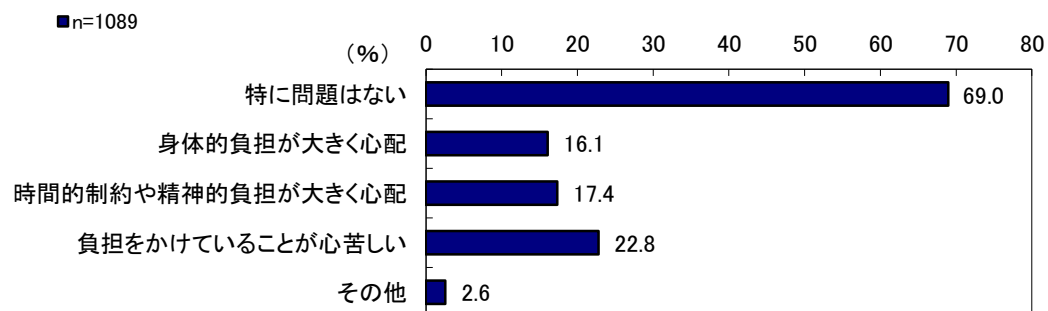


6 祖父母に預かってもらっている状況

問5-1は、問5で「1」または「2」を選ばれた方におうかがいします。

問5-1 祖父母に預かってもらっている状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

「特に問題はない」が69.0%で最も多く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が22.8%、「時間的制約や精神的負担が大きく心配」が17.4%となっています。

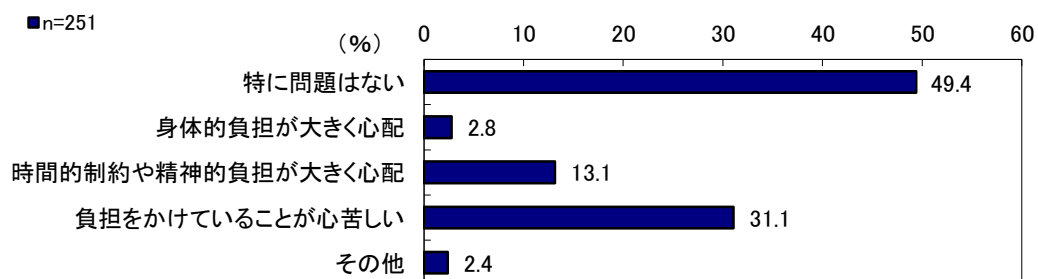


7 友人や知人に預かってもらっている状況

問5-2は、問5で「3」または「4」を選ばれた方におうかがいします。

問5-2 友人や知人に預かってもらっている状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

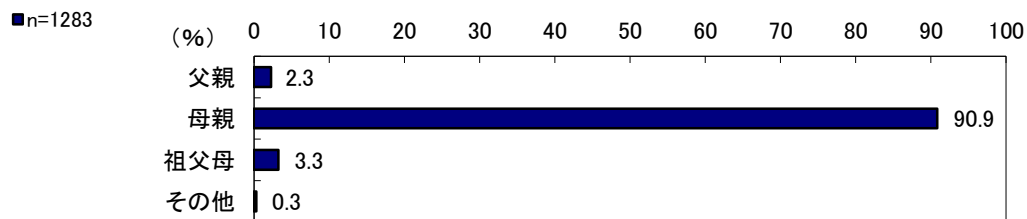
「特に問題はない」が49.4%で最も多く、次いで「負担をかけていることが心苦しい」が31.1%、「時間的制約や精神的負担が大きく心配」が13.1%となっています。



8 身の回りの世話をしている方

問6 あて名のお子さんの身の回りの世話などを主にしている方として、あてはまるもの1つに○をつけてください。続柄はあて名のお子さんから見た関係です。

「母親」が90.9%で多数を占めています。



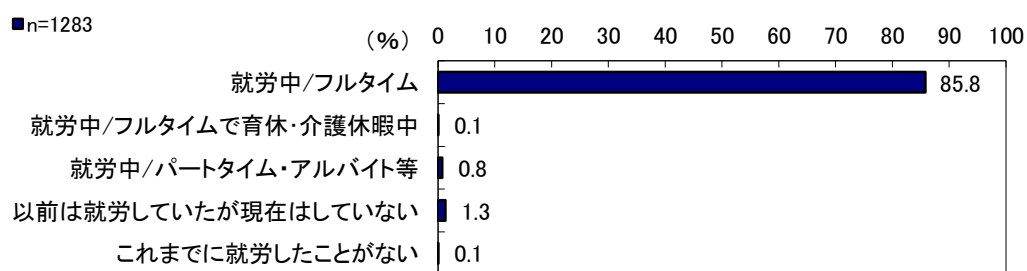
Ⅲ-2 保護者の就労状況について

1 父親の就労状況

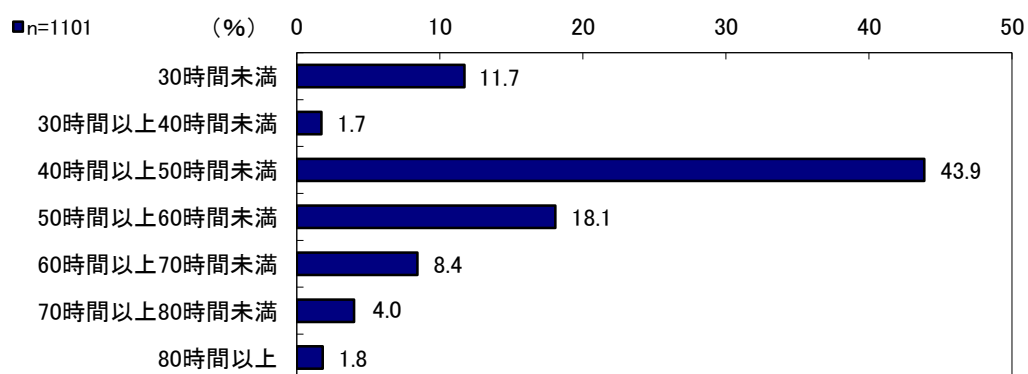
問7 現在の就労状況を（自営業、家族従事者含む）おうかがいします。あてはまるもの1つに○をつけてください。また、[] に数字を記入してください。

（1）父親【母子家庭の場合は記入不要】

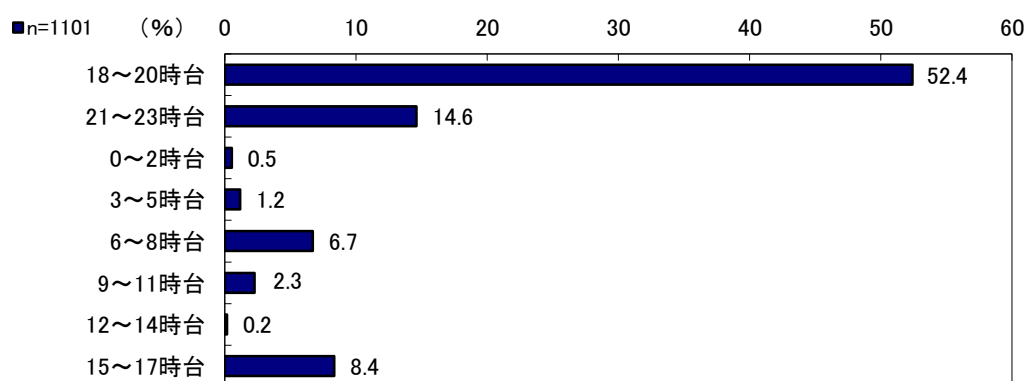
「就労中／フルタイム」が85.8%で最も多く、次いで「以前は就労していたが現在はしていない」が1.3%、「就労中／パートタイム・アルバイト等」が0.8%となっています。



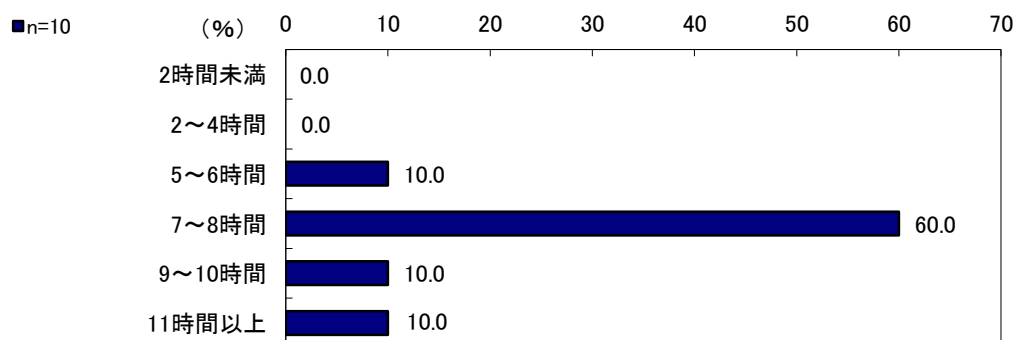
週当たり就労時間：フルタイム



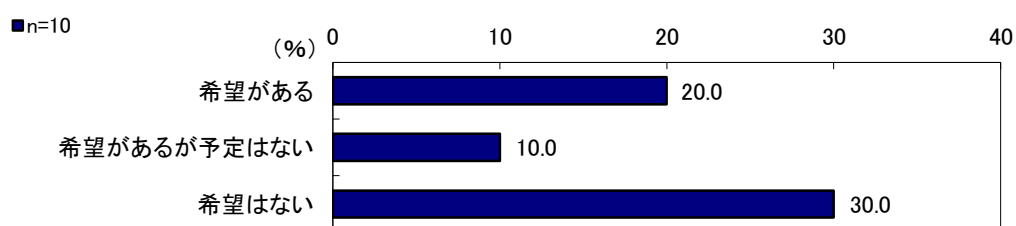
帰宅時間：フルタイム



1日当たり就労時間：パート・アルバイト



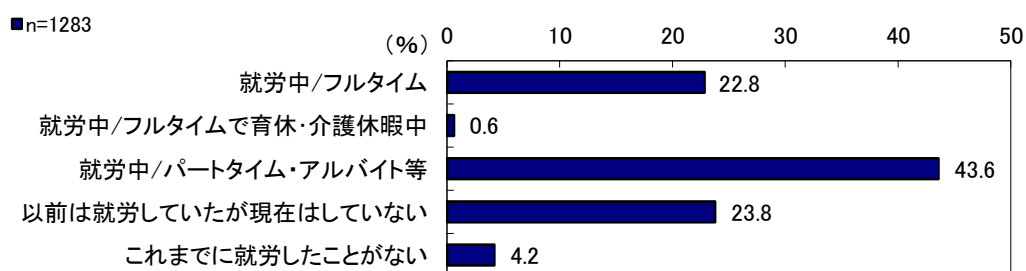
転換希望：パート・アルバイト



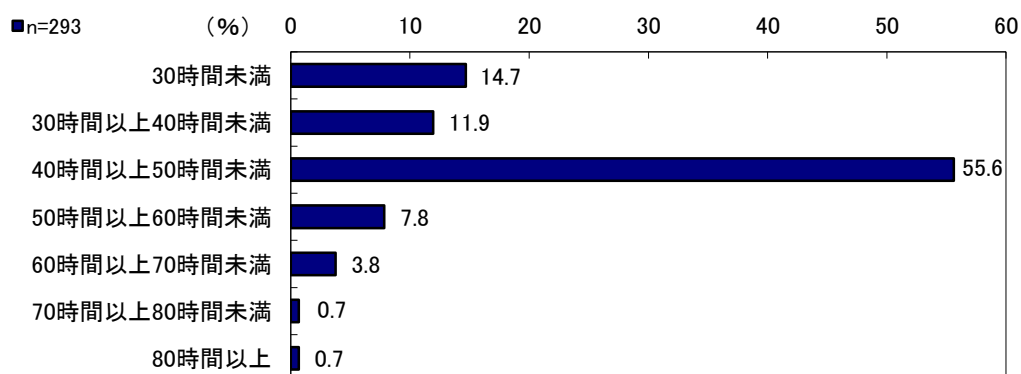
2 母親の就労状況

(2) 母親【父子家庭の場合は記入不要】

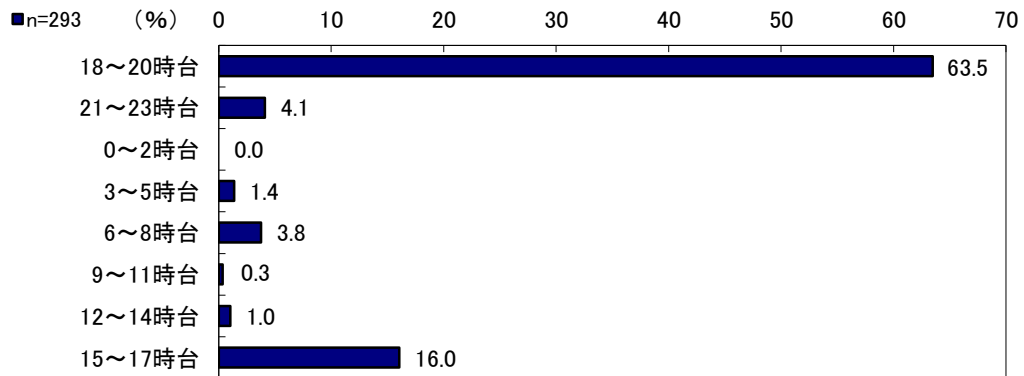
「就労中／パートタイム・アルバイト等」が43.6%で最も多く、次いで「以前は就労していたが現在はしていない」が23.8%、「就労中／フルタイム」が22.8%となっています。



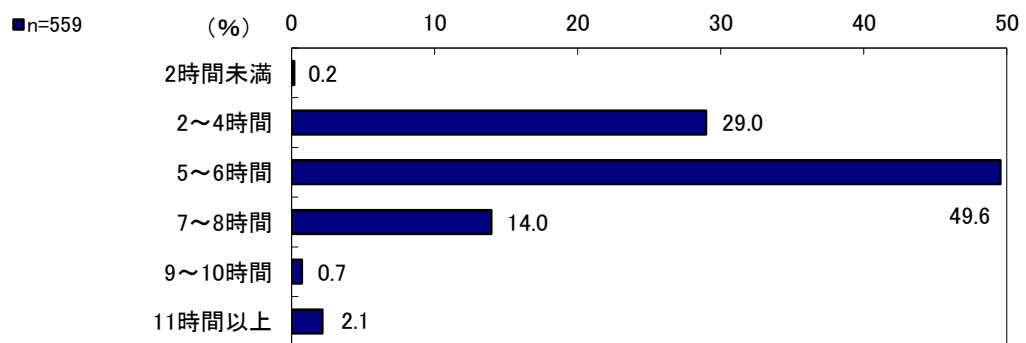
週当たり就労時間：フルタイム



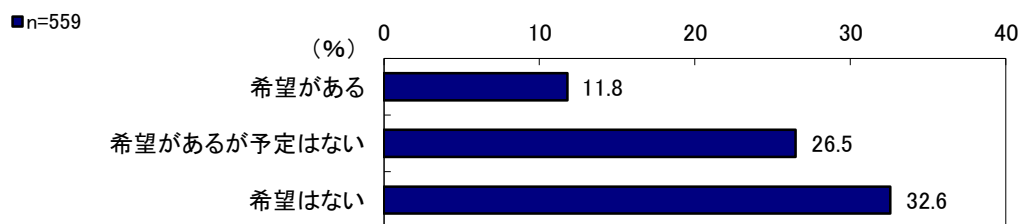
帰宅時間：フルタイム



1日当たり就労時間：パート・アルバイト



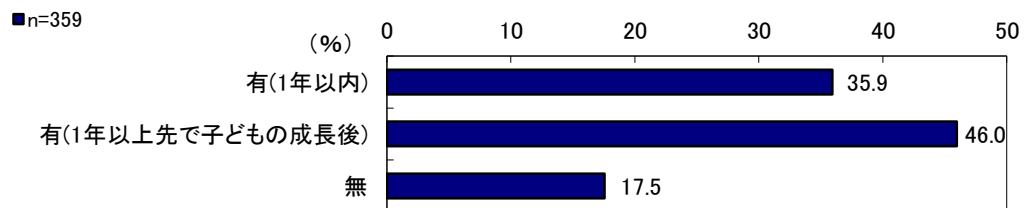
転換希望：パート・アルバイト



3 母親の就労希望

問 8. 母親の就労希望はありますか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

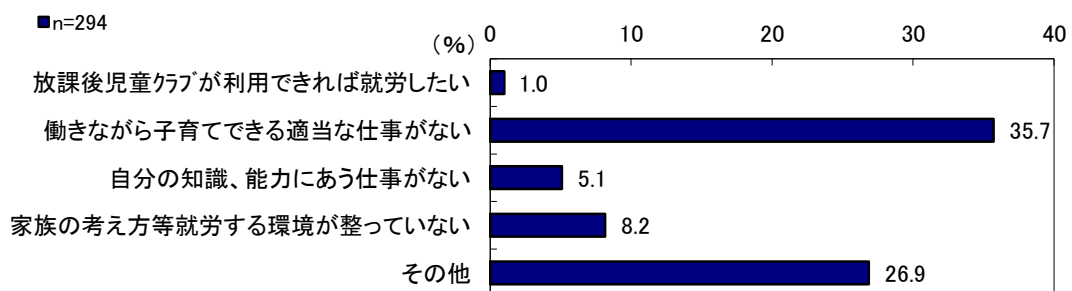
「有（1年以上先で子どもの成長後）」が 46.0%で最も多く、次いで「有（1年以内）」が 35.9%、「無」が 17.5%となっています。



問 8-1 及び問 8-2 は、問 8 で「1. 有（1年以内に就労したい）」、「2. 有（1年以上先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方におうかがいします。

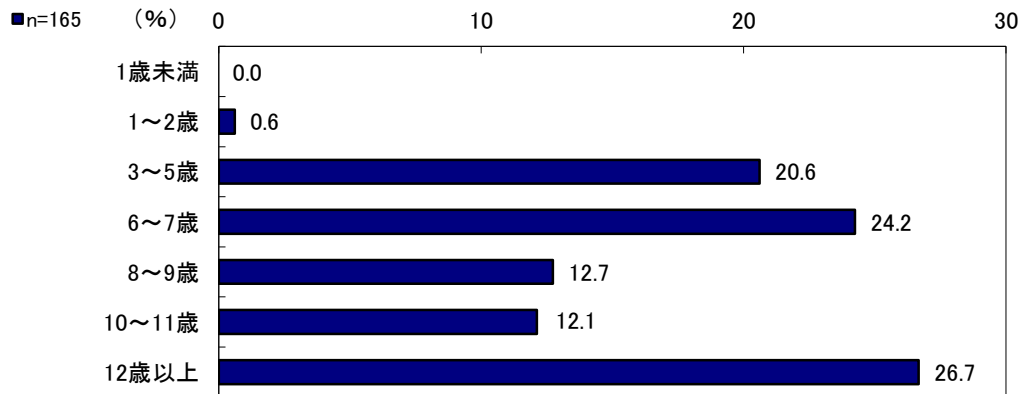
問 8-1 希望する就労の形態はどのようなものですか。あてはまるもの 1 つに○をつけてください。（パートタイム、アルバイト等を希望の方は 1 週当たり日数及び 1 日当たり時間も記入してください。）

「働きながら子育てできる適当な仕事がない」が 35.7%で最も多く、次いで「その他」が 26.9%、「家族の考え方等就労する環境が整っていない」が 8.2%となっています。



問 8-2 就労希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。もっとも近いもの 1 つに○をつけてください。

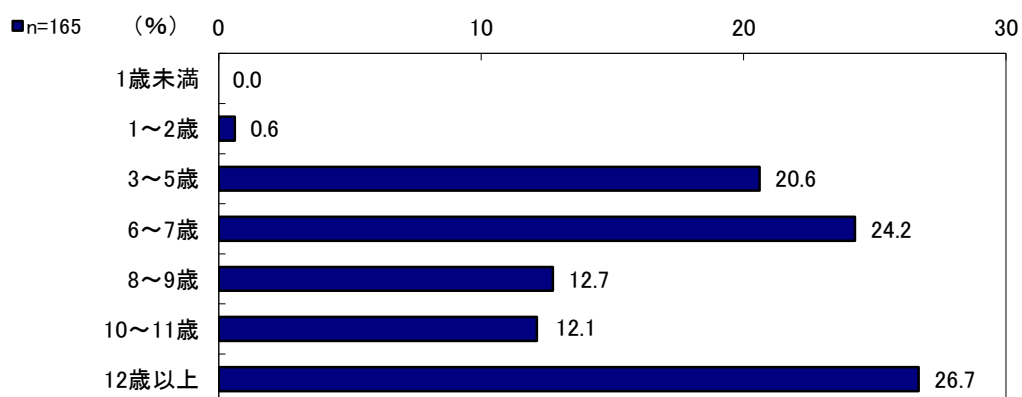
「12 歳以上」が 26.7%で最も多く、次いで「6～7 歳」が 24.2%、「3～5 歳」が 20.6%となっています。



問 8-3 は、問 8 で「2. 有（1 年以上先で、子どもがある程度大きくなったら就労したい）」を選ばれた方におうかがいします。

問 8-3 あて名のお子さんも含めて一番小さい子が何歳になったときに就労を希望されますか。

「12 歳以上」が 26.7%で最も多く、次いで「6～7 歳」が 24.2%、「3～5 歳」が 20.6%となっています。

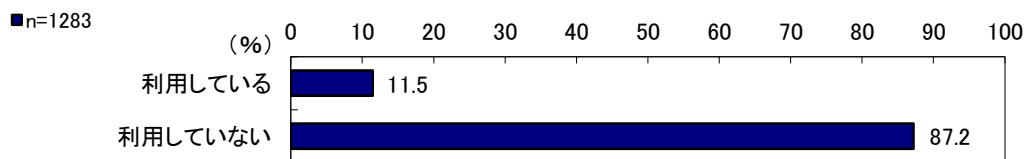


Ⅲ－３ 放課後児童クラブの利用について

１ 放課後児童クラブの利用状況

問 9 あて名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブを利用していますか。

「利用していない」が 87.2%、「利用している」が 11.5%となっています。

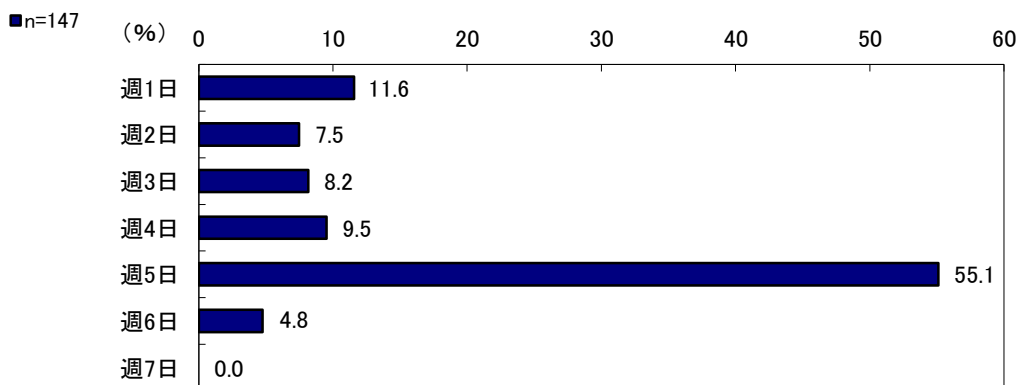


２ 放課後児童クラブの利用日数

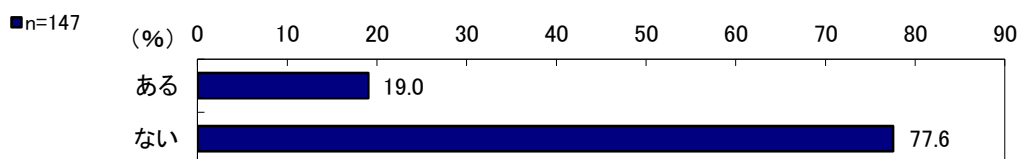
問 9-1 上記で「1. 利用している」を選ばれた方におうかがいします。あて名のお子さんの放課後児童クラブの利用日数はどれくらいですか。また、利用している理由について、あてはまるもの 1 つに○をつけてください。

「週 5 日」が 55.1%で最も多く、次いで「週 1 日」が 11.6%、「週 4 日」が 9.5%となっています。

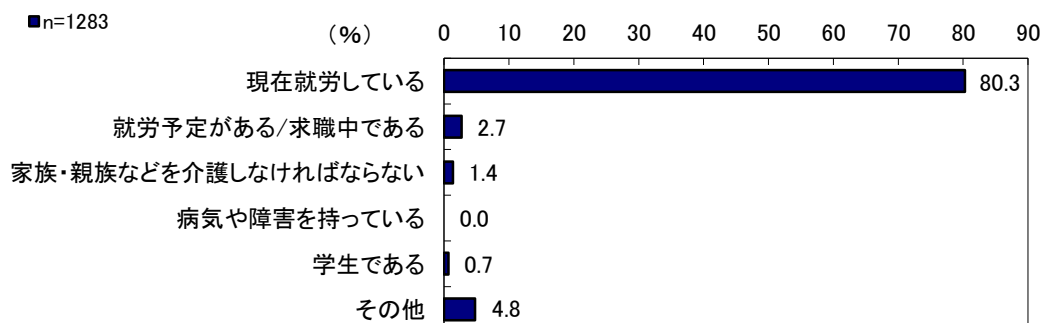
土・日の利用では「ない」が 77.6%、「ある」が 19.0%となっています。また、利用している理由では「現在就労している」が 80.3%で多数を占めています。



土・日の利用



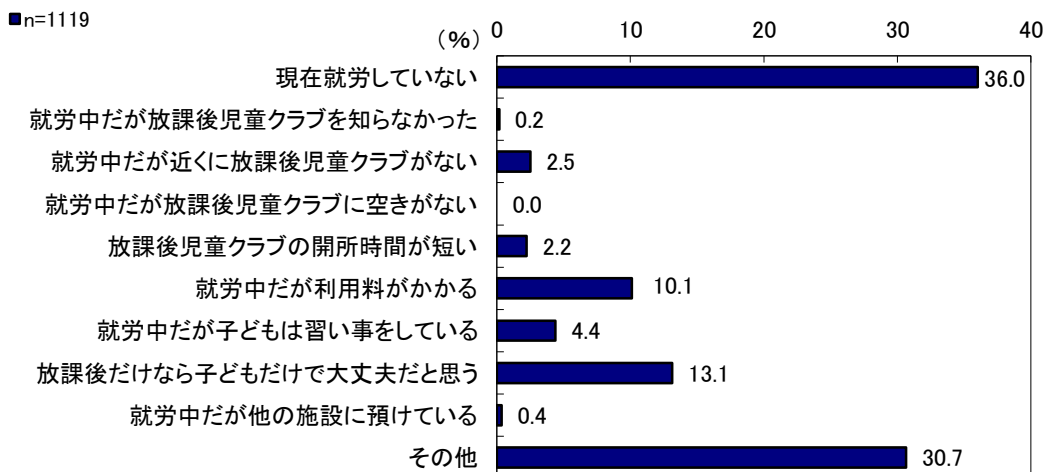
利用している理由



3 放課後児童クラブを利用していない理由

問 9-2 上記で「2. 利用していない」を選ばれた方におうかがいします。利用していない理由について、もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

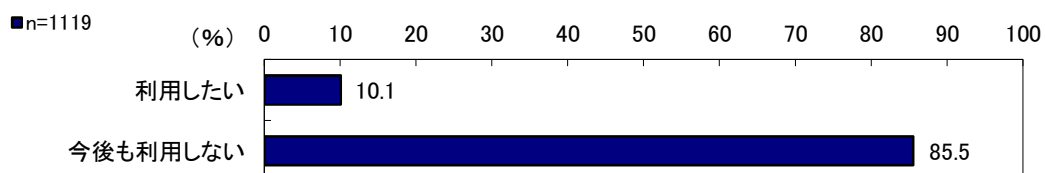
「現在就労していない」が36.0%で最も多く、次いで「その他」が30.7%、「放課後だけなら子どもだけで大丈夫だと思う」が13.1%となっています。



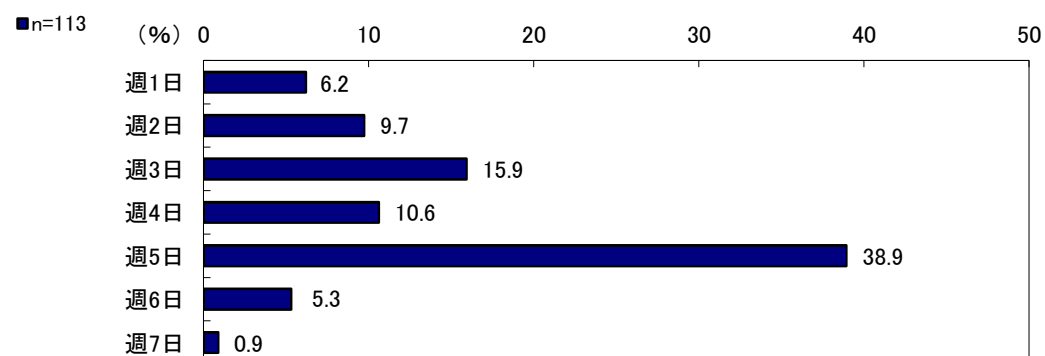
4 今後の放課後児童クラブの利用意向

問9-3 問9で「2.利用していない」を選ばれた方におうかがいします。あて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいとお考えですか。なお、この事業の利用には、一定の利用者負担金がかかります。

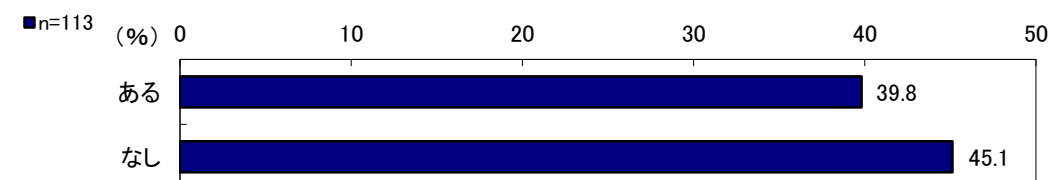
「今後も利用しない」が85.5%、「利用したい」が10.1%となっています。
 利用したい方の週当たり利用日数は「週5日」が38.9%で最も多く、次いで「週3日」が15.9%となっています。
 利用したい方の土・日の利用希望は「なし」が45.1%、「ある」が39.8%となっています。



週当たり



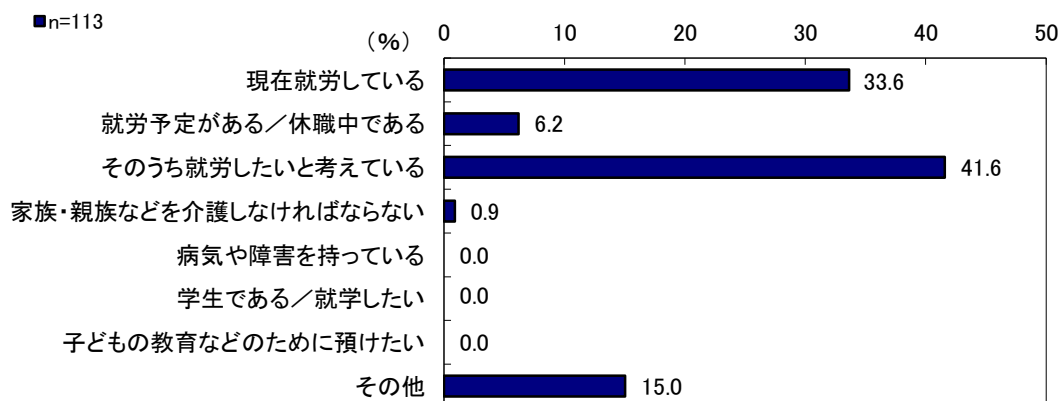
土・日の利用希望



5 今後放課後児童クラブを利用したい理由

問 9-4 今後、放課後児童クラブを利用したい理由について、もっともあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

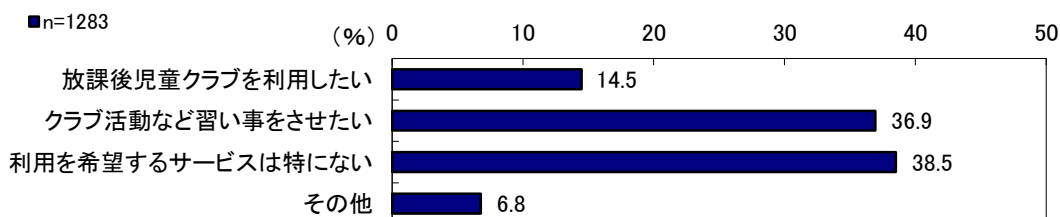
「そのうち就労したいと考えている」が 41.6%で最も多く、次いで「現在就労している」が 33.6%、「その他」が 15.0%となっています。



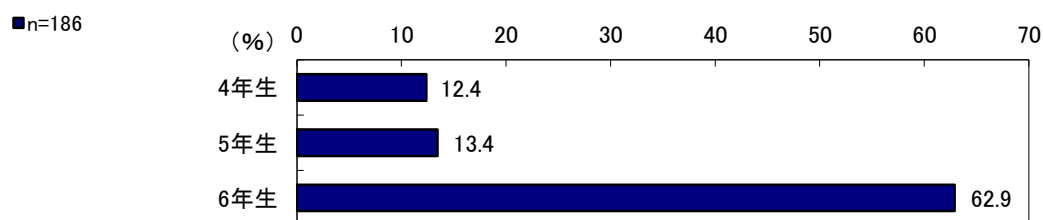
6 希望する放課後の過ごし方

問 10 あて名のお子さんについておうかがいします。小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを希望しますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「利用を希望するサービスは特にない」が 38.5%で最も多く、次いで「クラブ活動など習い事をさせたい」が 36.9%、「放課後児童クラブを利用したい」が 14.5%となっています。



利用したい学年

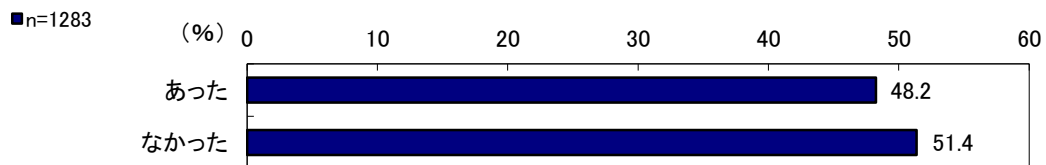


Ⅲ－４ 病児・病後児の対応について

１ 病気やケガで学校を休まなければならなかったこと

問 11 この１年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

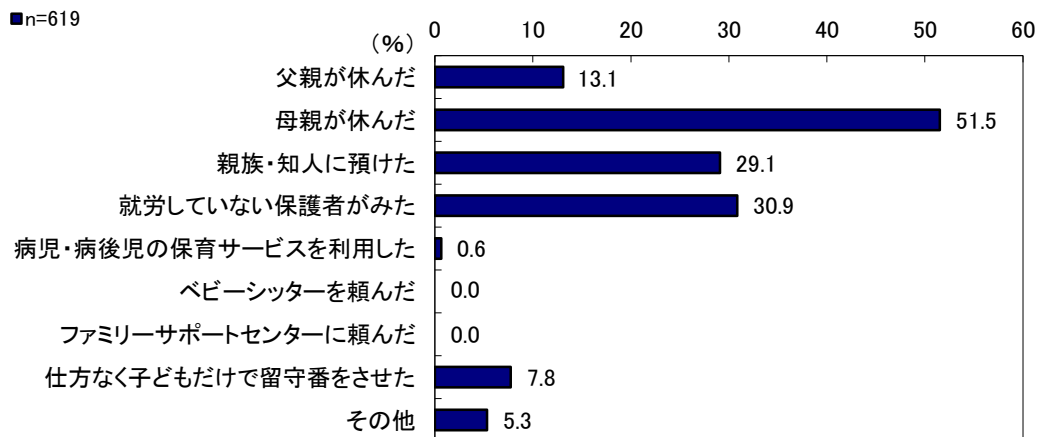
「なかった」が 51.4%、「あった」が 48.2%となっています。



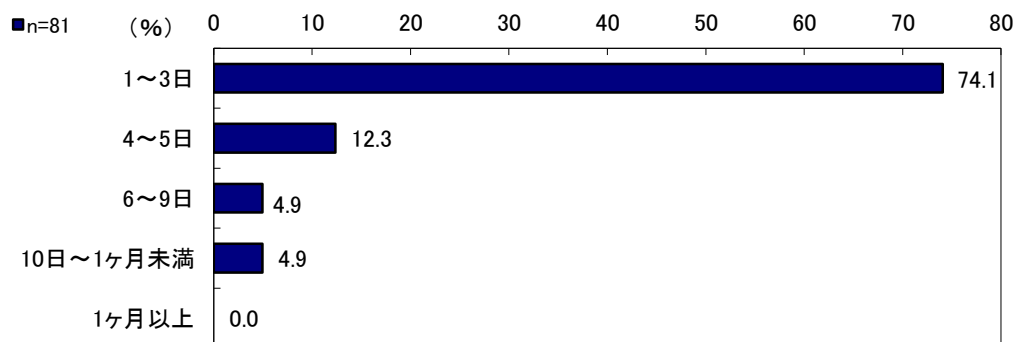
２ 病気やケガの時の対処方法

問 11-1 この１年間の対処方法とそれぞれの日数は概ね何日ですか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

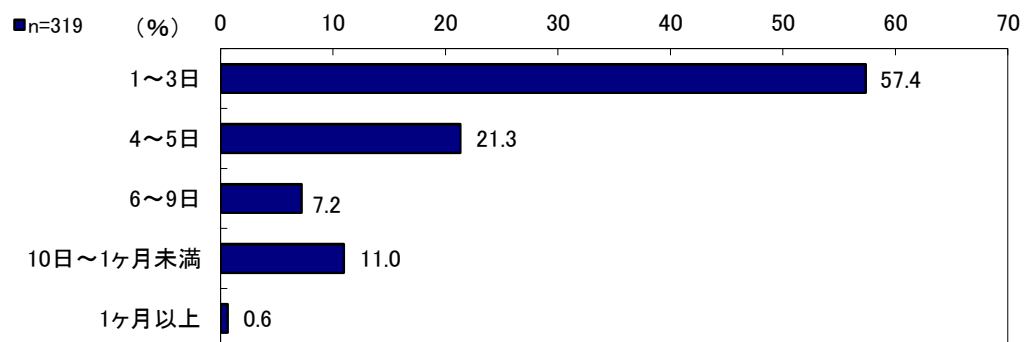
「母親が休んだ」が 51.5%で最も多く、次いで「就労していない保護者がみた」が 30.9%、「親族・知人に預けた」が 29.1%となっています。



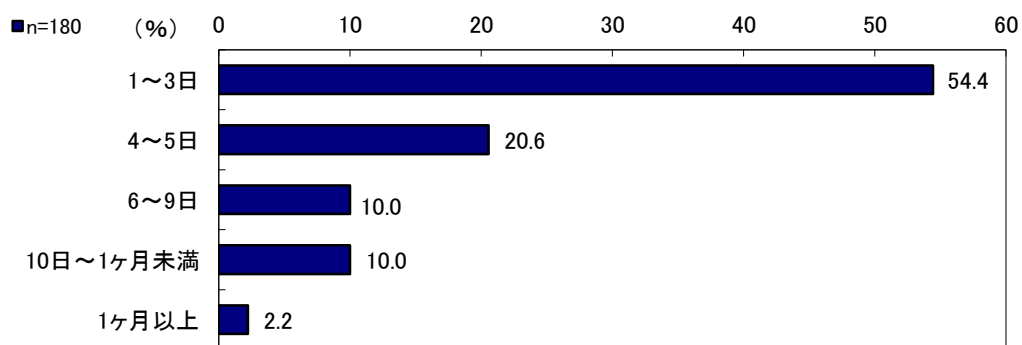
日数：父親が休んだ



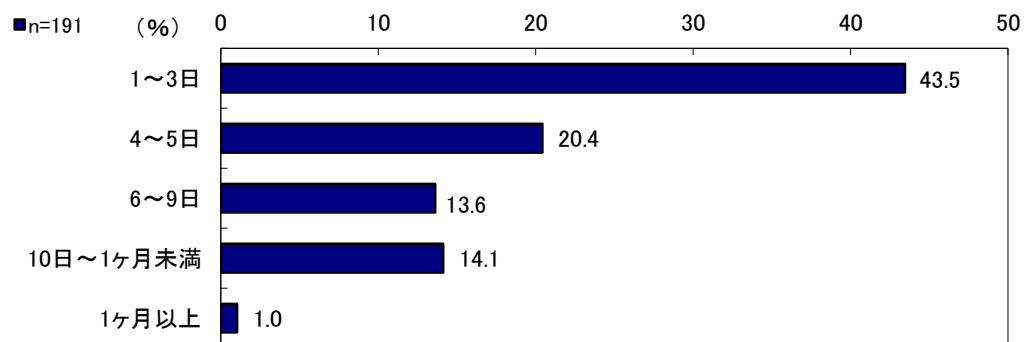
日数：母親が休んだ



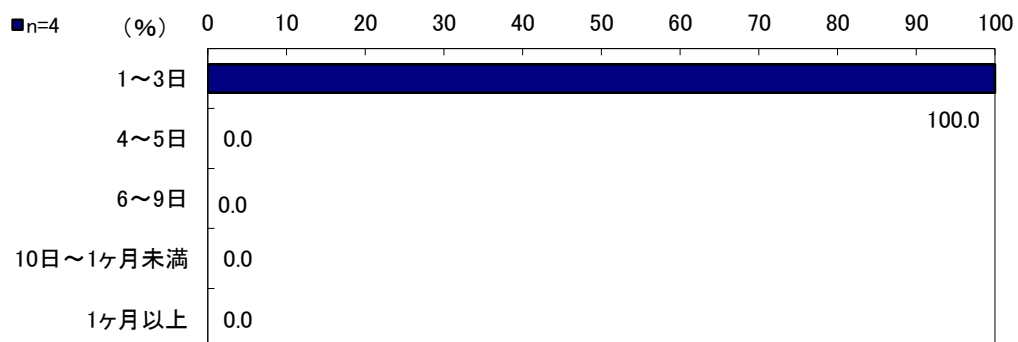
日数：親族・知人に預けた



日数：就労していない保護者がみた



日数：病児・病後児の保育サービスを利用した



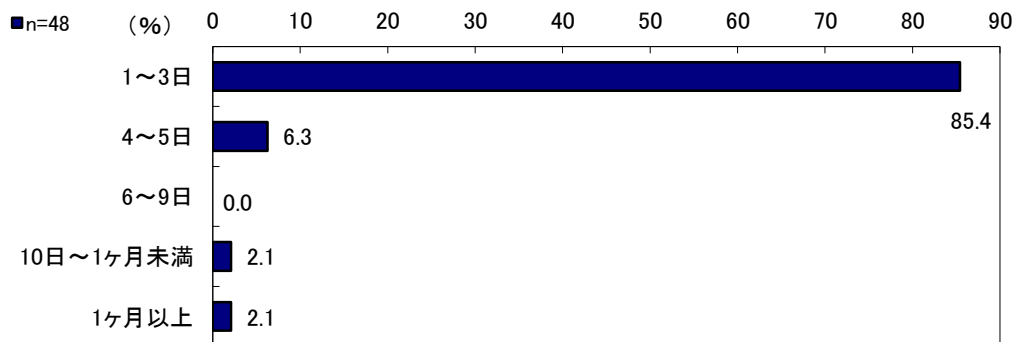
日数：ベビーシッターを頼んだ



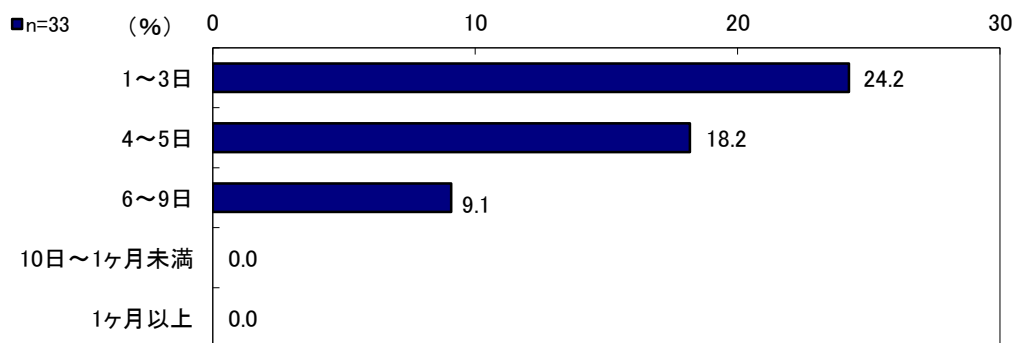
日数：ファミリーサポートセンターに頼んだ



日数：仕方なく子どもだけで留守番をさせた



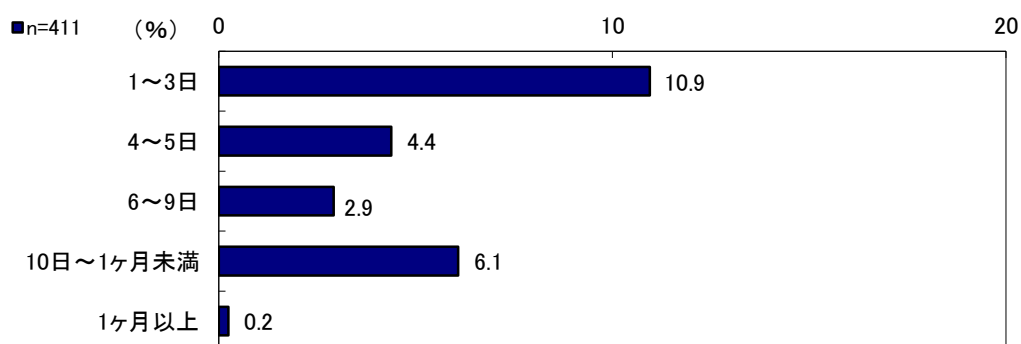
日数：その他



3 施設に預けたいと思った日数

問 11-2 「父親または母親が休んだ」、「親族・知人に預けた」欄に回答された方にうかがいます。できれば施設に預けたいと思われた日数はどのくらいありますか。枠内に日数を記入してください。

「1～3日」が10.9%で最も多く、次いで「10日～1ヶ月未満」が6.1%、「4～5日」が4.4%となっています。



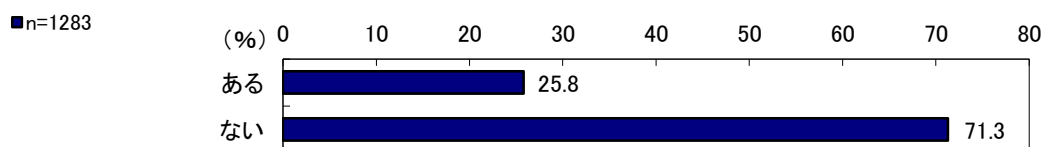
Ⅲ-5 一時預かりについて

1 お子さんを家族以外に預けたこと

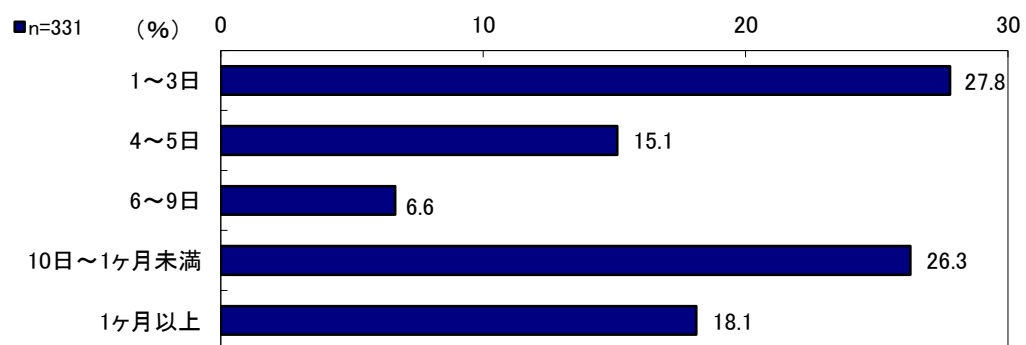
問 12 この1年間で、私用（買物、習い事、スポーツ、会合、美容院など）やリフレッシュ目的、冠婚葬祭や病気、あるいは就労のため、お子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。（半日程度についても1日として計算してください。）

「ない」が71.3%、「ある」が25.8%となっています。

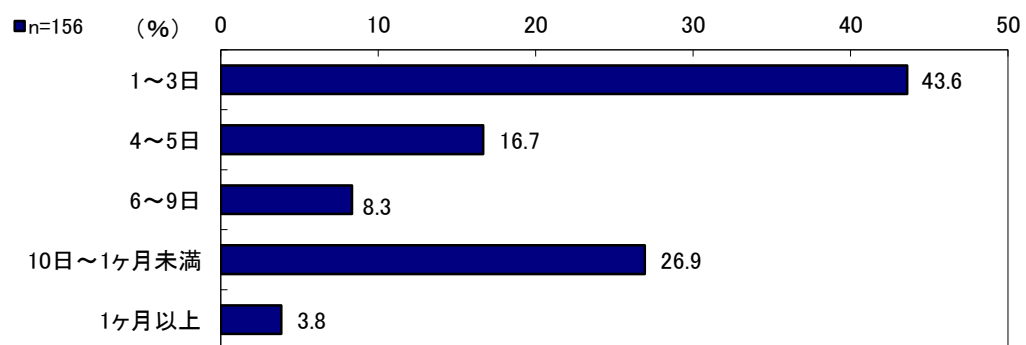
年当たり日数では「1～3日」が27.8%で最も多く、次いで「10日～1ヶ月未満」が26.3%、「1ヶ月以上」が18.1%となっています。



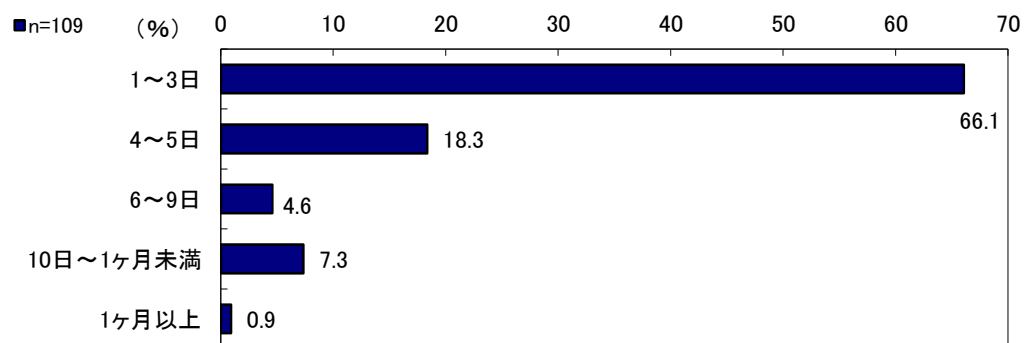
年当たり日数



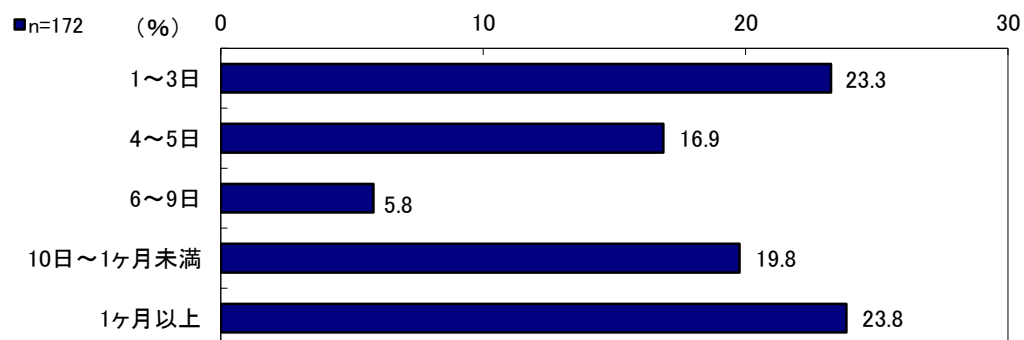
日数：私用



日数：冠婚葬祭、病気



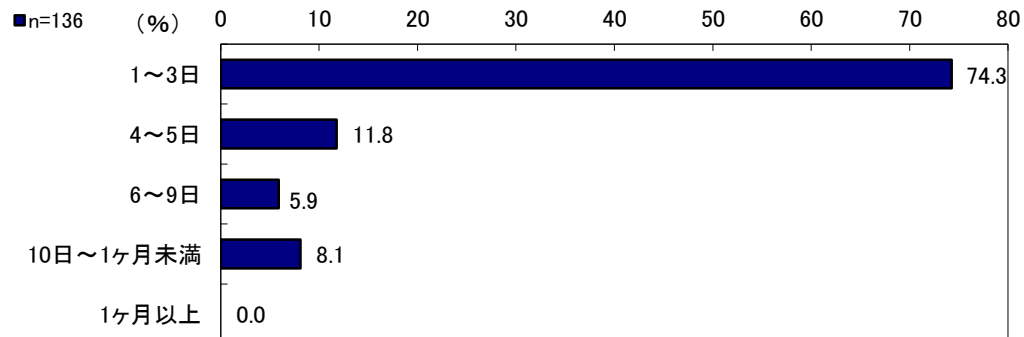
日数：就労



2 利用したい日数

問 13 今は利用していないが、できれば利用したい、あるいは、利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある方は枠内に数字をご記入ください。

「1～3日」が74.3%で最も多く、次いで「4～5日」が11.8%、「10日～1ヶ月未満」が8.1%となっています。

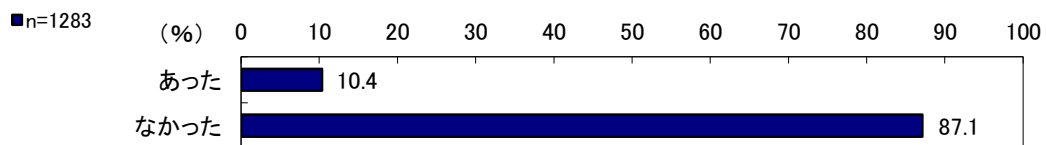


Ⅲ－6 宿泊を伴う一時預かりについて

1 泊りがけで家族以外に預けなければならないこと

問 14 この1年間に、保護者の用事などにより、あて名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。

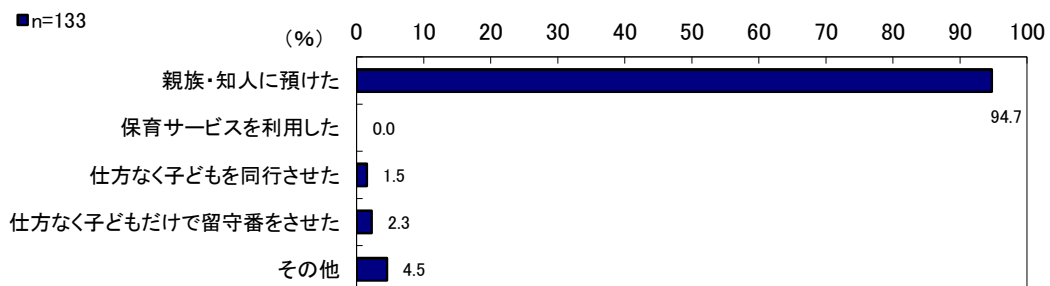
「なかった」が87.1%、「あった」が10.4%となっています。



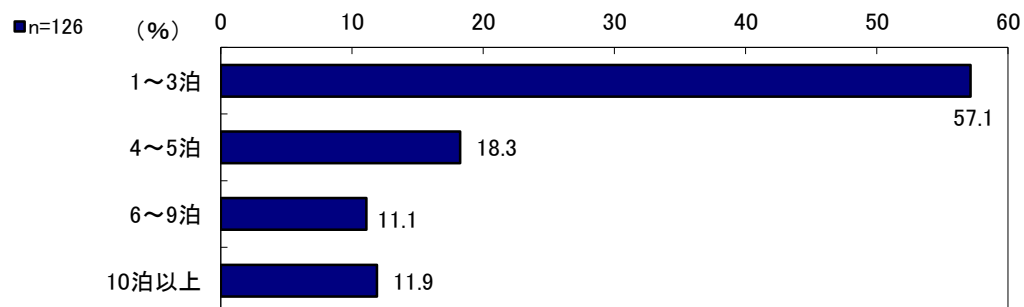
2 泊りがけで家族以外に預けなければならない時の対処方法

問 14-1 この1年間の対処方法とそれぞれの泊数は概ね何日ですか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数を記入してください。

「親族・知人に預けた」が94.7%で最も多く、次いで「その他」が4.5%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が2.3%となっています。



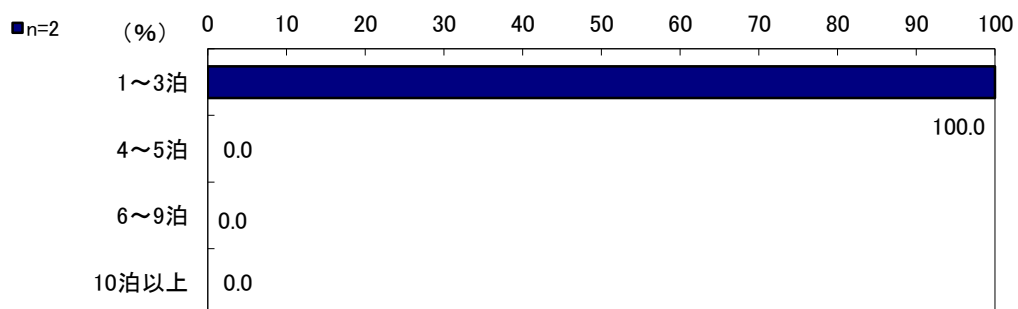
日数：親族・知人に預けた



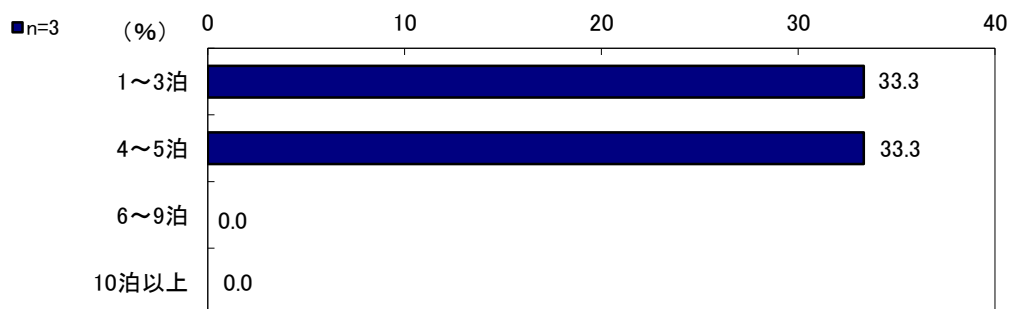
日数：保育サービス



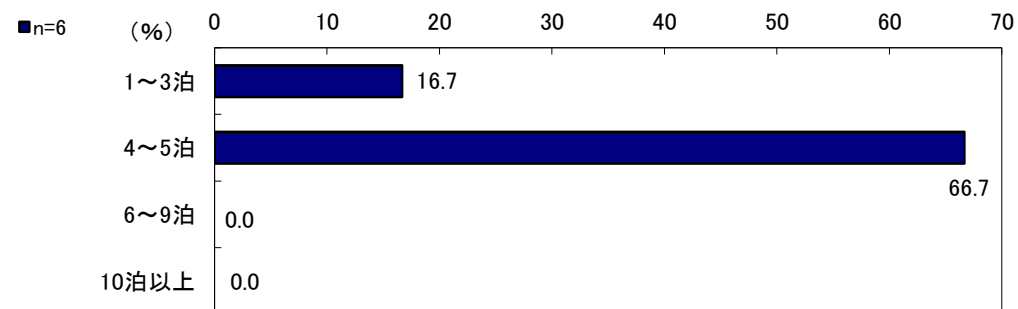
日数：仕方なく子どもを同行させた



日数：仕方なく子どもだけで留守番をさせた



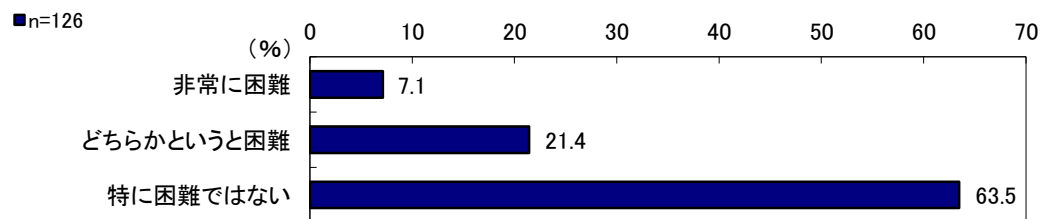
日数：その他



3 泊りがけで家族以外に預ける困難度

問 14-2 その場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

「特に困難ではない」が 63.5%で最も多く、次いで「どちらかというと困難」が 21.4%、「非常に困難」が 7.1%となっています。

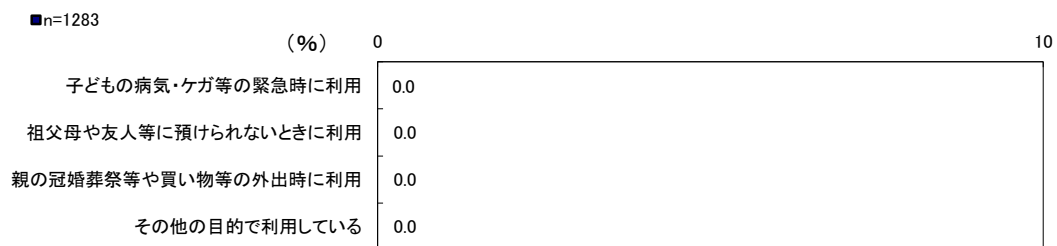


Ⅲ-7 ベビーシッターの利用について

1 ベビーシッターを利用する目的

問 15 どのような目的で利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけください

有効回答がありませんでした。



2 ベビーシッターを利用する頻度

問 15-1 どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

有効回答がありませんでした。

月当たり



1 回当たり

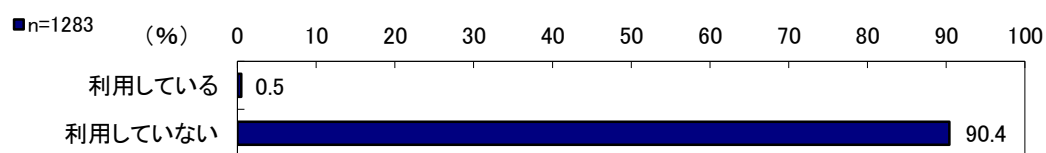


Ⅲ-8 ファミリーサポートセンターの利用について

1 ファミリーサポートセンターを利用しているか

問 16 ファミリーサポートセンターを利用していますか。

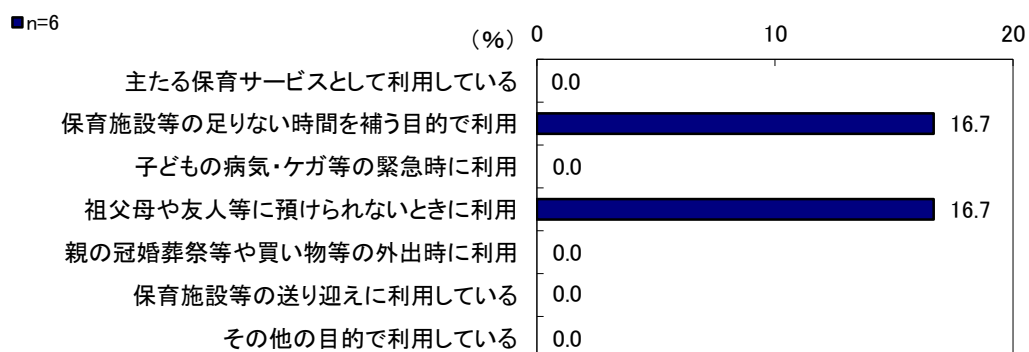
「利用していない」が 90.4%、「利用している」が 0.5%となっています。



2 ファミリーサポートセンターの利用目的

問 16-1 どのような目的で利用していますか。あてはまるものすべてに○をつけください。

「保育施設等の足りない時間を補う目的で利用」と「祖父母や友人等に預けられないときに利用」が 16.7%で同率となっています。



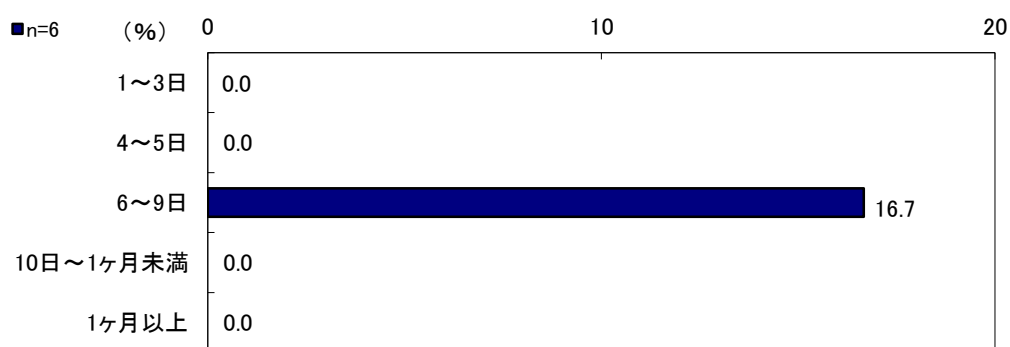
3 ファミリーサポートセンターの利用頻度

問 16-2 どれくらいの頻度で利用していますか。枠内に数字をご記入ください。

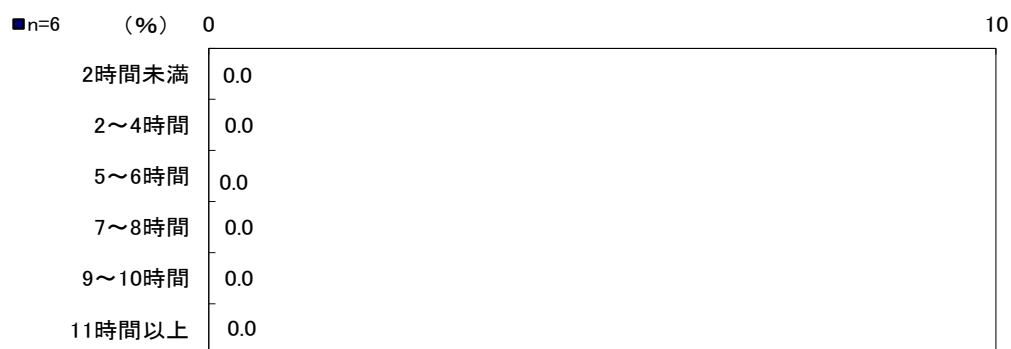
月当たりでは「6～9日」が 16.7%となっています。

1 回当たりでは有効回答がありませんでした。

月当たり



1 回当たり



4 ファミリーサポートセンターの利用を増やしたいか

問 16-3 利用日数・回数を増やしたいと思いますか。希望がある場合は枠内に数字をご記入ください。

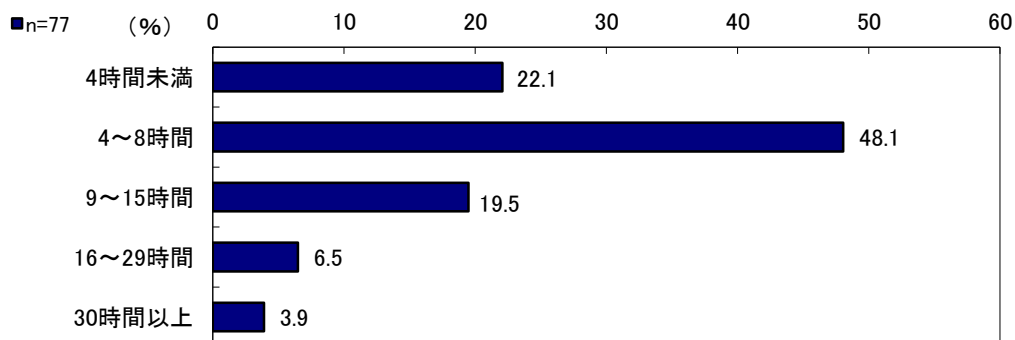
有効回答がありませんでした。



5 ファミリーサポートセンターをできれば利用したい時間

問 16-4 今は利用していないが、できれば利用したい方は、枠内に数字をご記入ください。

「4～8時間」が48.1%で最も多く、次いで「4時間未満」が22.1%、「9～15時間」が19.5%となっています。

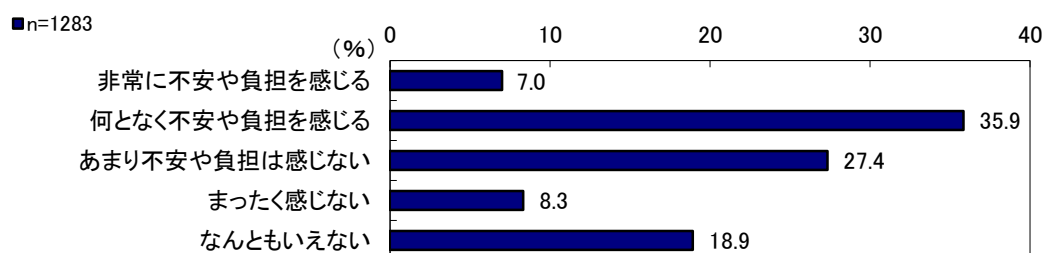


Ⅲ－９ 子育てに関する悩みや不安感などについて

１ 子育てに関して不安感や負担感を感じるか

問 17 子育てに関して不安感や負担感を感じることがありますか。当てはまるもの１つに○をつけてください。

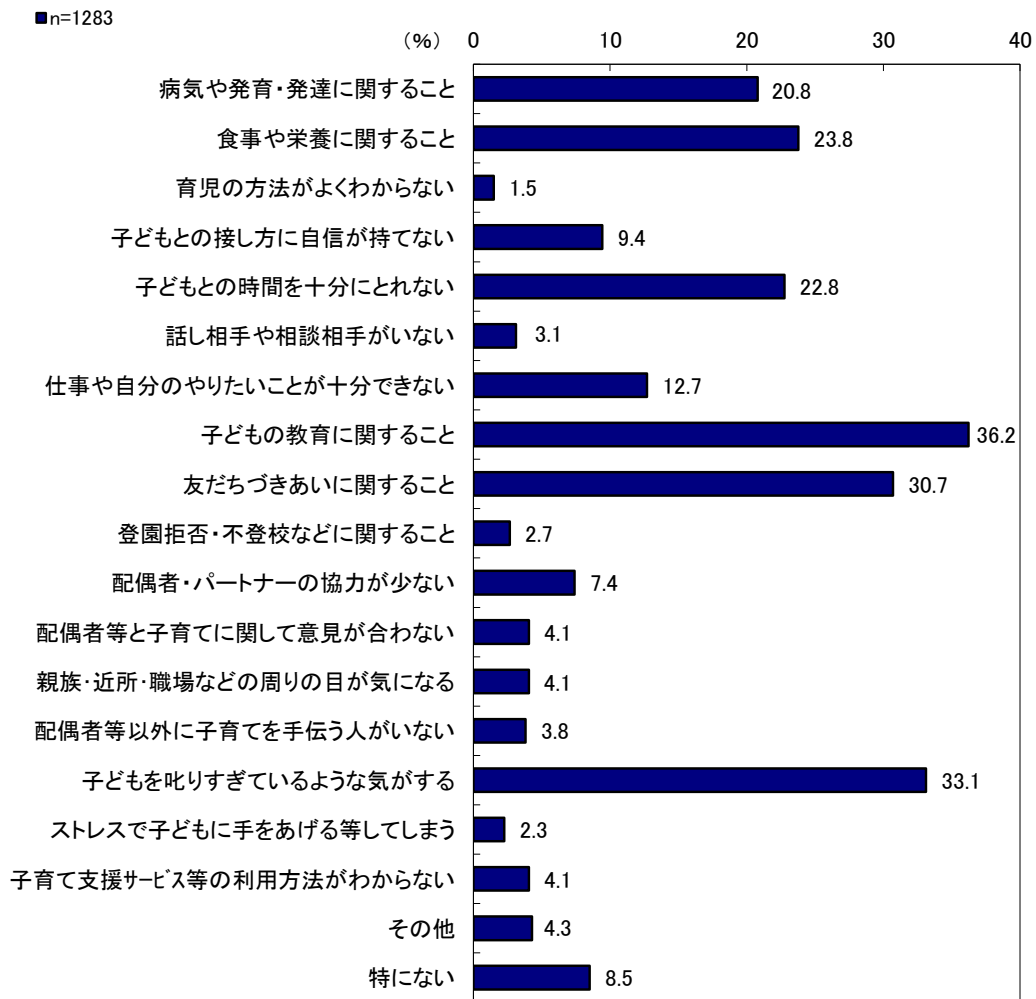
「何となく不安や負担を感じる」が 35.9%で最も多く、次いで「あまり不安や負担は感じない」が 27.4%、「なんともいえない」が 18.9%となっています。



２ 子育てに関する日頃の悩み、気になること

問 18 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまるもの５つまでに○をつけてください。

「子どもの教育に関すること」が 36.2%で最も多く、次いで「子どもを叱りすぎているような気がする」が 33.1%、「友だちづきあいに関すること」が 30.7%となっています。

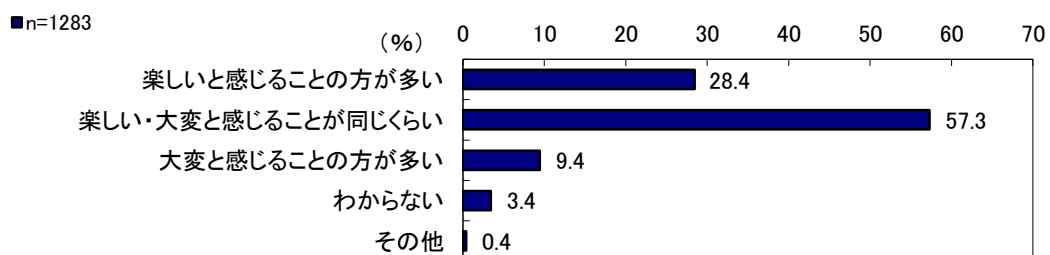


Ⅲ-10 子育ての楽しさなどについて

1 子育ての楽しさ・大変さ

問 19 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じるときが多いと思いますか。それとも大変と感じるときが多いと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

「楽しい・大変と感じることが同じくらい」が 57.3%で最も多く、次いで「楽しいと感じることの方が多い」が 28.4%、「大変と感じることの方が多い」が 9.4%となっています。



Ⅲ-11 あなたの時間の優先度について

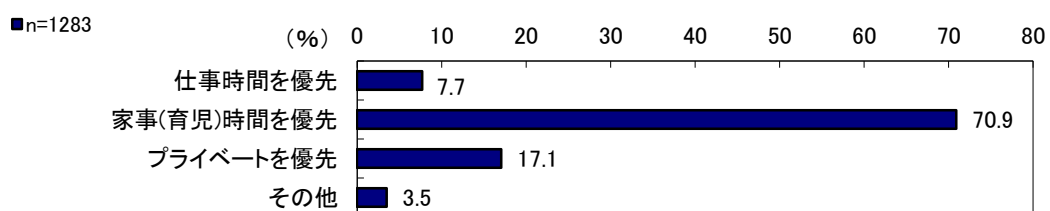
1 時間の優先度

問 20 あなたの生活の中で、「仕事時間」と「家事（育児）・プライベートの生活時間」の優先度についておうかがいします。当てはまるものそれぞれ1つに○をつけてください。
「希望」と「現実」それぞれについて回答してください。

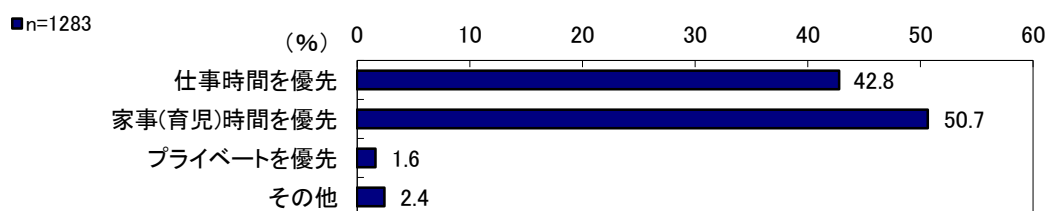
希望では「家事（育児）時間を優先」が 70.9%で最も多く、次いで「プライベートを優先」が 17.1%、「仕事時間を優先」が 7.7%となっています。

現実では「家事（育児）時間を優先」が 50.7%で最も多く、次いで「仕事時間を優先」が 42.8%、「プライベートを優先」が 1.6%となっています。

希望



現実

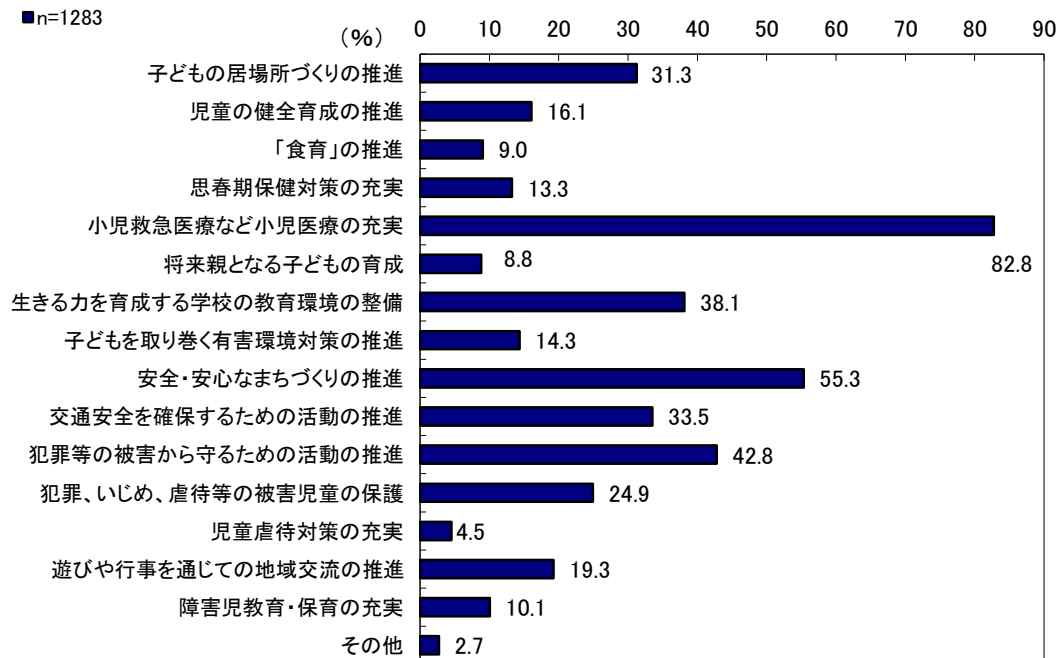


Ⅲ-12 子どもに関する施策について

1 市が重点的に取り組む必要性が高い施策

問 21 子育て支援の環境づくりに対する施策について、市が重点的に取り組む必要が高いと思われるものは何だと思いますか。当てはまるもの5つまでに○をつけてください。

「小児救急医療など小児医療の充実」が 82.8%で最も多く、次いで「安全・安心なまちづくりの推進」が 55.3%、「犯罪等の被害から守るための活動の推進」が 42.8%となっています。



2 自由意見

問 22 最後に、北茨城市では子育て支援を保護者の方々・市民の皆様方と一緒に子育て環境について考えていきたいと思います。つきましては、教育・保育環境の充実など、市民が参加できる内容も含め、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

省略